

今月の言葉

「刷新」が必要な時なのだろう。マスコミは鬼の首でも刈り取るように、「二つの聖域も残さぬぞ」とばかりに次々とあらゆる世界の不祥事を暴き立てるのに忙しい。残念ながらやむを得ぬことではあるし、自らの業界にも同じ刃を向けてくれるとは思われない。正義の大鎧を振るって世直しをしなければ、という意気込みが、結果としては「あれに比べれば自分たちの世界はまだましか」とか、「まじめにやるのがアホくさくなった」「尻尾だけはつかまればよい」というよ

うな、負の教育効果をばらまくという悪循環に陥っている。どの世界でも生真面目に生きている人間のほうが圧倒的に多数派であるはずだが、ニュースバリューとしては一〇〇の美談より一つのスキャンダル、というところか。つまるところ、他人の目ばかり気にする、つまり相対的な評価ばかりを

他人の目より己の心

う倫理観でこの世を満たすにはどうすれば良いのか。今の日本の経済力が世界の中で何番目のランクであれ、日本の治安のレベルがいかに好ましくあれ、現役の世代

がなにも威張ることはない。それは何百年来の日本の諸先輩が培ってきた教育を始め諸々の種をまいてくれた成果の上にあるだけだ。現役世代の評価は後世が決めてくれる。言い訳も自慢も無用だ。黙々と、一心不乱にそれぞれの職務に精励すること以外に真の「刷新」はありえない。為政者の都合に合わせてたり、大衆



の過度の要求に迎合したりでは困るが、時代に合わせて、制度を見直すことも必要ではある。時代といえ、今現在と、本会発足の契機となった浅間山荘事件当時とを比べると、官民格差という視点から見れば、当時は民が上位に位置し、今はその逆である。本会の会員から「今や励ましてもらいたいの私たちの方！」という悲鳴も聞こえてくる現実を、機動隊諸君も直視していただき、互いのあるべき姿を己の心の中にしっかりとイメージできるようにがんばりましょう！

(理事・九州支部 自見 眞清)

今こそ機動隊活動を理解し、積極的支援を！九州・沖縄サミットに向けて



警視庁機動隊の警察犬部隊による被害者救済訓練

◎第二十六回主要先進国首脳会議、いわゆる九州・沖縄サミット会議は次の日程で開催されるものと思われまます。

- 一、七月八日 福岡市・福岡市立博物館で蔵相会合
- 二、七月十二日、十三日 宮崎市・シーガイアで外相会合
- 三、七月二十一日、二十二日 名護市・万国津梁館で首脳会議
- 二十二日夜 那覇市・首里城で晩餐会

※沖縄での首脳会議の前段として 七月二十日夜 皇居で宮中晩餐会が予定されています。

◎この会議の参加人員は、沖縄県サミット推進県民会議の資料によれば、各国代表団(首脳及び各国政府関係者)一、〇〇〇名、一、五〇〇名、開催国側政府関係者一、〇〇〇名、報道関係者三、〇〇〇名、五、〇〇〇名程度と予測されています。

◎那覇空港から主会場の万国津梁館までは約七十二kmの距離で、この間の東シナ海側に各国首脳の宿舎が散在しており、主要交通網は、沖縄自動車道と東シナ海側の国道五十八号線のみとなっています。

◎過去三回の東京サミットでは、極左暴力集団による迫撃弾の発射など、十六件の不法事案がありました。特に極左各派は、沖縄の特徴である潜在的な基地反対意識に着目して、市民運動に積極的に介入し、沖縄サミット粉砕闘争へ運動させようとしており、中核派は三か月前から沖縄県内にアジトを設けているとの報道等もありません。

◎この会議の参加人員は、沖縄県サミット推進県民会議の資料によれば、各国代表団(首脳及び各国政府関係者)一、〇〇〇名、一、五〇〇名、開催国側政府関係者一、〇〇〇名、報道関係者三、〇〇〇名、五、〇〇〇名程度と予測されています。

◎過去三回の東京サミットでは、極左暴力集団による迫撃弾の発射など、十六件の不法事案がありました。特に極左各派は、沖縄の特徴である潜在的な基地反対意識に着目して、市民運動に積極的に介入し、沖縄サミット粉砕闘争へ運動させようとしており、中核派は三か月前から沖縄県内にアジトを設けているとの報道等もありません。



警視庁機動隊の警察犬部隊による検索訓練。



北海道警察機動隊隊舎前のエアートント内でジェットヒーターで温度35-40℃とし、床に散水して湿度90%以上のなかで60分間立哨訓練。

これに対して警察では、各国首脳の身辺の絶対安全と会議の円滑な進行を図ることを基本方針として、全国警察の総力を挙げて警備に当たることとしております。

すでに各都道府県警察では、昨夏から体育館、道場等において温度三十度以上、湿度八十%以上の条件下での耐暑訓練をはじめ、爆発物処理、対銃器、生化学・毒劇物処理、高所、潜水等の専門的技術訓練を重ねて、準備を進めております。

そして全国から動員されるのは、機動隊・管区機動隊はもとより、第二機動隊・警護部隊・交通対策部隊・水上警戒部隊・通信部隊等約二十万人に及ぶ部隊という、我が国では過去に例のない大規模な特別派遣部隊になると言われております。

会員の皆さん、どうか厳しい世評に堪えながら治安の最後の砦として活動しようとしている機動隊員に対し、「ご苦労さん」と一声かけて激励しようではありませんか。

そして国民との懸け橋となって国民がより一層機動隊活動ひいては警察活動全般に理解を深めるよう努力したいものであります。

はげまし

発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

〈今月のテーマ〉
忘れられない
あの警備



警視庁第一機動隊 作原 庸介

機動隊に着隊して四年が経ち、色々な大警備を経験した中で、記憶に新しい長野冬季オリンピック警備が忘れられません。開会式前の前段から各種競技の中盤までの間、各競技施設の警備に従事しましたが、雪国特有の寒さと積雪から部内では体験することがない厳しい警備となりました。

開会式が行われるメインスタジアムの前夜警戒では、前日から降り続く雪によりスタジアム以外の景色がすべて雪で埋まり、雪をかきわけながらの検索となつて翌朝まで不審物、不審者の発見に努めました。

開会式が無事開催となりメインスタジアム対策では観覧席に配置、世界中の報道カメラが開会セレモニーを注目する中、ここで何か事案があれば世界中にその模様が中継されてしまうことから大変緊張した警備となりました。

開会式も無事終わり、各競技場では世界各国の代表選手が熱い戦いを展開していききました。

大会中盤までの警備を終了し、無事閉会式が行われたことをテレビで確認した時、世界的大イベントであるオリンピック警備を完遂した充実感に満ち、その一人として警備に従事したことを誇りに思いました。

四年間の機動隊生活の中で一番思い出に残る貴重な経験をさせていただけました。



警視庁第二機動隊 中村 好一

私の忘れられない警備といえば、長野オリンピック特別派遣警備である。初めての派遣警備で、山口県生まれの私にとっては、今までに体験したことのない寒さであった。また、早朝から夜遅くまでの長時間勤務の連続で、厳しさの反面、隊員間の団結をより一層強くすることができた。

この警備で最も印象に残っているのは、最終日の閉会式会場対策に従事していた時のことである。私は観客席の一番前で観客側を向いて警戒に当たっていた。防寒対策は万全にしたつもりであったが、手足や顔の感覚が麻痺するほどの寒さの中、私のすぐ前に座っていた初老の女性が、「警察の方ですか、よろしかったらどうぞ。」と温かいお茶を差し出してくれた。私は、「はい、東京の機動隊です。お気持ちだけ頂きます。」と丁寧に断ると、「東京の方ですか。私は寒さに慣れていますが使つて下さい。」と自分が使用していた座布団の懐炉をそとと差し出してくれた。私は、懐炉の暖かさ以上にその女性の温かい思いやりに触れ、無事オリンピック警備を完遂する事ができた。

今世紀最後の冬季オリンピックに従事できたことを誇りに思うと同時に、地元の人との心温まる交流に感動し、これから九州・沖縄サミット警備に向け、何事にも人との心の触れ合いを大切にして精進していこうと思う。



警視庁第三機動隊 赤峰 声夫

昭和六十二年九月一日の「三宅島観測所鉄塔警備」。あの日は私の約十二年の機動隊生活のなかでも、忘れられない一日となった。

反対派島民と保守系島民との紛争の中、当時分隊長として炎天の下、完全装備で警備に従事していた。体感温度四十度以上で水分の補給もなく、意識も朦朧とする中、ふと回りを見ると、熱射病でバタバタと倒れる同僚の姿があちこちで見えた。「もしかして、私の分隊員ではないか。」と思ひ確認すると、まぎれもなくその中に私の分隊員四人のうち、二人がいるではないか。一人は着隊一年半を過ぎた中堅隊員、もう一人はなんと、二日前に命を失ったばかりの新隊員であった。

私はグッタリしている新隊員を背負い、警備現場近くに駐車中の島民の軽トラックまで運んだ。当初は難色を示していた島民も、担がれている隊員の様子との気迫に負けたのか、渋々診療所まで運んでくれた。

診療所では、「助けてくれ。」といいながら長椅子の下に逃げ込もうとする隊員、ただブルブル震えている隊員等、地獄絵図さながらの模様を呈していた。あの時の彼らも今は結婚し、各々幸せな家庭を築いて、一線でバリバリ活躍している。

警備主任として今、あの「忘れられない一日」の思いを胸に秘め、常に最悪の状況下での警備を想定し、本年の九州・沖縄サミット警備を始めとし、各種重要警備を完遂していく覚悟である。



警視庁第四機動隊 高橋 剛志

二度目の機動隊勤務となり、早や、二年が過ぎ去ろうとしています。これまで大喪の礼、即位の礼をはじめ各国大統領来日、東京サミット等重要警備に機動隊員として従事してまいりました。

隊員当時は、主に羽田空港警備に従事し、各国要人の来日から離日までの間、警戒体制で空港地区を担当しました。

モノレール利用者の手荷物検査(通称モノ検)をはじめ各ゲートの固定警戒、ターミナル内外の遊動警戒、車両検問、沿道配置等の多種多様な空港警備が思い出されます。

当時、空港警備に従事した際の検問時の思い出ですが、駐車場に不審なロード類が多数配線されていた車があり、ゲリラ車両ではないかと現場が騒然となった事案がありました。結果的には車内電話のコードと判明し、事なきを得ましたが、「ひやっ」とした体験でもありました。担当区の綿密かつ完璧な検索と不審物発見時の迅速な措置の重要性が、再確認された事案でありました。又、全日程が終了し、空港から要人の乗った飛行機が飛び立つ度に、警備をやり遂げた喜びで胸が一杯になった事を思い出します。

本年のサミット警備は、私にとつては三回目となりますが、会場が沖縄となるため、現場の状況を的確に把握すると共に、住民感情も十分に踏まえ、併せて暑さに負けない体力づくりに励み、感謝・感激・感動されるような警備となる様、鬼の四機隊員として頑張つて行きたいと思ひます。



警視庁第五機動隊 沢田 道

私は、平成十年度一月全教(全日本教職員組合教育研修集会)開催に伴い、群馬県特別派遣部隊(警視庁第五機動隊長指揮)の一員として警備に従事しました。警視庁機動隊は、特別派遣部隊として各地に派遣されることが多いと聞いていましたが、私にとつて初めての特別派遣警備となりました。

派遣初日は、入県後、警察学校で厳粛な雰囲気の中で行なわれた入県式と各個人の担当区の実査、担当区付近の住民等への管理者対策を行ないました。二日目の警備に就いたときは、路上

に残っている雪が凍っている中での配備となりましたが「一二月月後に予定されている長野派遣の前哨戦」と心で思い自分の気持ちを高めていきました。配備に就いて間もない頃から反対行動をとっている右翼がそれぞれ街宣を大音量で流しながら会場に接近し、部隊に対し必要以上の抗議牽制を行なっていました。それらを適切に対処しながら二日目は、計八十六車両の大音量の街宣や罵声と戦いぬぎました。

三日目は、全教が研修集会を迎えたことから右翼も付近住民を装ったり、部隊に車両ごと突っ込む様子を見せるなど、部隊は気が抜けない状態でした。右翼車両も前日の三倍以上の二一〇車両の前日とは比べものにならない大音量の街宣と、「突撃ラッパ」等を口吟みつつ途切れなく続く中、これらを阻止しながら集会終了までの任務を完遂することができました。

今でも都内で右翼対策警備に就くときは、その時の反省と経験を生かし続けていきます。



警視庁第六機動隊 渡邊 明宣

私が、六機隊員となつてから一年半が経過しようとしています。さて、私の機動隊生活の中で、特に強く印象に残っているのが群馬県への特別派遣警備です。これは天皇皇后陛下が群馬県で開催される第七回世界室内陸上競技大会開会式にご臨席されるための警備警備であり、「皇室と国民の親和に配慮した」警備方式によって行われました。私は、この時初めての大警備に従事するという緊張と自分の警備経験の少なさに対する不安でいっぱいでした。しかしこの不安と緊張は、事前対策として実施したミニ巡回連絡で親しみ易い県民性に触れたこと、歓迎に集まった人々の協力的な態度

が経過しようとしています。さて、私の機動隊生活の中で、特に強く印象に残っているのが群馬県への特別派遣警備です。これは天皇皇后陛下が群馬県で開催される第七回世界室内陸上競技大会開会式にご臨席されるための警備警備であり、「皇室と国民の親和に配慮した」警備方式によって行われました。私は、この時初めての大警備に従事するという緊張と自分の警備経験の少なさに対する不安でいっぱいでした。しかしこの不安と緊張は、事前対策として実施したミニ巡回連絡で親しみ易い県民性に触れたこと、歓迎に集まった人々の協力的な態度

で見事に解消されました。中でも一番嬉しかったことは、私の母と同年代のお母さん達のグループが私を手助けしてくれたことです。それは、間もなく両陛下の車列が通過されるという時に酒に酔った中年男性が私の指示に従わずに道路に出たり、高い所の方が見易いといって人家の塀の上上がろうとしており、実力行使もやむを得ないかなど手を焼いていたところに「お巡りさん私達にまかせといて」と言ってその酔っ払いの腕を両側からしっかりと捕まえて車列の通過まで確保していただくことです。さすが「かかあ天下」の土地柄、お陰でそれからは積極的に声をかけ、この心温かい地元の人々の協力を得て警衛警備を完遂できました。



警視庁第七機動隊 石戸谷 憲悟

私にとって、忘れることの出来ない警備は、平成十年五月の全国植樹祭行幸啓警衛警備に伴う群馬県特別派遣です。

この警備は、中隊員を命免された直後の警衛警備であったことから強烈に印象に残っている警備です。機動隊に配置換えとなつて、初めての警備が特別派遣で上司や先輩の顔も名前も全く判らず、絶対に失敗の許されない警衛警備に従事することとなったのです。

派遣後、実査に向う際、幹部から「自分の担当区で起り得る事案を想定し対策を考えること」を指示されました。私は、制服の沿道配置員としてどのような事案が発生するのか予想ができませんでした。先輩から過去に発生した不法事案の対処方法を教えてもらい少し自信をもつて警衛警備に従事したのです。

いよいよ初日、お列ご通過の約三十分前になり歓迎者が集まり始めたのです。

私は、「お年寄りの方は、前に出て下さい」「車道には出ないように」などと歓迎者への広報を始めました。しかし、なかなかうまくいきませんでした。なんとか整理線に歓迎者をまとめ、お列の通過直前、まさに目立たない位置に移動しようとしたときでした。順行方向から自転車に乗った男が近づいてきたのです。「まずい、自転車を止めなければいけない。もし、素直に言うことを聞いてくれなかったらどうしよう。残り二分しかない。時間をかけられない。」等と焦りましたが、手短かに理由を説明したところ、快く歓迎場所を奉迎してくれることになり、無事任務を果たすことができたのです。

はじめての機動隊勤務でこのような経験ができ、今では私の自信となっています。その後、数多くの警備に従事する機会を得ましたが新隊員時代の貴重な警備経験が今も忘れることはできません。



警視庁第八機動隊 櫻井 康之

海沿いの国道で、私は一人緊張して立っていた。私服配置とはいえ、背後の空地に徐々に集まり始めてきた奉迎者の目には、イヤホンを耳にし、人通りのない歩道から動こうとしない私の姿は、当然警察官に見えるであろう。そう思っていて矢先、目の前を通り過ぎていくはずの路線バスが私の前に停車した。ドアを開けた運転手と目があつた瞬間、とっさに私は急訴事案を予感した。しかし、私の予感は幸いにも外れた。運転手はただ「乗らないんですか」と尋ねただけだった。後頭部に奉迎者の視線を感じつつも「乗りません」と答えると、運転手は不機嫌そうにバスを走らせた。唾然としながら私は周囲を確認したが、どこにもバス停らしきものはない。後で聞くと、私の配置場所はいつのころからか、付近

住民の臨時のバス停となっていたようである。そんなエピソードを持ち帰ったが、お列の通過までにはまだ時間があると何度説明しても正座したままじっと待つおじいさんや、寝ていた赤ん坊を無理矢理起こして連れてきた若いお母さんなど、田舎の素朴な人々に感謝されながら警備を完遂することができた。私は、今回得た自信を今後の仕事に活かし、ますます精進していく覚悟である。



警視庁第九機動隊 半田 寿康

東京下町・深川八幡宮例大祭神輿渡御。三年に一度、五十基以上の神輿が真夏の街を練り歩く、下町を代表する祭りのひとつです。沿道を埋める見物人から、威勢のいい掛け声と共にバケツの水が飛沫を上げて掛けられることから、通称「水掛け祭り」と呼ばれています。

その日は、神輿の解散地で広報係員として雑踏警備に従事していました。解散地とはいえ、神輿はまたそこから自分達の町まで帰らなければなりません。一日中炎天下の街を練り歩いて来た担ぎ手は既に疲労困憊。掛けられた水と自らの汗で法被はズブ濡れです。それでも神輿を高々と持ち上げると、一層力強く動き出していきます。そんな担ぎ手の姿に、私の口から思わず出たのが、「あと一息です。頑張ってください」という広報でした。担ぎ手たちは手を振り、笑顔で応えてくれたのですが、突然、傍らの隊員をその渦の中に引き込むと、その隊員をひよいと担ぎ上げたのです。

「ワッショイ！ ワッショイ！」見物人の拍手と掛声が次第に大きくなる中、水色の夏服が何度も舞い踊りました。機動隊員が、担ぎ手・見物人と共に下町の祭りの中で一体になった瞬間でした。



警視庁特科車両隊 亀山 智広

冬の夜空いっぱいには火花が打ち上げられ、やがて聖火が消えると「故郷」の大合唱。第十八回冬季オリンピック長野大会は、私の忘れられない警備となった。

凍てつく寒さと雪、これら大自然との闘いは、今までに経験した事の無い厳しい警備で、東京では到底考えられないものであった。担当した警衛沿道対策は、隣接する警戒員の姿が全く見えないほどに長い担当区を、たった一人で見守ることもしばしばだった。だからこそ私自身「不法行為は絶対にさせない」「二人でも機動隊なんだ」という意識を非常に強く持つて臨んだ警備でもあった。

山沿いの沿道では、無線感度は悪く、強い北風に雪が舞って、すぐそこにあるはずの橋が霞んでしまったり、ガードレールの上に野生のサルが座っていたこともあった。しかし自然環境は厳しかったが、それを吹き飛ばすほどに心温まる人々とのふれあいがあった。「寒中大変ですね、頑張ってください」「お巡りさんのお陰で無事に終わりました。ありがとうございます。」等、地元の人々から寄せられた、人間味と思いやりあふれるねぎらいの言葉に感動し、元氣付けられたのだ。

こうした自然の厳しさと人々の温かさは、私の機動隊生活の中で最も印象深い思い出となり、かつ、貴重な体験として脳裏に焼き付いた。そして、警備を完遂した満足感と共に、今後予想される困難な警備を、乗り越えることができる自信と手応えを感じることができた。

- 警備の中核 頑張れ機動隊
- 東 鋼 業 (株)
 - (株) エース電研
 - (学) 嘉悦学園
 - 高 周 波 熱 鍊 (株)
 - 芝 本 産 業 (株)
 - ス カ イ コ ー ト (株)
 - 杉 尾 榮 俊
 - 関 西 製 鋼 (株)
 - 大 同 鋼 板 (株)
 - 西 戸 栄 一
 - (株) カノークス
 - 新 日 本 製 鐵 (株) 名古屋支店
 - 松 田 鉄 鋼 (株)
 - 内 外 運 輸 (株)
 - 中 越 通 運 (株)
 - 三 星 金 属 工 業 (株)
 - 高 橋 重 廣
 - 豊 鋼 材 工 業 (株)
 - 東 北 支 部
- (他) 機動隊員等を励ます会

読者の広場



五十五年目の巡礼



滋岡 長平
(東京本部)

昨年暮のある日偶然一チャンネルを捻ったら「撃墜の地へ」と題した興味深いドキュメントであった。見られなかった方の為に概説すると、昭和二十七年七月二十四日、呉軍港を大編隊で爆撃した、B二四機中の一機、ロンサムレディの機長で、乗員九名中唯一生き残り、戦後に知り合った日本人と文通を重ね、この秋漸く夫人と息子を伴って広島を再訪した、トマス・カートライト中尉の物語である。彼は八名の部下を率いて半年間の猛訓練を重ね、兄弟同様のクルーに仕立て上げて沖繩から出撃した。江田島に停泊中の戦艦榛名を撃沈した後に高角砲弾を受け機体は柳井津の伊陸に墜落、機長以下七名は落下傘で脱出したが捕われて、広島憲兵隊司令部に収容された。カートライト氏だけは取調の為、数日後東京の憲兵司令部に連行された。八月六日朝、広島に原爆投下、爆心地は相生橋で、憲兵隊本部は全壊、司令官瀬川大佐以下数十名と、米捕虜達は等しく犠牲となった。再来した機長は、文通で知り合った市民達と会い、平和公園、相生橋と献花して犠牲者の冥福を祈った。司令部の跡地に建ったビルには、篤志家の森氏が昨年掲げた米兵レリーフであった。二日目に一行は江田島を訪ね

榛名・出雲慰霊碑前で高角砲の射手だった近藤氏等と握手して奇遇を祝い合った。最終日は「撃墜の地」、柳井津の伊陸に赴き七十余名の村人から歓迎を受けた。特に当時十九才だった村中氏はロンサムレディの機体破片を集めカートライト氏と十数年に亘る文通の仲間である。村人の中には、負傷した将校の傷を手当した婦人も居て機長は感激した。戦後物資の不足に悩んだ村人は壊れたロンサムレディの機体から作った各種の器物を持参して賞讃を受けた。

実に此の日、此所に新しい友好の碑が建てられて献花が行われ、五十五年目の巡礼は終わった。

さて、筆者は昭和十八年から二十年十一月迄主計將校として、憲兵司令部に勤務した。二十年五月末、首都の空襲は激化し、本土決戦に備えて、司令部下士官を成るべく、出身地に帰任させる事になり、広島出身で親しかった二人の軍曹が轉勤を命ぜられ、屈託のない笑顔で挨拶に来たことが忘れられない。

私が日鐵に復職して廃墟の広島を訪れたのは翌二十一年一月、用件は解体して行く兵器補給廠との残務整理であった。

機動隊メッセーヂリレー

野外でのレクレーション活動について

広島県警察機動隊 広島県警本部において、平和公園をはじめ、各公園・施設等美観が整備されており、都心部を離れると、海(瀬戸内海)・山(中国山地)・川(太田川)ともに自然が豊富で風光明媚な所です。

当隊ではこの自然を利用し、海での潜水訓練、また、山でのレンジャー及び山岳救助訓練と、各種訓練を行っていますが、訓練だけでなく、プライベートにおいても、隊内のグループ単位でこの自然を満喫しています。

その中でも登山(山歩き)に関しては、中国山地を中心に絶景が至るところに広がっているため、隊内でも愛好家が多くいます。最近では昨年の秋、その愛

好家の呼び掛けにより、余暇に約半数の隊員が集まり、山県郡戸内町にある、中国山地国定公園三段峡一帯の深谷美・紅葉を満喫しながら十一キロの行程をハイキングしました。しかし、あまりの気持ち良さに途中で走り出す隊員もあり、ハイキングがトレーニングに急変するという場面もありました。

これから、山歩きも勿論ですが、海・川での釣り、ゴルフ、そしてキャンプ等、自然を満喫した野外でのレクレーションがますます盛んになると思います。訓練だけでなく、プライベートで楽しみながら隊員間の結束を高めることも当隊では重視しています。

最後に、茨城県警察機動隊に質問です。隊員の意見を反映する良い方法についてお願いします。

機動隊からのたより

新たな挑戦

静岡県警察管区機動隊 平成十二年春の定期人事異動により、磯部大隊長以下四十三人が静岡県警察管区機動隊に入隊し、新体制による部隊編成が終了しました。

さる三月二十一日には、新・旧の小隊長以上の指揮官に対する指定解任書・指定書交付式が本部長室で執り行われ、続いて警備部長室において、旧大城大隊長以下八人が在隊中の功労に対する警備部長表彰が行われました。

最後に、今回新たに指定された磯部大隊長以下六人の指揮官に真新しい指揮棒が授与されました。

植田警備部長からは、離隊者に対し、本県で開催された「全国植樹祭警備警備」や数次にわたる「新東京国際空港反対闘争に伴う警戒警備」などの重要警備の任務完遂等の労苦に対する謝辞と新任地での活躍に期待する旨の激励がありました。また、新指揮官に対し

では、来るべき「九州・沖繩サミット」警備を完遂し、管区機動隊のシンボル「赤ダイヤ」の伝統を継承していただきたい旨の訓示があり、磯部大隊長以下新指揮官は身の引き締まる思いで受け止め、来るべき大規模警備へ向けた決意を新たにしました。

ここに再び静岡県警察管区機動隊の新たな挑戦が始まりました。

お知らせ

◎五月十日(水)午後五時三十分より、都内明治記念館において第二十七回通常総会を開催致します。主な議案は、

一、十一年度については、八月、神奈川県下玄倉川水難救助事業・九月、茨城県東海村隣界事故にとりもなう警戒警備・十一月、天皇陛下ご在位十周年記念式典・成田空港平行滑走路工事反対闘争・広島市内道路上での暴走族占拠排除事業

・年末中央道の暴走族道交法違反取締事業等の警戒警備と海外警察事情視察旅行招待・武道大会・体育祭・寮祭等に対する激励・支援活動および十一月高知県大月町の行方不明者を潜水捜索中殉職した二名への弔慰等の事業報告と収支決算報告。

二、十二年度については、わが国で始めての地方同時分散による九州・沖繩サミットが開催されることとなり、各国代表の身辺の安全と会議の円滑な運営を確保し、あわせて国民生活への影響を最少限と

目巡礼は終わった。

さて、筆者は昭和十八年から二十年十一月迄主計將校として、憲兵司令部に勤務した。二十年五月末、首都の空襲は激化し、本土決戦に備えて、司令部下士官を成るべく、出身地に帰任させる事になり、広島出身で親しかった二人の軍曹が轉勤を命ぜられ、屈託のない笑顔で挨拶に来たことが忘れられない。

私が日鐵に復職して廃墟の広島を訪れたのは翌二十一年一月、用件は解体して行く兵器補給廠との残務整理であった。



新・旧の指揮官に対する指定解任書・指定書交付式。

今月の言葉

北海道にも漸く雪も解け春近しの日々が続いています。近郊の山並にはまだ残雪も見受けられますが、五月中旬を過ぎると草木の緑が目眩しい季節となります。

さて、最近では警察の不祥事を新聞紙上で目にしますが、対照的に北海道警察本部は新しい警察像を創造しようと試みている事をご理解頂きたいと思えます。

先日『文芸春秋』の新年号に紹介された記事を読むと、この取組みは、職務以外の一芸に秀でた警察官を発掘し活動に役立つ

あらたに互いの絆と期待を確認し合っって... 通常総会・懇親会開催!



警視総監

野田健殿



警察庁長官

田中節夫殿



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

道民との交流余話

てよとの企画の由。全職員約一万一千人を対象に昨年八月から調査を進めた結果、各地から「われこそは」と名人・達人が名乗りを上げた。異色芸では一九九七年のアマチュア全国大会に優勝した社交ダンス達人の門別智員、一九九八年の全国素人そば打ち大会で最高賞の「名人」

さる五月十日、明治記念館において「第二十七回通常総会・懇親会」が盛大に行われました。

総会は、会員の方々多数出席のもと、佐々木理事長の挨拶で始まり、平成十一年度事業報告および収支決算報告承認の件、そして平成十二年度事業計画案および収支予算案承認の件、最後に本年七月に開催される「九州・沖縄サミット」警備支援活動中間報告の三つの議案が満場一致で承認され、議事は全て滞りなく終了しました。

その後、会場を移しての懇親会に移りました。多数の会員が温かい拍手で迎えるなか、警視庁機動隊の精鋭たちが入場し、さらに来賓として、警察庁長官田中節夫殿、警視総監野田健殿はじめ警察幹部の方々、約一五〇名の出席をいただき、総勢三二〇名が会場を埋めつくし熱気に満ち溢れました。

まず、開会にあたり、佐々木理事長より、「機動隊の皆さんの活躍に厚く御礼申し上げるとともに、我々の秩序を守る努力が日本を支えていることを腹にすえて確認したい。警察の不祥事が取りざたされているが、法と秩序を守る警察としてこれから新たな努力が必要であろう。また、間もなく開催される「九州・沖縄

に輝いた稚内署員、変わり種は寿都署の毒キノコ鑑定人・キノコシーズンには鑑定依頼で大忙しという。他にも「ガマの油売り」や手品・落語などの名人達人が約百五十人、専門分野では百種類にも及ぶ警察官が集まった道警では地域に溶け込んだ活動を広げるため多芸の人材を組織的に行かし

「サミット」警備は大変なものでありましたが、我々もささやかながら応援していきたい。」と挨拶しました。つきに、会の功労者七名に対して、理事長より感謝状が贈られました。

その後、警察庁長官田中節夫殿より、「発足以来温かい支援をいただきありがとうございます。今の警察に対して国民の皆様から厳しい目で見られていますが、再生警察を目指して奮闘中であり、何より皆さまに出来る仕事をする事が大切だと思っております。今年の大警備となる「九州・沖縄サミット」を何としても完遂し、さすが警察、やっぱり機動隊と言われる仕事をしていきたい」と力強く挨拶されました。

次に、警視総監野田健殿より、「警察を取り巻く情勢は凶悪化・国際化・ハイテク化等大変厳しいが、これらに立ち向かっていく覚悟です。そして、前からみると警察、右からみると交通警備隊、左からみると特殊警備隊、後ろからみると機動隊というように、柔軟に形を変えてゆける警察を目指していきたい。警察の仕事は国民の協力と支援があつて始めてできるものであり、今後とも宜しくお願いしたい。」と挨拶されました。

その後、全国優秀機動隊員受賞者代表として十名が壇上にあがり、代表第



にそれぞれ任務を遂行され、特にこの度北海道有珠山噴火に際しては、道警はもとより東北・関東・中部・関西からの応援・援助を頂き誠に「苦労さまで。私達、道民は今後も機動隊員の方々の応援団として警察に対する期待と信頼を持ち益々支援助の輪を広げていきたいと存じます。隊員の皆様のご健勝とご活躍をお祈り致します。

(理事・北海道支部長 藤光 正治)

ていくという...企画を立て、一般市民と対話・交流を今後一層深めていき、目まぐるしい変化の時代を乗り越えていこうとする

姿勢に頭が下がります。

最近の予想だにしない突発事案・事故・災害等が何時起こるか分からない治安情勢にあつて、隊員は旺盛な士気の下



〈今月のテーマ〉 家族・夫婦 の 幸せ計画



北海道警察警備隊
森利口 尚弘

幸せの感じ方は、その人の人生経験、価値観によって変わってくるので、本人が幸せと感じているのであれば、それが幸せであると私は思いません。

最近、幸せと感じた事は、ある情報雑誌を読んで格安の旅行を選び、宿泊した際のことです。サービスが悪いわけでもなく、普段と何ら変わりのない内容であったので安心して、ゆつくりと充実した時間を妻と過ごすことができました。

この事が、人生の良い思い出の一つとなり、とても得した気持ちになりました。

得した気持ちになると、心が豊かになり、精神的にリラックスした幸せな気持ちになれるのです。

ちよつとしたきっかけから、幸せを得ることができていることを知った私達夫婦にとって、多くの情報の中から、自分達の必要とする情報を手に入れ、活用することに興味を持ったことは、言うまでもありません。

今回、幸せになれたのは、一冊の情報雑誌のお陰ですが、これからの二人の人生をより楽しませてくれるきっかけを作ってくれた、かけがえのない一冊になった事は間違いありません。

これからは、情報入手手段の最先端であるインターネット等の通信手段を活用し、より多くの幸せを入手し、上手に活用することを「幸せ家族計画」

の柱として、今後の人生を楽しみたいと考えています。



中部管区機動隊
須川 洋幸

昨年の十月に結婚した。私が新婚旅行に行っている間、緊急部隊出勤があったから帰った私は少し寂しい思いをした。それは私が機動隊員だからなのか。

それからしばらくして成田空港への出勤があり、今度は妻が寂しい思いをした。しかし妻は言う「警察官の妻だから、あなたが機動隊員だから」

妻に内緒でこの作文を書く私にとって家庭の幸せ計画とは二人でできるだけ楽しい時間を過ごすことである。家を空けることの多い私を陰で支えてくれ、仕事に理解を示してくれる。いずれ子供ができ家事、育児に追い回され、私などにはかまってはくれなくなるであろうが、私としては明るく楽しい家庭を作ること努めようと思う。



貴重な二人で過ごせる時間を大切に。

新婚旅行で出勤出来なかつた寂しさを妻は理解してくれているが、九州・沖縄サミットでは寂しい思いをするに違いない。これからは二人で過ごせる時間を大切にしていこうと思う。



中国管区機動隊
村尾 隆之

私達夫婦は、今年の一月に結婚し、

ようやく新生活も落ち着きははじめたところですが、私の妻は、これまで警察社会に接したこともなく、私の仕事に興味津々です。

特に、現在の仕事についてからは、呼び出しや、夜の迎撃等が出掛ける事が多く、事細かく聞いてきます。

私は、仕事の事をあまり話しませんが、妻の問いに答えませんのでした。



友人・知人に囲まれた楽しい我が家に。

しかし、妻も興味心よりも不安な気持ちが多いと思うので、違う話題で補っています。話題はどうであれ、会話することは非常に大切ですので、私達夫婦の間では、くだらない事でも話しをするようにしています。

それは、私達の子供が出来てからもそうであり、私達の友人、知人においても同じことです。人との付き合いは、まず、会話をすることと考えています。

話す人が多ければ多い程、楽しいですし、自分では気づかない発見も出来ます。

ですから、私達の家には、友人、知人が何の遠慮もなく訪れ、楽しい話題が溢れ、賑やかな雰囲気いつも包まれていれればいいと思っています。



九州管区機動隊
福元 博

私は昨年の十月三十日に結婚し、まだまだ夫婦修行の身であります。

結婚してから六ヶ月程になりますが、昨年の末から県外出動も多く、なかなか夫婦語らいの時間が持てないので、そのせいであつてか、出勤から帰るたびに、つい先日結婚したばかりの夫婦のような新鮮な気分を味わうことができます。

さて、私の家庭・夫婦の幸せ計画ですが、特にこれといったものもありませんし、夫婦生活の浅い私たち夫婦にとって、夫婦の幸せが何なのかも分かりません。

ただ、子供をつくり、家をつくり、家族団らんをし、時には家族で旅行に行ったり、とごく普通の家庭を築くことができればと思っています。そのためにも、いつまでも夫婦仲良く健康でありたいと思っています。

私が結婚する時に、尊敬する上司から「夢を持って、夢がある者には希望がある。希望がある者には計画がある。計画がある者には行動がある。行動がある者には成果がある。成果がある者には発展がある。発展がある者には夢がある。」という言葉頂きました。

時には、些細な事で喧嘩をすることもありますが、いつまでも変わらぬ夫婦の夢と希望を持ち続け、夫婦円満であれば、それが私たち二人の最高の幸せだと思っています。



岩手県警察機動隊
岡市 善寿

我々夫婦が誕生したのは、平成七年一月十七日に発生した、多大な被害をもたらした阪神・淡路大震災に伴う兵庫県警察特別派遣から帰県した直後の二月二十五日であつた。

連日の勤務の合間を縫って、電話で披露宴の席順や、式の打ち合わせなど、妻や式場担当者となれやこれやと連絡を取っていたことが今では懐かしい思い出である。

さて、我が家の夢であるが、題名にもあるとおり、新婚旅行に行くことである。

面倒くさがり屋の私は、前記した行動を理由に、旅行計画を立てる余裕はなく(本当はあつた)、海外旅行に行きたいと泣きながら訴える妻を、「海外なんていつでも行けるから。」と強引に説き伏せ、現在に至っている。



いつか家族そろって海外旅行に行こう。

今では、娘も生まれ、新婚の時とは懸け離れた生活を送っているところであるが、予算を作り、時期を選んで、いつか家族で海外旅行に行こうと、日々夫婦で夢を話し合っている。

このささやかな夢を叶えることが、一番ではあるが、夫婦で夢を語り合えること自体が幸せだと思っている。いつのことになるか分からないが、この夢は必ず叶うものと信じている。



栃木県警察機動隊
諏訪 憲昭

最近結婚したばかりの妻と「結婚の記念に何かやろうか。」と話合い、庭にさくらんぼの木を植えることになった。いわば二人の記念樹である。まだ背丈七十センチ位しかない苗木を植えたときのワクワク感、そしてその感動はいつまでも忘れないだろう。

この苗木はこれから一年、二年、三年と年月が経つにつれ大きく成長し、そしてさくらんぼの木としての貫禄が

出てくるであろう。しかし、この苗木がさくらんぼの木として成長し、そこに赤い実がつくまでにはいろいろな試練が待っているだろう。

私たち二人もこの苗木と同じように夫婦としての貫禄が出てくるのであるうか。またその過程において様々な苦楽を乗り越えていかなければならないであろう。共にスタートした私たちと苗木、お互い腐る事なく生涯を大成することができたなら、こんな幸せはないと思う。



結婚の記念樹とともに私たち夫婦も成長を。

記念樹に赤い実がなるまで何年かかるのかわからない。でも、何年も何十年後もその成長をひそかな夫婦の楽しみとして見守っていくことが、私たち二人のささやかな夢である。



滋賀県警察機動隊 中村 健二

結婚して二年と三ヶ月、結婚当初二人の夢も数多くあり「二人でなにがしたい」「子供となにがしたい」と、毎日のように夢を語りあったものでした。しかし、どれもこれも現実離れしたものでばかりであったため、具体的な計画までは、当然進みませんでしたが、その「夢」を語ることによって夫婦の会話も楽しいものがありました。

そして最近では、あれは駄目、これも駄目と現実的な話の方が多くなり、

日々の暮らしのささやかな事ばかりで「夢」から遠のき何か寂しい気がする今日この頃です。そんな中、結婚当初から夫婦で将来必ず実現したいと思う「夢」が一つだけあります。

それが、今年九月に生まれてくる我が子が成長し、家庭を築きその家族と共に私達夫婦が結婚式を挙げた「フロリダ」に行くことです。そして、フロリダの太陽の下、二人が結婚式を挙げた教会で、孫や我が子に「ここでおじいちゃんとおばあちゃんに結婚したんだよ」と、優しく語りかけることです。

その夢への第一歩として、今年九月に生まれてくる新しい生命のためにも日々の暮らしを大切に、夫婦仲良く暮らしていきたいと思えます。



徳島県警察機動隊 小川 正和

私が、徳島県機動隊に入隊して今年で三年目となり、隊員は体が資本であることを実感している今日この頃である。そんな自分を、常に後ろからバックアップしてくれるのは、勿論我が妻である。

妻と私は初任科同期であり、何かとよく気が合って、一年前の二月に結婚した。現在妻は、一線の刑事として頑張っている。

普通の家庭は、夫が仕事から帰ってくる、夕食の準備ができているのが当たり前なのかもしれない。しかし我が家では、毎日のように、妻の方が帰宅が遅い。それでも妻は、帰ってくるのと当然のように夕食の準備をする。悪いなあと思いつつも、何もせず待って、夕食を食べる。この家庭の団らんと、美味しい夕食が、私の力の源である。

家庭が幸せであり、落ち着ける場でないければ、仕事に専念することはできない。仕事と家庭を両立させ、我が家

のような笑いの絶えないあったかい家庭を作ってくれている妻に本当に感謝している。だからこそ、妻と一緒に過ごせる時間を少しでも見つけ、大切にしたいと思っている。そして、いつかは家族みんなで、のんびり温泉旅行にでも行きたいものだ。その時には、家族も増えているだろうから、私の幸せ計画である。

機動隊、警備の現場から

有事即応体制の確立を目指して

奈良県警察機動隊

奈良県警察機動隊では、「積極果敢な行動」「不撓不屈の闘志」「厳正な規律と団結」を隊訓として、春の定期人事異動後、新編成された機能別部隊員等により各種の訓練を実施し、練度の向上を図っているところである。

本県は、県南部に全国でも有数の豪雨地帯である大台ヶ原を有し、またダム湖、ため池等が県下に点在しており、これに伴い山岳遭難救助、水難救助等の出動が増加している。

昨年七月、県防災ヘリコプターが県南部の十津川村山中に墜落するという事案が発生し、当隊からは、レンジャー



県防災ヘリコプターが十津川山中に墜落。



警察官夫婦の新婚旅行。

1班を中心とした小隊長以下の十五名の隊員が出動し、険しい山中において墜落現場へのルート確保、検証補助等の任務を完遂した。機動隊ではこのような機能別部隊の出動を想定し、常に実戦的な訓練を実施するとともに、有事即応体制の確立にも万全を期しているところである。

本年は、「九州・沖縄サミット」開催の年であり、機動隊の特別派遣も決定したことから、任務の完遂を期するため、あらゆる事案を想定し、何事にも対応できる機動隊を目指して日々訓練を実施しているところである。



険しい山中の現場に出動し活動にあたるレンジャー隊員。

- 若さと伝統
- 頑張れ機動隊
- 鈴木 實
- 青山特殊鋼(株)
- (株)エース電研
- 大野興業(株)
- 岡部(株)
- 草野産業(株)
- 高周波熱錬(株)
- (株)広沢製作所
- 平和農産工業(株)
- 共永興業(株)
- 橋山和生
- 浅田隆司
- 竹之上誠剛
- 東海鋼材工業(株)
- 東海レベラー鋼業(株)
- 日鐵物流(株)
- 山陽鋼業(株)
- 南部建材工業(株)
- 早達運送(株)
- 北越メタル(株)

読者の広場



虚を突かれる話



押本 俊明
(理事・北陸支部)

虚を突かれるのは普通イヤなものです。油断している時に意外なことが起き、慌てふためかされるのは、富士川の平維盛だろと警備中の機動隊だろと御免蒙りたいに決まっています。

しかし、同じ虚を突かれるにしても、これが頭の中だけのことなら、つまり云わば知的盲点を突かれた場合には(例えば古代ギリシャのパラドックス

「アキレスは亀に追い付けない」のように、却って快感を伴うことがあります。以下二つの話は、最近私が出会った例です。①は私自身が考えた話、②は私の友人が指摘した話であります。

① 中国語における新語表記はどのように決めるのか。
例えば、アメリカでCLINTONという人が大統領になったとします。日本語では外来語用表音文字すなわち片仮名を以って「クリントン」とすることに何の議論もありません。ですが、漢字のみの国中国ではどう表記するのでしょうか。あつさり言ってしまうと、実は答は「克林頓」です。しかし、何千とある漢字の中で、クリントンと発音できる文字は、この三文字だけではないはずがありません。だとすれば、一体いつ、誰が、どのような手続きで「克林頓」と決めたのか。まして不倫の相手「莫尼卡倫斯基」嬢においては、何故私がかんなツマラナイ疑問を抱くようになったのかは紙面の都合で割愛し

ますが、この疑問は当の中国人(と云っても飲み屋のアルバイト嬢五人程度ですが...)の虚を突くものであったらしく、大いに面白がられた挙句、結局今のところ誰も答えてくれません。

② 南米では、月はどちら側から欠けるか。
月は新月から始まって右側から満ちて行き、満月を経て、また右側から欠けて行くに決まっていると思っっているあなた、地球の裏側すなわち、日本から見て人々が逆立ちしている状態にある国々からは、全く逆に見えると思いませんか。だつて逆立ちすれば右は左に見えるでしょう。ついでに、では赤道付近では一体どうなるのか。

以上、「読者の広場」の紙面を汚すような駄法螺で申し訳ありません。しかし、真面目な話、答を御存知の方は是非教えて下さい。
同時に、もっと面白い「虚を突かれる話」があったら、是非々々お知らせいただきたいと思ひます。

有珠山警備の「はまなす隊」の活躍と応援の東北管内各県警女性警察官の活躍!

去る、三月中旬から連日有珠山を震源とする震度四の活発な地震頻発によって、北海道警察は、「避難漏れ等による人的被害を絶対に出さない。」「避難された方に対する心の通った警察活動の推進。」を基本方針として、道警機動隊・警備隊をただちに現地に派遣するとともに、道警あげて災害警備体制を強化してきた。

そして、三月二十七日室蘭気象台の「数日以内に噴火する可能性がある。」との緊急火山情報の発表により、道警は関係市町村と住民の避難誘導対策を進める一方、他管区機動隊の特別派遣を要請していた。三月三十一日東北管区機動隊先遣隊が宮城県松島基地から自衛隊輸送機の支援で千歳空港に向つたところ、飛行中の午後一時三十分噴火発生に報に接し、現地到着後直ちに新日鐵室蘭製鐵所

体育館を拠点に警備配置についている。噴火以前から避難指示区域の住民一三、〇三九名の避難誘導、残留住民の説得が適切に行われ、以後四月十四日中部管区機動隊が交代して道警とともに警戒に当たっていたが、四月三十日の予知連の判断および五月二日の避難指示区域の一部解除により五月十五日特別派遣が解除され、以後道警独自の体制となった。

避難期間が長引くにもない三十五か所に避難する約四千名の住民は、自宅の状況が気になり、また住民居住区域毎に避難所収容をしたとはいえ他人同士の居住生活に、しだいにストレスは高まっていた。

このため、道警では四月二日女性警察官・婦人補導員六十名で「はまなす隊」を編成し、各避難所に配置するとともに、東北管内各県警から三千名の特別



派遣を受けて増強した。男性の「サポート隊」八十名とともに避難住民の相談・要望をきき支援対策を強化してきた。五月十二日現在困り事相談等二、八二一件中「はまなす隊」が受理し、道警本部から関係機関に連絡されたものは一、七四五件で、女性の立場から困り事や不安感で眠れない高齢者の身の回りの世話、そして寝るまで相手をするなど女性ならではの暖かい配慮に心から感謝されている。

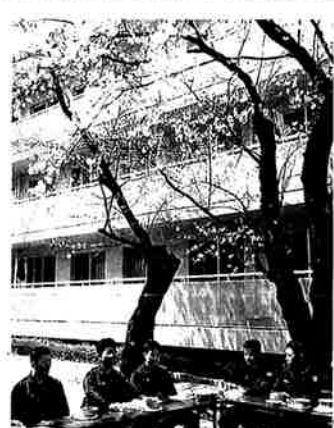
隊員の意見を反映する良い方法について、茨城県警察機動隊ではどのような活動を行い、どのようなことを心掛けていますか?
広島県警察機動隊より

隊員の意見を反映する
良い方法」について
茨城県警察機動隊

我が茨城県警察機動隊では、今春新隊長を迎え各種訓練や出動を行っておりますが、隊運営の一つとして分隊、小隊、中隊の「縦の和」と幹部間や同僚間の「横の和」を重んじ、隊長以下隊員一致協力して「和」の構築に努め、前例踏襲に陥ることなく、時代に対応した機動隊を目指しているところであります。

その中で、隊員の意見を反映する職場を作るために、意見を言える環境作りを行っております。一例を紹介いたしますと、当隊では訓練を通じて信頼関係のほか、「誕生会」、小隊長以上の幹部による「十一人の侍と一姫会」、趣味を通じたグループ活動等を行っております。最近では、当隊の名物である桜並木の下で、今春入隊した新隊員と幹部による昼食会を開催し「入隊して感じたこと」を題に意見交換会を実施して意見の吸い上げを図っているところであります。

また、幹部は胡座をかかず、自ら



桜並木の下で、新隊員と幹部による昼食会を開催し、意見の吸い上げに努めています。



お知らせ
◎五月二十五日(水)午前七時十五分より、都内明治神宮外苑絵画館前広場において、警視庁機動隊観閲式を開催されます。

皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。
部下に積極的に声をかけることにより組織が変わるとの認識に立ち、隊員の勤務状況の確認と激励、公平な信賞必罰、幹部の焦りやせかしの払拭等、幹部の意識改革も並行して行っているところであります。

意見が反映される職場は、隊員個々の存在価値を高めることになり、人格の形成は勿論ですが、各級昇任試験の合格等プラスアルファの付加価値を高めるものと確信しています。
最後に、福井県警察機動隊への質問です。いよいよ開催真近にせまった「九州・沖縄サミット」ですが、サミットに向けた警備対策についてぜひ聞かせて下さい。

今月の言葉

一連の警察不祥事を受けて警察に対する批判が未曾有の熾烈さで毎日のように報じられている。紙面だけを見ていると今にも社会が崩壊しそうな感じがさえる。

これがごく最近迄、最も優秀な日本の警察と世界から折紙をつけられていた実態とどう結びつくのだろうか。

私は最近脅迫事件に見舞われた。東京のある出版社から私の購読注文書のコピーを添えて法外な価格の代金を早急

止むなく近くの警察署に相談する事にした。

警察署といえれば数年に一回運転免許の更新に訪れる位で余り馴染のない

最後の砦

机の処で事情を説明した。最近こうした事例は多岐に及ぶ、若し自宅迄押し掛けて来たら迷わず一〇番する事、パトカーは十分間前後でかけ

の生命財産の保護のみならず、国民の平和で安全な社会生活を保障する最後の砦である。

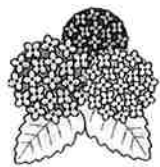
最近の対警察批判の中には、時流



(副理事長 木村 政次)

につけるからと言はれ、地獄に仏とはこの事かといふに意を強くすると同時に衷心感謝の念で一杯でした。

警察は危機管理組織であり、国民に便乗するもの、或いは毛を吹いて疵を求めるもの、事の処理に当たっては、元来夫々の組織の裁量に委ねられるべきものに迄立入って批判している様だが、警察にしても若し一部でも事実なら非は非として、元来自己統制力のある組織だから臆せず慌てず改革刷新に努力されるよう切に望みたいものです。



皇太子同妃両殿下および外国要人が参列 前総理大臣葬儀警備万全に！



首相在職中に脳梗塞で倒れ五月十四日に死去した「故小渕恵三前総理大臣の内閣・自由民主党合同葬儀」が六月八日に東京千代田区北の丸公園内の日本武道館で行なわれた。

この葬儀には、皇太子同妃両殿下をはじめ、各皇族、歴代首相経験者、衆参両院議長、最高裁判所長官やクリントンアメリカ合衆国大統領、金大中大韓民国大統領らの外国要人を含めた約六〇〇〇人が参列、冥福を祈った。

警視庁では、合同葬に備え奥村副総監を本部長とする「特別総合警備本部」を設置し、約一万人の警備体制で皇太子同妃両殿下・各皇族方のご警衛、外国要人及び内閣総理大臣等警護対象者の身辺の安全確保と行事の円滑な進行を確保するため葬儀会場の日本武道館のほか、皇居、迎賓館、羽田空港、外国要人の宿泊先等でゲリラなどの不測の事態に備えて警戒警備にあたり警衛警護警備の万全を図った。



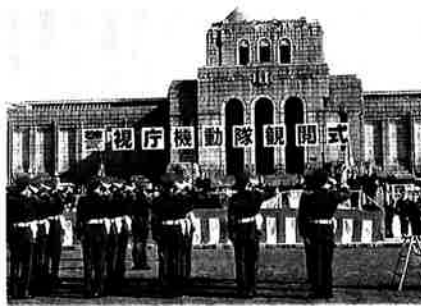
発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 善朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

警視庁機動隊観閲式が挙行されました！

さる五月二十五日、警視庁機動隊観閲式が東京都明治神宮外苑絵画館前で挙行されました。当日は、見事な五月晴れ、澄みわたる青空のもとで、観閲官警視総監の部隊査閲・分列行進査閲が行なわれました。

会場に集まった観客が見守るなか、約一七〇〇名の機動隊員が一般警備部隊、機能別部隊、車両部隊等に分かれ、次々と威風堂々たる行進が披露されました。



観閲官警視総監に敬礼



出動服部隊の行進

その後、観閲官である野田警視総監からは、「いよいよ本年最大の課題となる九州・沖縄サミットもまじかとなり、過激派、右翼等への注視が必要な厳しく困難な警備となることが予想されるが、警察の威信をかけて本警備の万全を期してもらいたい」との機動隊員への期待を述べられ、また来賓の東京都公安委員会委員長からもあたたかいご祝辞をいただきました。

〈今月のテーマ〉

新隊員の決意表明



警視庁第一機動隊 新井 徹

「自信は努力から」
この言葉と共に、私は第一機動隊の隊員となりました。

一年九か月前に警察学校を卒業し、地域警察官として、仕事に対し自分で考え行動できるようになった今、なぜ機動隊へ行くのかと質問され、また機動隊は厳しい訓練と重要な警備の連続とも聞かされました。それだからこそ、今、機動隊へなのです。

私の目標は、内外の政府要人を守るSPになる事です。一言で守ると言っても、それは身を挺し命を懸け守り抜く事であり、それには強靱な体力・精神力が必要となります。機動隊の日々の訓練とその環境が、SPへの大きな一歩、大きな土台となるはずで

厳しく、辛い事から逃げるのは、誰にでも出来ます。また、時には「自分のペースでゆっくりやりな」というやさしい言葉を掛けられるかもしれませ

今はまだ、何をしたら良いのか、何をすべきなのか分からず、右往左往の毎日ですが、一日も早く機動隊員として仕事を覚え、またその一方では、SPとなるべく、体力・精神力の錬磨に努め、勉学にも励み、一人前の第一機動隊員となるよう常に努力します。

「自信は努力から」をいつも胸に。



警視庁第二機動隊 南雲 ゆかり

平成十二年四月二十六日、私は以前から希望していた機動隊に入隊することができた。

豪雨の中でも毅然として重要防護対象警戒をしている姿や、右翼街宣車に果敢に立ち向かう姿に憧れ、入隊を強く希望した。

しかし、警察署に比べ機動隊という組織は、男子警察官の持つ強硬な体力や、何者にも負けない気迫ある組織というイメージが強く、希望して入隊したものの実際問題、順応できるかどうか不安であった。

このような不安を抱えたまま新隊員訓練が始まり、貸与された装備品を身につけ訓練に臨んだが、徐々に不安からやる気が変わっていった。新隊員三十二名が階級に関係なく気持ちを一つにして団結し、お互いに鼓舞し合っている中で「きっと私にもできる」という熱い思いが自然に胸の奥から湧いてきて、その結果、何とか無事に最後まで乗り切ることができた。

この訓練で得た人間関係と信頼、「前向きに頑張ればできる」という確信を大切に、一日も早く一人前と誰からも言われる機動隊員になるつもりである。

また、前任署での上司から「機動隊に入れば自然と道が開ける」と励ましの言葉を頂いた。この言葉を信じ、隊の士気旺盛な雰囲気の中に身を置くことを幸運と思い、各種資格の取得と昇任試験合格を目指す決意である。



警視庁第三機動隊 鴻巣 恭輔

第三機動隊への異動が決まった時、私には大きな期待と同時に大きな不安

がありました。新しい職場に馴染むかどうか、訓練についていけるかどうかなど、考えれば考える程不安がつのりました。

そんな気持ちのまま第三機動隊に着隊し、新隊員訓練を迎えたのです。新隊員訓練は思った以上に厳しく何度か挫折そうになりましたが、そんな私の力になったのは着隊同期の仲間たちです。つらい時もみんなで励まし合い頑張り続けていくうちに連帯感が生まれ「自分だけじゃない、仲間がいるんだ」という気持ちになりました。

現在、私は武道小隊員を命ぜられ、機動隊員としての生活は、まだまだ分からないことばかりで先輩方に色々なことを教わりながら少しずつ前進していく所存ですが、これからも「同期の仲間達との絆」を大切に、お互い励まし合って大きな期待を胸に、第三機動隊員として頑張っていく覚悟です。



警視庁第四機動隊 植山 和洋

平成十二年四月二十六日、二年一か月勤務した五日市警察署から、第四機動隊へ初めての転勤となり、警察学校へ入校した時、卒業配置をした時と同じく、警察官を志した初心を再度思い返した。

私は、大学を卒業してから国際協力事業団の傘下にある青年海外協力隊に参加し、アフリカにあるジンバブエ国において電気も水道もない地域にある小学校の体育教師として二年間活動した経験がある。この協力隊に参加した

理由は、学生の中から海外に興味があったことと、こんな自分でも人の役に立てるのではないかと考えたこと、そして、未知の世界で自分を試してみたいというチャレンジ精神だった。

警察官を志した理由も同じである。アフリカ人でも知っている日本の首都「東京」で人の役に立つことができ、自分の可能性を試すことができる場所は警視庁しかないと思っただけである。

この初心を忘れることなく、「鬼の四機・仏の四機」と呼ばれる警視庁第四機動隊の一員となれたことを嬉しく思い、首都の治安維持に自分の可能性を試すべく、これからの日々の勤務を全うするつもりである。また、六月下旬から約一ヶ月間、九州・沖縄サミット警備のため沖縄に派遣されることとなっており、警視庁の威信を賭けた大警備に機動隊員として従事できる喜び一杯である。

私は、「初志貫徹」の精神で四機隊員の一人として、全力を傾注して本警備を完遂する決意である。



警視庁第五機動隊 村井 大樹

桜の木もすっかり緑色に変わった四月二十六日、私は久松警察署から伝統ある第五機動隊に入隊しました。機動隊勤務はもちろん、特別機動隊の経験すらない私にとって、「機動隊」というところはとにかく「厳しい」という漠然としたイメージしかなく、非常に不安な気持ちで送迎の車に乗り込みました。

しかし、隊舎に着いた私を迎えてくださった先輩方は大変優しく、「あれ、随分想像とちがうなあ」と思ったのです。とはいえ、新隊員訓練は思ったとおり厳しく、特に最近運動不足を痛感していた私は、訓練となるとたんに厳しくなる先輩方から怒鳴られな

がら、ひたすら大楯を構えたり降ろしたりを繰り返すばかりでした。なぜ先輩方が、あれほど私たち新隊員を大声で厳しく指導するのが、夜間訓練を実施し、飛び交う投石、うなりをあげる鉄パイプ、燃え盛る火炎瓶の炎のなかを駆け抜けたときにやっと理解できました。機動隊という職場は、治安の最後の砦であり常に危険と隣り合わせで、国民の命と仲間の命を、そして自分の命を守るためには、常日頃から厳しい訓練を繰り返すしかないのです。

今年、七月に九州・沖縄サミットという大警備があり、私たち警視庁第五機動隊も現場で中核となり警備にあたることとなります。各国の首脳が集まり、世界中が注目する中で、世界に誇る日本の治安を担う機動隊の一員として勤務できる喜びを胸に、元氣一杯に、そして訓練で学んだ基本を忠実に守り一生懸命に頑張っていく覚悟です。



警視庁第六機動隊 服部 正尚

私が第六機動隊に着隊してから、早くも半月が過ぎようとしている。この間、自分を取り巻く環境の変化に戸惑いもあったが、新鮮な気持ちで取り組み、今では「やってやるぞ」という気力で充実した毎日を過ごしている。

さて、今年九州・沖縄サミットの成功という重要な目標を抱えている。そしてその成功には、隊と隊員が足並みを揃え、各々が持つ力を全て発揮しなければならぬ。私は次の三つの姿勢で臨む覚悟である。

一、「我々の誇りにかけて、絶対に成功させる」という攻めの気持ちを保持
我々が成功させなければ誰がやるという積極的な気持ちで取り組み

ば、道は自ずと開くはずだ。二、目標達成の土台となる強靱な体力錬成

目的を達成するには、気力も大切だが有事に際しては相手を抑え込む実力も必要である。そのためには様々な訓練を行って体力増強に努め、柔剣道によって暴漢を抑え込む技術を身につける。体力、技術の兼備が必要と思う。

三、「一人は隊のために、隊は一人のために」の意識の徹底
一人は隊のために持つ力全部を捧げ、隊は苦境にある仲間を全力で救出する。それがあってこそ物事に団結してあたれると思う。

最後に私は着隊してからまだ日が浅く、いろいろと至らぬ点も多いが、熱意と気迫だけは先輩、同期に負けぬ気である。先輩の皆さん、どうか宜しくお願いします。



警視庁第七機動隊 井上 貞裕

四月二十六日、私は三年九か月ぶりに第七機動隊の門をくぐった。以前、見慣れた隊庭には整然と車両が並び、若い隊員がそれぞれの作業を行なっている。

この若い隊員が、責任とプライドを持って黙々と作業を行なっている姿を目にして「機動隊に戻ってきたのだ。この若者達と一緒に汗を流そう」と素直に思える清々しさでいっぱいであった。

私自身には、機動隊における特技はこれといてない。そんな私が、機動隊で勤務できる喜びを感じてしまうのは、機動隊員がそれぞれの役割できびきびと行動するという一体感を感じるからである。

機動隊の存在が、重要防護対象の警戒警備等の警備実施という面だけではなく、警察活動全般に機動隊の機動力

と部隊力を発揮していかねければならないと考える。勿論、機動隊本来の技術をより一層向上させていかなければならない。

機動隊に着隊し、隊員と共に多くの汗を流して、着実に小隊長としての役割を身につけ、自分自身の持てる力を存分に発揮したい。

七月には、九州・沖縄サミット警備が控えている。この大警備を一人ひとりの力を結集して完遂し、警察人生における自信と喜びを隊員とともに分かち合いたい。そして、年齢は違っても財産である友を多くつくりたい。



警視庁第八機動隊 清水 千歳

「どこへ行くの？」

ふいに声をかけられ振り返ると、若い警察官が一人立っていました。「こんな時間に、高校生は珍しいから」とその警察官は、やさしく言いました。日の短くなった秋の夕暮の皇居での出来事でした。

あの日の女子高校生は警察官となり、現在念願の機動隊員として勤務しています。今考えると若い警察官は、機動隊員だったと思います。その日、私は家出した訳でもなく、ただ皇居を見たくなり、学校帰りに寄り道をしただけでした。そんな私を、心配して声を掛けて下さった機動隊員に、安心感と、「だから東京は治安がいいんだ」という想いをいただきました。この日のことは、十年以上経った今でも忘れられない思い出です。

私もこの職場で、あの時の機動隊員のように、都民の方々の安心と信頼を得られる存在になりたいと思います。昨今の警備情勢は、激増する不法外国人や銃器犯罪等で今までにない複雑且つ凶悪なものになっています。

その中で、悪に負けない心と身体を鍛練に努め、治安の砦として都民の方々に、かつての私と同じように安心感を感じて欲しいと思います。また、あの日の機動隊員のように、きめ細やかに都民の皆さんに接していくつもりです。



警視庁第九機動隊 小玉 泰仁

この度、私は伝統ある警視庁機動隊の一員として、第九機動隊に着隊しました。着隊しての印象は、若い人が多く明るく元気があり、動作がきびきびしていて活気がみなぎっているということです。

着隊したばかりで何も分からず不安な気持ちでいっぱいですが、先輩のような立派な機動隊員として活躍できるよう、ここに私の決意を記すことにします。

私は警察官になって、一年三か月と日が浅く、まだまだ未熟者ですが、常に向上心を持ち、何事にも積極的に全力で取り組み、自分を人間的にも警察官としても成長させたいと考えています。機動隊では、様々な資格や検定に挑戦する機会があるので、さらに自分の能力を伸ばすことができるよう挑戦しようと思っています。

また、今年から巡査部長昇任試験の受験資格がありますので、在隊中に必ず合格出来るよう計画的に勉強する覚悟です。

さらにもう一つ！第九機動隊には、警視庁アメリカンフットボール部「イーグルス」があります。私もチームの一員になりました。皆、一丸となって勝利のために非番・週休を利用して練習に励んでいますので、私も先輩に負けないよう、一生懸命頑張ろうと思っています。

最後になりますが、九州・沖縄サミット警備では、自分の持ち場に全力投入し、警備を完遂する覚悟です。



警視庁特科車両隊 岩崎 守男

「いち、にい、いち、にい」の掛け声の下、個人用防護桶を脇に抱え、我々特科車両隊の新隊員は、五月二日の警備部長査閲に臨みました。

防弾帽、防護衣を身にまとい三十キロにも及ぶ防弾桶を操作する訓練は、吐く息と汗でヘルメットの防弾面を曇らせるほどの苛酷なものでした。査閲が無事に終わって、隊員たちの汗が光る顔には、充実感と自信がみなぎっていました。

私は、この時、我々新隊員全員が名実ともに機動隊の一員になったことを実感しました。

私は、今回二度目の機動隊勤務になりますが、前回と違い分隊長という立場での勤務となります。治安維持の「最後の砦」である機動隊、時には苦しい汗を流す時もあるだろう。若い隊員達と一緒に時には厳しく、時には楽しく分隊長としての重責を全うして行きたいと決意を新たにしています。

また、私は、これからの在隊期間、自分に不足しているものを再度見直し、更に奥深く勉強して、実務能力の向上・体力気力の向上・各種資格の取得・昇任試験等に前向きに取り組んでいきます。

本年七月は、九州・沖縄サミットに伴う各種警備等で、都内においても厳しい情勢の中での警備が予想されます。しかし、このような厳しい警備を通じて隊員同士が苦勞を分かち合う中から生まれる団結心は、かけがえのないものであり、こうした時期に歴史ある警視庁機動隊で勤務できることは大変光栄です。

私は、これからの機動隊生活が、私にとつて有意義なものであり、人間的にも大きく成長できるよう常日頃から前向きに自己研鑽に努めていきたいと思っています。

治安の砦 信頼の機動隊

(株) エース電研 (株) 栗田工業 (株) 高周波熱錬 (株) 三榮商會 (株) 山陽特殊製鋼 (株) 大洋製鋼 (株) 日鐵流通センター (株) スチールセンター (株) 上野百貨店 (株) 国見山 (株) クボタ (株) 岡谷鋼機 (株) 豊田通商 (株) 太陽シャーリング (株) 広島シャーリング工業 (株) 辻さく (株) 藤田金屬 (株) 自見産業 (株) 東北支部

(機動隊員等を励ます会)

読者の広場



幼児性社会



柳田 敬介
(理事・東京本部)

十七歳の犯罪が世間を騒がせている。一方でへんな教祖様が何百億円をかせぐ。

ひどい世相だワイとおもいをめぐらせて、「幼児性」ということばが頭に浮かんだ。するとその日の新聞のコラムに「人に頼るとか人のせいにするというのが幼児性の特徴。」とあった。とんでもないことをしでかす十七歳の周辺にもこの傾向はうかがえる。さらに、そのとしごろは、からだどころの両面で非常に不安定である。もちろん性的欲求もその不安定さの一因となりうる。

家庭内で制御できなくなっているケースも多いようだ。そんな中途半端な人格をつくらないための教育のありかたもよく考えねばならないが、すでに存在しているそのような犯罪予備軍を社会的にどのように包容あるいは保護していくか、施設や治療法などまだまだ知恵が行き届いていない、とおもう。一方、教祖様の大儲けは詐欺罪の原点を見る感じがする。

刑法二四六条に「人ヲ欺罔シテ財物を騙取シタル者」とあるが、問題は欺罔すなわち「だます」ということが、だまそうとする側とだまされる側双方の関係で成立する、ということである。刑法二四八条には準詐欺という条項があり、「未成年者ノ知慮浅薄又八人ノ

心神耗弱ニ乗ジテ其財物ヲ交付セシメ」とある。それでは成年者の知慮浅薄はどうかというと、「子供だまし」のようなはなしにひっかかった場合はだまされる方がバカなだけ、として詐欺が適用されないこともあるわけだ。足の裏を踏んで病気がわかる、などというはなしにだまされるなど、どう考えてもおおそまつで、二四八条ならともかく、二四六条は適用できるかといいたくなく、しかし、被害者の数、被害金額ともに大きすぎるので、悪いヤツを処断するのは社会正義にもとるだろう。

それにしても、簡単にだまされる「常識のないおとな」が増えていくように。幼児性がはびこっている、ともいえる。いったい人間社会は進歩しているのか退歩しているのか。

少年の凶悪犯罪に思ふ



近江 八郎
(理事・東北支部)

今年の五月一日に起きた愛知県豊川市の夫婦殺傷事件、続いて三日に西鉄高速バス乗っとり事件、立て続けの凶悪事件で主婦が一人ずつ殺され数人の負傷者が出ました。更に思い巡(めぐ)らせますと平成九年に神戸市で起きた連続児童殺傷事件で小学四年生の女児、小学六年生の男児が殺され本人の犯行声文まで出されましたが、これら事件犯人の少年は三者とも同学年生(十七歳)です。そして「人を殺す体験をしたかった」「何か目立つことをしたかった」などと平然と話しておるとのことです。これらの事件について世間一般は勿論、識者の間でも色々取り沙汰され見解が発表されております。「連続する少年犯罪・十七歳の衝撃・声」等で不安と憤り家庭内の躰(しつけ)を始め今後の対応策について発表と要望が出されております。年少者の故に一般社会論ばかりでなく「少年法」そ

して「家庭」との関係も必然的に出て参ります。更に五月十四日の新聞見出しには「十六歳・高二暴行し遺棄」「少年ら?に襲われ死亡、茨城・牛久十七歳・因縁つけられ」「暴走族?少年ら襲う東京・大田十八歳重体」等と一面の半分位に並び続けた記事が載っております。今後の対策は如何に為すべきか、大変な大事なことであり一当局へのみ任せられる事では無く全体で真剣に当るべきであると思えます。更に五月十五日の新聞見出しによると「無力感にあえぐ子ども・親子飲み込む消費社会」「不安感と欲望うっ積」「いい子が苦しい時代」「氷のよう

機動隊メッセーjリレ

九州・沖縄サミットに向け奮闘中

福井県警察機動隊より

当隊は、今春の定期異動時に、複雑なリアス式海岸に面した観光地であり、原子力発電所が集中立地する嶺南方面の警察力強化策の一環として、「生活安全全部自動車警ら隊」から「警備部嶺南機動隊」に改称して発隊いたしました。また、本県嶺南方面の警備事象に対応する中核部隊としての任務に加えて、中部管区機動隊(福井小隊)の重責をも担っております。

本年は、全国警察が一丸となって対応すべき九州・沖縄サミット警備の年であると同時に、我が「嶺南機動隊」の記念すべき誕生の年であり、サミット警備の完遂に向けて訓練に励んでいるところであります。

機動隊の集団警備力の源泉は、チームワークが第一であり、第二は気力・体力の充実であり、技術はそれに自然と伴ってくるものだと思います。我が福井小隊は、管区の前期入校を修了し、チームワークと気力・体力の基礎固めを終え、現在は機動隊に相応しい技能の修得に奮闘しているところであります。

な孤独共通」等と載っています。警察当局の調べが進み凶悪事件の動機等も判明して来ると思いますが、関係者当局の協力でしっかりと方針を定めて欲しいものと念願しております。或る新聞にフランスの思想家ルジャンドル氏に對話で聞かれた文があり、見出しによると「罪悪感持たぬ青少年の増加」「自分を組み立てられぬ若者」「方角示せぬ大人世代に責任」とありました。私は幼児よりの家庭内での習慣、躰(しつけ)が一番大事でないかと自分の体験より思い信じています。



さまざまな事案を想定して訓練にあたる

サミットに向けた訓練としては、具体的な事案想定に基づき、咄嗟の対応に誤りないように、爆発物容疑物件の発見と初期的措置、持凶器犯人の制圧検査要領等を納得のいくまで反復しております。また、本県特別派遣部隊は、夜間訓練等を取り入れた実戦的訓練を実施するなど、全員が福井県機動隊の伝統と名譽を汚さぬように実力を養成中であります。

最後に、警視庁機動隊に質問です。隊員の士気を高揚させる良い方法があればご教示下さい。

機動隊警備の現場から

遭難シーズンに向け
秋田県警察機動隊

緑も深まりつつある五月の秋田県内は、山菜採り及び海釣りシーズンと同時に各種遭難事故の始まるの時期でもあります。例年ですと、このシーズン前の四月中に遭難事故を想定した山岳レンジャー、水難救助訓練等を実施しておりますが、今年は、新年度の始まる前の三月中旬に訓練を実施しております。

と申しますのは、当県警機動隊にはレンジャーは屋内訓練場、スクーパー訓練は航空自衛隊秋田救難隊の屋内訓練プール、舟艇訓練は秋田マリナーと四季を問わず訓練ができる環境があることと、また、九州・沖縄サミットに向けた訓練が集中するこの時期にはこれらの遭難救助訓練が実施できないと判断したからであります。

このように、三月中旬に訓練が終了したのと併せるかのように有珠山の噴火活動が発生し、当県の広域緊急援助隊員も現地での警戒警備に特別派遣を要請され無事その任務を完遂して参りましたが、遭難事故が発生しないことを祈りながらも、正に「備えあれば憂いなし」という心境の日々であります。

終わりに、各県機動隊員の皆様は、九州・沖縄サミットに向け、我が隊同様各種訓練を実施し、また、各種事案出動に対処されていることと思われまますが、どうか怪我、病気等に留意され、見事任務を完遂されるようお祈りいたします。



スクーパー訓練の様子



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144-0055
 発行人 佐々木 喜朗
 TEL 03 (3739) 0590
 購読料 年間1,200円 (送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

噴火と地震 備えあれば憂い無し！ 早期の緊急火山情報「成功」



避難誘導にあたる機動隊

一 わが国には、一〇四の活火山と国内屈指といわれる糸魚川・富士川間や紀伊半島から四国に至る中央構造線等無数の活断層があり、そしてこれらの活断層の平均活動間隔は千数百年といわれ、また、活火山の噴火間隔は山のマグマだまりや地層によって異なるといわれている。

二 火山の噴火情報は、平成二年の雲仙普賢岳爆発までは噴火発生後でないといわれていなかった。それは事前発表が住民にいたずらな不安感を醸成させるとか地域経済への影響をおそれたからであり、同じことが東海地震予知対策のなかでもいわれている。

三 ところが平成七年の阪神大地震等を契機に観測計器の

整備・充実が叫ばれてきた。たとえば平成七年以前、三宅島には地震計が一台しかなかったところ、今回の噴火前には、地殻変動をとらえる「全地球測位システム」の観測点四、地殻の傾きを検知する傾斜計五、地震計十二のほか、東京都・東大等が地震計・傾斜計・地磁計・重力計・水温計等を設置していた。このように整備され、また

から二時間前後に噴火というデータがある。五 このような経験則と計器観測の充実によって、気象庁は過去の慣例より一歩進んで今回初めて早期発表に踏み切った。

(1) 三月二十七日有珠山の群発地震発生により、室蘭気象台は「数日以内に噴火する可能性がある」と緊急火山情報を発表した。

(2) 三宅島では、三月二十六日に、わずか十二分間に四回地震が発生したので午後六時三十分「臨時火山情報」またその三分後に「緊急火山情報」を発表し、「二時間以内に噴火して溶岩が海岸に達した時、水蒸気爆発の可能性がある」と、危険性を強調した。

六 一方、関係機関の支援体制は、群発地震発生に対応して極めて迅速に行われている。

(1) 警察側の対応としては

① 北海道警察本部が三月中旬からの群発地震により「避難漏れ等による人的被害は絶対に出さない」との基本方針の下に、機動隊・警備隊を現地に派遣して警戒に入り、緊急火山情報の発表によって関係市町村と協力して避難指定区域の住民一三、〇三九名の避難誘導・残留者の発見と避難への説得・立入禁止区域への立

入規制を行い、東北・中部の管区機動隊八百名の特別派遣を受けて体制を強化した。

② 三宅島警察署では、緊急火山情報により警員二十五名を非常召集して被害状況の把握と避難道路の交通規制にあたり、混乱なく住民を避難させた。また警備隊からは直ちに副總監以下機動隊員二二名が警視庁航空隊・自衛隊のヘリコプターで急派され、翌二十七日にもさらに五十名が増派されている。

(2) 防衛庁の対応としては、

① 海上自衛隊が午後八時、附近で訓練・航行中の護衛艦・掃海母艦、輸送艦等十隻を三宅島海域に急派して避難民収容の準備に入った。

② 陸上自衛隊第一師団普通科連隊から四十名が派遣され、二十八日朝から炊飯車によって炊き出しが行われた。

③ 東京都では、午後八時から深夜にかけて海上自衛隊の輸送艦・ヘリコプターにより米三トン・簡易トイレ二〇〇個、飲料水・毛布・炊飯車六台とともに消防車・防災機動車を急派した。

④ 海上保安庁も巡視船十四隻を出動させて避難民受入れに備えた。

このように各方面の迅速な支援対策は住民の不安感を解消するために大きな成果をもたらしたものと見えよう。

今月の言葉

五月の郵政省発表によると、日本におけるインターネット利用人口は二千七百万人に達したそうである。身近な話では来年の大学卒業見込者六十万人のうち五十五万人がインターネット利用の就職活動をしていると言っている。

インターネットを利用して行う消費者向け電子商取引(e・コマース)の規模だけでも今年二兆円を超え、二〇〇四年には六兆円に達すると予測されている。政府もe・コマースの障害となつて約三〇〇の法律を早急に見直すこと

情報技術 (IT) 革命の光と影



実現によるデフレ不況を警戒する声もあるが、IT革命は新しいビジネスを創り出し、その経済効果は計り知れない。それは人類がかつて経験した産業革命に匹敵すると言われ、世の中がガラリと変わることを意味する。

IT革命が二十一世紀に向けての攻めであるならば、相俟つて重要なのは守りである。守りとは、一つにはハッカーによるウイルス攻撃等の無差別情報テロに対する

防衛体制の確立である。これをおろそかにすれば交通、エネルギー、行政などの都市機能が完全に麻痺する事態を招きかねない。

他の一つは日本人の生涯にわたる心の教育である。最近未成年者による残酷な無差別殺傷事件が頻発している。一連の少年犯罪に共通する背景として、いじめによる登校拒否、引きこもり、インターネット没入、家庭内暴力、家庭における父性の不在

性・自由を教育の基本として尊重するあまり、倫理や規範を教えることに躊躇して来た結果ではあるまいか。自己中心的で身勝手な大人と子供が増えつつあることは大変憂慮すべきことである。

ヴァーチャルゲームとインターネットが青少年に与える悪影響も無視できない。言論の自由という壁と戦いながら有害なホームページから子供を守る法規制が真剣に検討されている。それも必要だが、もっと大切なことは悪に染まらない健全な精神、老人弱者をいたわる優しい心を持つ若者に育てる道徳教育、環境づくりに学校、家庭、マスコミをあげて真剣に取り組むことである。日本が誇る世界一安全で美しい豊かな国であり続けるには一日も早く実施すべきであると考え。

IT革命による大きな変革を前にして、その光と影や、攻めと守りのバランスに思いを致す今日この頃である。

(理事・東京本部 西田 鐵男)

〈今月のテーマ〉

“祭り” じまん



中国管区機動隊
引野 健二

島根県沖合約八十キロメートルの日本海に浮かぶ「隠岐の島の牛突き」について、紹介したいと思います。隠岐の島は、遠い昔より、流人の島として名立たる要人を迎えており、一二二一年、後鳥羽上皇が配流された時に、島民が上皇の御心を慰めようと牛を集めて闘わせたのが牛突きの起源であると伝えられています。

隠岐の牛突きは、まず土俵入りから始まります。東西にわかれて、百万円から百五十万円もするという豪華な化粧着物や鉢巻きをつけて行われます。横綱級の牛の体重は、約一トン近い巨牛で、年齢は、四歳から六歳です。土俵入りが終われば、取組みが行われます。東西に約二十五メートル、南北に約二十メートルあるほぼ円形の土俵で行われます。「はあー」という綱取りの掛け声と同時に、研ぎ澄まされた角を突き合い、真っ黒い肉の塊がぶい音をたてながら激しくぶつかり合う。満身の力と体重を角と額に込めて必死の攻防戦が続く。勝負に引き分けは無い。まさに命がけの闘いである。激しい技の応酬に力尽きた牛は、じわり、じわりと押されて土俵の隅へ後退します。

そして最後には一気におしまくられて逃走し勝負がつきますが、勝った牛は負けた牛をなおも追いかけて若す。この追いかける牛をめぐって若

者らが駆け寄り、勝ち牛を取り囲み、牛の背中に飛び乗って勝利を喜び祝います。この風習は、隠岐だけのようです。



引き分け無しの隠岐の牛突き

牛突きは、牛馬が人間の生活に不可欠だった時代、農耕儀礼や神事祭礼として日本中に分布していたと推測されますが、現在、全国には、岩手県山形村、新潟県小千谷市・山古志村、愛媛県宇和島市、鹿児島県伊仙町・天城町・徳之島町、沖縄県具志川市・石川市、島根県隠岐の島しか残っていません。闘うことを本能、誇りとしているこの伝統ある行事を一度、堪能して頂ければと思います。



北海道警察機動隊
水野 絵理

北海道には様々な祭りがあります。その中でも「札幌雪祭り」について紹介したいと思います。

雪祭りは一九五〇年に地元の中・高校生が六つの雪像を大通公園に設置した事をきっかけに始まり、一九五五年には自衛隊が参加し大規模な雪像作りが行われ、テレビ、新聞で紹介されたことから市民に定着していきました。その後一九七二年には冬季オリンピックが札幌で開催されたことにより、国内のみならず世界各国からの観光客も増え、今や札幌雪祭りは日本を代表する祭りへと発

展しております。

現在では、シドニー、ポートランド等札幌とつながりが深い外国地域の雪像や、流行のアニメ、滑り台付きの雪像等様々なものが制作されています。

雪祭りは毎年二月初旬の、肌の痛さを感じる程、最も寒さが厳しい時期に行われますが、回を重ねる度に多くの観光客が札幌を訪れ賑わいをみせています。

雪祭りの見所としては、大雪像の精巧かつダイナミックさ、今にも動き出しそうな躍動感、夜にライトアップされた雪像の美しさ、子供が楽しめる雪の滑り台等盛り沢山です。



多くの観光客で賑わう雪祭り

また、寒さの中、素晴らしい雪像を眺めながら温かい甘酒、おでん、名物の札幌ラーメン等を食べるのも大きな楽しみの一つではないでしょうか。

札幌雪祭りは、厳寒北の大地ならではの祭りです。ぜひ一度観覧されて冬の北海道を満喫されてはいかがでしょうか。



青森県警察機動隊
中林 大介

青森県が全国に誇る祭りの一つに、青森市のねぶた祭りがあります。この祭りは八月二日から七日まで行われ、県内のみならず北は北海道、南は九州まで全国各地から約三五〇万人の観光客が訪れ、賑わいを見せます。



迫力ある立ちねぶた

この祭りは、高さ十メートル以上もあるねぶたが、二十台以上で隊列を組んで運行するもので、時には優雅に、時には荒々しく、ねぶた囃子の笛と太鼓の音とともにまるで昼に逆戻りしたかのような炎の祭りとい化し、歓声と熱気に包まれ練り歩くのです。その迫力は地を震わせ、空を焼き尽くさんばかりであり、一度見たら忘れることができないう覚醒作用があり、繰り返し見物に訪れる人も珍しくありません。

さらに祭りの最終日には舞台を青森港に移し、乱発される花火をバックにねぶたが海上運行され、さながら錦絵を見ている様です。

この他にも青森県には弘前市の「ねぶた祭り」、八戸市の「三社大祭」等、全国的に有名な祭りが数多くあります。しかもこれらの祭りは、同じ時期に行われるためこの時期の青森県巡りの旅は最高かと思えます。そしてねぶた祭りが終演を迎えますと、北国青森は一挙に秋風を感じ始め、短い夏に終わりを告げるのです。



新潟県警察機動隊
石黒 純

夏の夜空に大輪の花を咲かせる花火。数ある花火大会の中でも、日本一はやはり我が新潟県の長岡の花火大会でしょう。この花火大会が行われる長岡まつりについて、これから紹介させていただきます。

長岡まつりは、毎年八月一日、二

日、三日に開催されます。行事につきましては、一日、二日の昼間に長岡駅前の大手通りが歩行者天国になったり、各種アトラクションが行われたりしてきます。そして、二日、三日の夜は、長岡まつりのメインイベント「大花火大会」となっています。

私は、長岡生まれの長岡育ちで、小さい頃から花火を見ました。毎年見ても飽きないのは、年々技術、演出が良くなってきていることもあり、花火には、人を引きつける何かがあるからだと思っています。



夏の夜空を明るくする花火

花火大会のメインといえば、橋から滝のように花火が流れ落ちる「ナイアガラの滝」と「正三尺玉」の同時打ち上げでしょう。「ナイアガラの滝」は、本物のナイアガラを想像させるほど、迫力、壮大さがあります。「正三尺玉」は、夏の夜空を一気に明るくし、その後「ドーン」という大きな音と共に衝撃が体に伝わってきます。

これまで長岡まつりについて紹介してきました。花火については、実際に行って、見て、体で感じてもらえればその素晴らしさが実感できると思いますので、是非、我がふるさと新潟県長岡へお越し下さい。

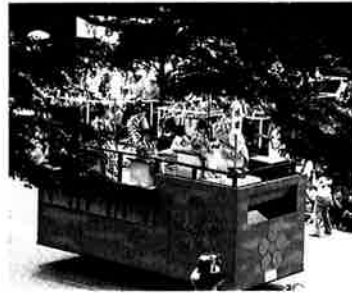


石川県警察機動隊
勝田 剛介

加賀百万石祭りは加賀藩藩祖であ

る前田利家の金沢入城を記念して昭和二十七年に始められた新しい祭りです。

規模においては石川県下一であり、古都金沢で行われる格調高く壮大な祭りとして全国的に知られていますが、意外にも歴史は浅いのです。



百万石パレードの見どころ大行列

祭りはメインの百万石パレードが六月の第二土曜日に行われるのですが、見どころはなんとといっても前田利家の大名行列です。前田利家には金沢に何らかのゆかりがある俳優が選ばれることになっており、俳優見たさに朝早くから沿道に詰めかけ場所取りをする方も多いのですが、子供たちにとっては俳優利家よりも屋台店の方が気になるようです。

私が初めてこの大名行列を見物したとき、規模の大きさもさることながら、行列参加者の足並みがそろい、統率されつつ行進する姿を見て、タイムスリップして現代に迷いこんで来たんじゃないだろうかと思つた。ただ驚くばかりでした。

祭りはその他、獅子舞や商工パレード、吹奏楽隊十隊による音楽パレードが行われます。音楽パレードには石川県警察音楽隊も参加しており、音楽隊の演奏に合わせて大きな旗を振るカラーガードの演技に目を奪われる方も多いいです。

金沢というと、兼六園というイメージがありますが、機会があれば、話の種に一度は見たいと思つています。



大阪府警察機動隊 塩中 敏行

大阪府南端に位置する住吉区我孫子の地には、今から一四二〇年前に聖徳太子の命により創建されたという「我孫子観音寺」があり、日本最古の観音霊場として現在も参拝者が絶たない。

また、同寺は節分時に盛大な祭りが催されることでも有名である。祭り当日は、境内はもとより寺の沿道も人で溢れかえり、まだ寒い時期であるというのに人の熱気で蒸し暑いほどである。

幼い頃から馴れ親しんでいるこの祭りでは、油の不動尊を祭っている境内のお堂で、豪快に焚かれている護摩焚きの炎の大きさである。

炎は周りで祈禱している山伏の背丈よりもはるかに高く燃え上がり、お堂の屋根が焼け落ちないかと心配になるほどで、周囲は三十人程の山伏でやつとこのこと一周できるほどの大きさである。

火柱を立てて天にまで届かんばかりの大きい炎の熱さは想像以上のものがあり、そう簡単に近寄れず、炎を取り囲んで祈禱している山伏達がよく火傷をしないものだと思つくと同時に、一種神秘的なものを感じさせる。

ごつた返した人の波をかき分け境内にたどり着くのは一苦労であるが、そんな苦労もこの炎を見ればすぐに忘れ去ってしまうのは私だけではないと思つた。

炎を見つめながら悠久の昔に思いをはせるのもロマンチックなものです。ぜひ皆さんも一度体験してみようか。



香川県警察機動隊 松本 一晃

私の生まれ育った香川県香川郡香川町大野地区では毎年十月の第一日曜日に一年間の豊作と人々の安全を祈願して秋祭りが行われる。

私の住む一本木地区では獅子組があり、毎年町内の石清水八幡神社で獅子舞いを奉納している。私の実家は曾祖父の代から獅子組と関わり、当然のように私も幼い頃から獅子舞いに取り組んできた。獅子組の稽古は秋祭りの二週間前に始まり、午後七時から午後九時までの二時間みっちり行われ、これが秋祭りの前日まで続き、当日を迎えるのである。



秋祭りの前日まで獅子組の稽古

秋祭りの当日、獅子舞いを奉納し終えた時の達成感といえは何とも言えぬものがある。これは機動隊での日々の訓練を終えた充実感とよく似ているのではなからうか。確かに機動隊の訓練の苦しさ、厳しさには比べものにならないだろうが、地元の人々との繋がりを感じ、皆で力を合わせて成功させた秋祭りを私は誇りに思うのである。

四国には、高知のよさこい祭り、徳島の阿波踊りなど、全国に誇る大規模な祭りがあるが、私は何よりも自身の生まれ育った地元の祭りを「じまん」したい。規模が小さく、知名度も低い

かも知れないが、愛すべき故郷を持つことに幸せを感じながら、その愛する故郷を守るべく、今日も一日機動隊の訓練に励むのである。



大分県警察機動隊 後藤 謙司

夏の風物詩として定着している「大分七夕まつり」。商店や企業が趣向を凝らして美を競う豪華な「七夕飾り付け」は西日本一と言われている。この祭りは、八月の第一金曜日から三日間行われ、昭和通りと呼ばれるメインストリートのまつり会場では、迫力満点の「府内戦紙(ばつちん)」、「太鼓大会」、「みこし大会」、華麗な「チキリンばやし総踊り」など数多くの催しが繰り広げられる。

そして、祭りの最後を飾るメインイベントは、大分川河川敷で行われる「花火大会」であり、この時まつりは最高潮に達する。

以前は、私もこの祭りに参加していたのだが、警察官になってからは、雑踏警備に従事するためそういうわけにもいかなかった。

とは言うものの、まつり独特の熱気は、雑踏警備に従事している私にも実感することができると素晴らしい祭りである。そんな「大分七夕まつり」に皆さんも参加してみたいか



商店や企業が美を競う七夕まつり

- 暑中お見舞い
申し上げます
- 東 鋼 業 (株)
- (株) エース電研
- (学) 嘉悦学園
- 関 東 銑 鐵 (株)
- 高 周 波 熱 鍊 (株)
- 山 九 (株)
- 杉 尾 榮 俊 (株)
- 大 東 港 運 (株)
- 木 村 政 次 (株)
- 黒 田 一 (株)
- 合 同 製 鐵 (株)
- 谷 本 鉄 鋼 (株)
- 村 上 祐 隆 (株)
- 中 京 製 線 (株)
- 丸 定 産 業 (株)
- 宮 崎 精 鋼 (株)
- 中 條 鋼 材 (株)
- 新 潟 鋼 機 (株)
- 不 動 鋼 板 工 業 (株)
- (社) 機動隊員等を励ます会
- 北 海 道 支 部

読者の広場

私と娘



楠部 徳雄
(理事・中国支部長)

帰宅すると「お父さん、今日は父の日です。お姉ちゃんと私からのプレゼントです。」と言ってリボンで結んである小箱を私にくれた。

早速開けてみると、黒皮の財布である。今使っている財布は、もう七・八年になる、そろそろ買替時だったので、本当に有難かった。

私には、二人の娘がいる。長女は嫁いで七年くらいになり、近からず、遠からずの所に住んでいる。六歳になる女の子と四歳の男の子がいるが最近流行っている「孫」と言う歌の詩のとおり実に可愛い宝物である。

次女は、嫁にも行かず中古家具のリサイクルショップの経営をしているが、なかなか繁盛しているらしい。親としていつ迄も独身でいるのは、少し心配である。久し振りに全員集合し我が家で夕食を共にした。話題は何となく、暗い世相の話から、少年犯罪の多発、そして子供の教育問題に及ぶ。黙って長女の話聞いてみると、私の可愛い宝物である孫達に、相当手厳しく時には手を上げる事もあるというスパルタ教育である。

私は、一言「まだ小さくて、事の善悪の判断出来ない子供に手を上げるのはどうか？」と言った。すると「私達も小さい子供の頃、恐い顔をしたお父さんに何度か手を上げられた記憶があります。何か悪戯をしたのでしょうか。三つ子の魂百までと言いますが、全然恨み等はございません。今は、幸せです。愛の鉄拳、本当に有難うございました。」と。次女はニヤニヤ笑うやうなうなずいている。私をからかっているのである。返す言葉も

ない参ったである。ちよつと席を外すと、妻と娘二人大笑いをして居る。敵は三人、女は強い、勝負あったである。

娘達に手を上げたのが良かったのか悪かったのかは別として、今日に至るまで人並みに育ってくれて本当に喜んで居る。神に感謝する。

プレゼントしてくれた財布を使う度に、二人の娘に心の中で有難うと言っている。因みに子育てはほとんど女房の仕事であった。スママセン！

異国での体験



岡谷 篤一
(理事・名古屋支部)

恒例となりますが、毎年夏休み前、短期間の米出国張があります。短い一年でも、米国の変わり行く方向なり広い国土での新しい体験をします。「ワークハイド・フライトライト」の標語の下ここ数年実質的なサービスマンで成長が目覚めている米国のC航空を利用しましたが、業容の急拡大によるサービスマンの低下を感じます。また米国内航空各社ではベトナムでの飲み物サービスマンも増えています。我が国の様な短い飛行時間であれば搭乗時ベトナムの渡されれば形式的なサービスマンは不要となります。

町は好景気が続いている為、人・物には活気があり賑やかです。NY近郊から市内への道は、朝七時前から大渋滞。予算にも余裕があるのか道路工事やら新しいインターの建設等も目立ちます。異国の地であり、誘われるまま午後一時半スタートでウィークデイゴルフをしてしまいました。プレー終了は六時間後(通常四・五時間)。前後には働き盛り四人組のんびり賑やかにプレーを楽しんでおり羨ましい限りです。日本の閑散としたゴルフ場と比べ久し振りの体験です。仕事では我が国がリストラを必死に実行中であり、好況下の米国とのコミュニケーション・シジョンギャップは広がっています。寧

機動隊メッセーヅリレー

サミットに向けての士気高揚方策

について

警視庁第七機動隊より

いよいよ九州・沖縄サミットが間近に迫って参りました。夏場の長期警備をいかにして乗り切るかについて、当隊士気高揚対策研究会で検討し、実践しているところではありますが、そのいくつかを紹介いたします。

その一は、体力向上方策です。警備訓練、柔剣道訓練は勿論ですが、

・朝礼後の、大きな掛け声と歩調を揃えて隊庭を走る「一致団結・融和協調を目的」

・多摩川土手を中心としたジョギングコース土手一〇km・五km、特に本年はミレニアム二〇〇〇mコースを設定、各自の体力に応じて目標を設けた「体力増強を目的」

・サミット開催地である沖縄県を模した地図に、各自が走破距離を記入していくことによりサミット警備に対する「意識付けを目的」

とした各種の駆け足訓練を実施しております。また、「通勤時間を利用しての「二駅前下車運動」を推進し、「一日一万五千歩」を目標に足腰の鍛錬に努めております。

その二は、健康管理対策です。当庁健康管理本部の「保健指導」の積極的受診をはじめ、当隊福利厚生分科会等から随時発行する健康管理のための資料や栄養士による「夏バテ防止と成人病

予防」を兼ねた夏場の食事メニューなど、現場で活躍する隊員の健康を第一に知恵を絞っております。

その三は、明るい職場作りです。元気な挨拶は、「職場の潤滑油」と捉え、風通しの良い明るく活気ある職場を継続するために、挨拶をテーマにしたスローガンを毎月募集し、「笑顔で明るい挨拶の励行」に努めております。

最後に、熊本県警察機動隊への質問ですが、これから夏本番を迎えますが、夏バテ防止をどのようにしていますか？ありましたら紹介をお願いします。

る米国内企業との関係は、セクハラ・差別(年齢・人種)等であり、また社員のインターネット通信記録を管理する等の新しい動きも出ています。スピード豊かな情報技術の普及は、正に企業経営の根幹に迫ろうとしているのを実感します。

しかし、すれ違うだけの日本人にも気軽に遠慮せず声をかけてくれるコミュニケーションは米国の底力です。非常に合

予防」を兼ねた夏場の食事メニューなど、現場で活躍する隊員の健康を第一に知恵を絞っております。

その三は、明るい職場作りです。元気な挨拶は、「職場の潤滑油」と捉え、風通しの良い明るく活気ある職場を継続するために、挨拶をテーマにしたスローガンを毎月募集し、「笑顔で明るい挨拶の励行」に努めております。

最後に、熊本県警察機動隊への質問ですが、これから夏本番を迎えますが、夏バテ防止をどのようにしていますか？ありましたら紹介をお願いします。

り合わせであり、少しのミスが死を招く事さえある。そのため日頃の訓練も自ずと厳しいものとなる。

厳しい訓練の中で、時折挫けそうになることもあるが、私には心の支えとなっている出来事がある。

それは、お婆さんが家に戻らず、もしかしら近くの水路に落ちたかも知れないという通報で潜水活動をした時のことである。視界の悪い水路の中で懸命の捜索を行ったが、発見する事ができなかった。しかし、幸いにして、お婆さんは隣町の路上で無事保護されることとなった。

我々の活動は直接お婆さんの発見には結びつかなかったものの、後日、ご家族の方から「用水路の中まで探してもらいありがとうございます。」とのお礼の言葉を頂いた。

我々としては当然の事をしたまでであるが、この二言で今までの厳しい訓練が報われ、なんともいえない感動が全身を包んだのである。今後潜水活動に備え、厳しい訓練を行い常に県民・国民の期待に応えるべく日々精進していきたい。

私心の支え 佐賀県警察機動隊 村山 康一

私は現在、機動隊の潜水部隊員として日々訓練に励んでいる。潜水部隊の任務といっても多種多様であるが、やはり、主な任務は水難事故における人命救助である。潜水業務は常に危険と隣

理化の追求をしながらも、お互い励まし合っているのでしょうか。ドライな国でウエットに心の対応を心懸ける国民性は魅力であり、笑顔で英会話レッスンとして一言返して明るく応対したいし、心を見失いかけた我が国が見習うべき習慣です。

暑い夏を迎えて海外旅行の機会も増えるでしょうが、いつも異国での体験は楽しいものです。



多摩川土手のジョギングで体力向上



視界の悪い用水路での潜水活動

お知らせ

◎十月十三日(金)午後六時より、広島市中区「広島厚生年金会館」において中国支部総会を開催いたします。皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

今月の言葉

我が国の警察総合力を挙げた福岡・宮崎・沖縄県下での九州・沖縄サミット警戒・警備は、三県警とともに、全国から特別派遣された機動隊員の協力で無事終了したことを心からお祝い申し上げます。

また、全国の警察は、残留した警察官の昼夜にわたる勤務で後方治安の万全を確保されました。本当に皆さんご苦勞様でしたと申し上げます。

ひるがえつてみると、各県警では昨年から高温・多湿の環境をつくって厳しい訓練を重ね、

多いと伺っています。

また、最近不祥事件があり、国民の批判もありますが、さすがに治安の最後の砦として機動隊員の士気も高く、県民との応対もよく配慮されていると感激した

サミット警備ご苦勞様でした

送することが父も喜ぶと所轄署長の説得にも拘らず、沖縄に戻って勤務に服した。

二、七月十六日首里城周辺で、市民による一斉清掃作業が行われることを知っ

でサウナ状態となり、また雨天下ではハエのたまり場となって殆んど中に入れなかった。

四、会場周辺では、建物・樹木による日陰が少なく、苦勞したが市民から激励



た部隊は非番の隊長以下一二七名が参加し、翌十七日那覇市長が部隊指揮所を訪れて、感謝と激励をされた。

三、署さよの立哨ボックスは、炎天下

・差入れを頂き、元氣付けられた。

五、検問所周辺の女性から「FM沖縄に警察官を激励するEメールを送ったので開いて下さい」と連絡があり、放送されたので郷里から菓子を取寄せ感謝した。

六、警戒員が万国津梁館周辺の道路上で蛇を発見し、ハブノックススプレーを噴射して退治したところ、なんと四〇cmもあるハブでびつくりしたとのこと。

なお、会員の方々のご寄付により、栄養剤・飲料水・ラーメン等多数を贈呈し、関係警察本部長から懇篤なお礼状を頂戴し、また、募金結果について東京国税局長に報告したことをご報告申し上げます。

(常任理事 加藤 眞治)

全国警察の総力を結集、無事任務完遂！

九州・沖縄サミット警備を終えて

沖縄県警察本部長 西村 泰彦



平成十二年七月二十一日から二十三日までの間、沖縄県内において九州・沖縄サミット首脳会議が開催され、沖縄県警察においては全国から二万人に及ぶ特別派遣を受けて警戒警備を実施、テロ・ゲリラ等不法事案の発生もなく、無事に終了した。

今次サミットは、我が国で初めての地方・分離開催という未知の部分に加え、極左等による活発な反サミット闘争、NGOの場を利用しようとす



る過激なグループの蠢動、右翼・国際テロ組織等によるテロ行為の懸念、米軍基地をめぐる厳しい警備情勢、離島県であるという地理的環境、多数の首脳宿舎等重要防護対象の存在、県内の交通事情、過酷な気象条件等多くの困難を抱えた警備であった。

これらの問題に対処すべく、沖縄県警察においては、平成十一年四月二十九日の開催決定即日警備連絡室、五月十七日にはサミット対策課を設置、更に警察庁・警視庁・大阪府警からの出向者・派遣者に加え体制をいち早く整備、県警察の各所属に業務を分担するなど総力を挙げて準備業務を開始した。

そして、平成十二年三月には警察庁の指導の下、二万人に及ぶ警備部隊を効率的、効果的に指揮するため、県内を四区分した方面本部制度を導入、警視庁・大阪府警・神奈川県警の方面本部担当職員が事前の段階から常駐し、県警察と一体となって長期間にわたって諸対策に取り組んだ。

同年四月からは、前段警戒として会議場はじめ主要施設の防護のため、ローテーションによる機動隊員の特別派遣を得て、以後段階的に増強し警戒を強化、七月一日には「総合警備本部」を設置し、全国からの機動隊員をはじめとする特別派遣を得て、まさに沖縄を場とした全国警察の総力を結集した警戒警備を実施した。



各機動隊にあつては、これまで蓄積したノウハウを活かしつつ、工夫を凝らした新たな警備手法を取り入れるなど、それぞれの持ち場で、それぞれが与えられた使命を全うし、この間テロ・ゲリラ事案を皆無に押さえ込むなど、本警備の完遂に大きな功績を残した。正に日本警察が国民から負託されたサミット警備成功という使命のため、一つになった警備であつたと実感した。

その他、離島県故の人員、車両装備の輸送の困難性、二万人に及ぶ大量の部隊の部隊連絡、宿泊・補給など兵站の課題等に対して警察庁等のご尽力をいただき、滞りなく完了することができた。

最後に、今回の警備に従事された全国警察の職員及び本県の全職員、ご指導・ご鞭撻をいただいた警察庁、管区警察局長、全国都道府県警察に対し、重ねて深甚なる敬意と感謝、御礼を申し上げます。

沖縄県「万国津梁館」での首脳会議の他、福岡県「福岡市博物館」で蔵相会合(七月八日)、宮崎県「シーガイア」で外相会合(七月十二日・十三日)が開催され、これに伴い福岡蔵相会合には最大五〇〇〇名の警備体制(自県体制)、宮崎外相会合には最大五〇〇〇名(そのうち特別派遣部隊三五〇〇名)の警備体制をひき、いずれも無事任務を完遂しました。



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144-0055
 発行人 佐々木 喜朗
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

〈今月のテーマ〉
九州・沖縄
サミット警備
を終えて



北海道警察機動隊
堀江 勉

私にとって初の道外派遣が、九州・沖縄サミット警備となり、北海道警察機動隊から北海道警備隊（他府県では管区機動隊相当）への編入という変則的な形での派遣となりましたが、本警備は私に貴重な経験と大きな自信を与えてくれました。

北海道警備隊の主たる任務は、夜間の遊撃検問及び突発事案対応でしたが、各国首脳が沖縄入りしてからは、万国津梁館付近の沿道警戒の任務にも当りました。

これまで、夜間検問や沿道警戒には何度も従事したことがありますが、南国沖縄は北海道とは勝手が違い、暑さ、湿気、スコールに悩まされることとなり、有珠山噴火災害警備の寒さに慣れた私の身体は悲鳴をあげました。

特にサミット最終日は、早朝から気温三〇度でスコールが断続的に叩きつけるという悪条件の中、広範囲なエリアを少人数でカバーすることとなり、疲労はピークに達しましたが、最後は「気力・体力」で困難を乗り越えることができました。



南国沖縄で警備にあたる北海道警備隊

これも昨年来から沖縄の暑さを想定し、北海道警察として創意工夫を凝らして実施してきた「ジェットヒーターを用いた耐暑訓練」等の各種訓練が功を奏し、本任務をなんとか完遂することができたものと思います。本警備は、私に「やればできる」という大きな自信を与えてくれました。

最後に、派遣中お世話になりました沖縄県警の皆様方に、誌上をお借りして御礼申し上げます。



宮城県警察機動隊
細川 寛弥

今回の出動で私が率直に感じたことは、「警備とは百の努力で一つの結果を出す事」ということである。首脳が宿泊するホテル周辺を酷暑と闘いながら一か月前から徹底検索を繰り返し、ようやく対象者の安全を確保できるのである。



ホテル周辺の警備にあたる隊員

私は車両部隊として一足早く沖縄入りしたが、暑さよりもむしろ目まぐるしい天候の変化に一苦勞した。結果的に最後まで天気は苦しめられたが、そのような状況の変化の中で冷静に職務に当たることの難しさを学ぶことができた。

私の警察人生の中で最も長期的になると思われる今回の出動は、見る物・体験のすべてが新鮮であり、生涯私の自信となり良き思い出となることだろう。そして、何よりも、初めて足を踏み入れたこの土地で、出会った沖縄の人々の人情味溢れた暖かさ、優しさに心から感謝したい。



警視庁第四機動隊
大塚 雄久

青い空、白い雲、真っ白な砂浜、そしてきれいな海。沖縄では当たり前かもしれないこの光景は、私にとって新鮮に映り今も忘れることはありません。そして今回の沖縄サミット警備に従事して、私の心の中に強く印象に残っているのは、県民の方々の暖かい声援と優しさでした。予想以上の沖縄の暑さは、鳴き止む事のない蝉の声で、より一層厳しく感じました。酷暑の中、拭いても拭いても流れる汗をふきながら、また何時降り出すかわからないスコールの中で警備につき、何度も自分自身に対し負けそうになりました。しかし、このような環境の下、何度となく県民の方々から「暑い中大変ですね。頑張ってください」と声を掛けていただきました。その一言一言がこの灼熱の暑さで負けそうになる私にとってどれだけ励みになったかわかりません。

警備につく前は、県民の中に沖縄サミットに反対する人達が多く、大変な警備になるのではないかと不安な気持ちでしたが、実際には県民の方々からの温かい励ましを受けて頑張り続けることが出来ました。

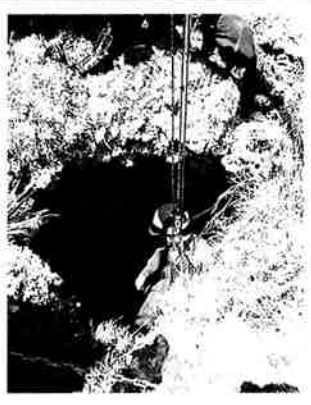
現在、サミット警備を終え、東京で勤務に就いておりますが、この一か月間、真夏の沖縄警備に従事し、仲間と皆と警備完了の感動を分かち合う事ができたことが、今後の私の警察人生において大きな財産となることに間違いありません。沖縄の澄みきった青空、県民の方々の人情味あふれる笑顔を、私は警備の度に思い出し頑張っていきたいと思っております。



神奈川県警察機動隊
秋吉 公一郎

私は、総合警備本部直轄の特別検索部隊として、名勝地である「万座毛」の崖や首脳会談が行われた「万国津梁館」の

館内検索等の警備に従事しました。中でも警戒対象周辺における洞窟の検索は私にとって初めての経験であり、大変印象深く残っています。



洞窟内の検索にあたる

どこまで続いているかわからない洞窟を目の前にして、「落盤があるのではないか、二度と地上には戻れなくなるのではないか」という不安感と緊張感を抱きながらヘッドライトの灯りだけを頼りに暗黒の世界に足を踏み入れたのです。洞窟内は、天井までの高さが一メートルと低く、湿った空気が滞留しており、私たちの息づかいと足音だけが洞窟内に響きわたり、異様な感じがしました。無線は全く通じず、腰に付けた命綱だけが外部とコンタクトをとる唯一の手段という状況の中で、中腰の姿勢のまま奥へ奥へと進んで行つたのです。途中で、尖った岩でヘルメットは傷つき、皮手袋も穴だらけになるなど、悪戦苦闘の連続でした。異常なく検索を終了し、洞窟から出たときは、ホッとするとともに真夏の日差しを強烈に受けました。後から「この洞窟の中で沖縄戦の時に何百人もの人達が集団自決し、今も地元の人々はめつたに近付かない」ということを聞き及んで、沖縄が歩んだ苦難の歴史の一端に触れたようで感無量のものがありました。

サミットという日本警察をあげての大規模警備の中で、警備の一員として微力ながらも貢献できたということ、そして沖縄の地で、警備を通じて数多くの貴重な経験や教訓を学ぶことができた今回のサミットを私は一生忘れません。



愛知県警察機動隊
野田 憲司

七月二十三日午後七時三十三分、最後の首脳が乗った飛行機が那覇空港を無事に離陸した。この瞬間、私は胸が熱くなるのを感じることも、心の中で自分自身に「お疲れ」とエールを送りました。それは同時に、約一か月にわたる大警備を終えたという満足感に浸った瞬間でもありました。

我々は、宮崎・沖縄両県でそれぞれ任務を与えられ、最初に訪れた宮崎では外相会合会場の警備を受け持ち、連日猛暑の中、会場周辺の警戒や会場入口の検問にあたりました。検問では、「不審な者を絶対に通さない」とを合い言葉に隊員相互がよく連携をし、無事に任務を果たしました。

また沖縄首脳会議の警備では、米軍基地反対やサミット反対を唱える人々によって引き起こされる違法行為に対応する任務に就き、四六時中緊張し通しました。この緊張感と長期間の激務からくる疲労がピークを迎える中、我々を支えてくれたのは「お巡りさんこんにちは」「頑張ってください」などと明るく声を掛けてくれた子供達やお婆ちゃん達でした。宮崎・沖縄両県警の暖かい配慮と、県民の方々の声援無しにこの警備は成功しなかったのではないのでしょうか。

帰りの飛行機の中で、警備を終えた充実感と、辛かった事前訓練の記憶が頭の中を駆け抜けたが、この次は家族で訪れてみたいと思っております。



和歌山県警察機動隊
橋本 善文

九州・沖縄サミットの開催に当たり、一か月にもわたる長期の出動であった。これまで何度も出動してきたが、これ程までに世界中が関係した重要な警備出動は初めてであった。普段から警備訓練等によ

り心身共に鍛練しているものの、沖縄という不馴れな土地で長期にわたる重要な警備に対して常に万全の状態での勤務につけるのかどうかという不安を抱く日々が続いた。私達の部隊は、那覇空港近辺の警備を担った。メイン会場である名護市とは離れているものの、那覇空港は各国首脳が必ず利用する場所であるため、常に緊張の糸が途切れることなく警戒にあたらなければならなかった。

想像を遙かに超越した暑さ、陽射しの強さ、また、同じようなことを繰り返すような勤務体制によるマンネリ化などから、時には全てを投げ出してしまいたいようになることも正直あったが、自分一人が弱気な姿勢で臨むことは、同じように勤務をしている方々や各都道府県に残られ、人数の少なくなった中、通常どおり事件・事故に対応されている方々、サミット成功を応援して下さっている方々に対する裏切りとなるため、そういった時には、日本全国から日本の警察を代表してサミット警備に従事している警察官の一人であるという認識と誇りを思い出し、また、助け合いや励まし合い等もあって、最後まで厳しい勤務を乗り越えることができた。サミット成功を心から願う人々の想いが重なり合い、こうして華やかな結末となった。

このような重要な警備に携われたこと、沖縄で過ごした一か月、私の警察人生の中で、いつまでも鮮明に心に刻み込まれるような素晴らしい体験であった。



鳥取県警察機動隊 谷村 明彦

七月一日、残波岬公園温度計四〇。一度を表示する中、鳥取連合機動隊大隊長以下一二名は、「沖縄残波岬ロイヤルホテル」周辺の一斉検索開始と共に遂にサミット警備に突入した。

我々は、読谷村営多目的公園の中央に鎮座する沖縄の守護神「大シーサー」とともに、長期間の警戒警備に従事することとなり、非常に心強く感じた。

連日四〇度を越す猛暑が続き、十分な水分補給と数少ない木陰を探しての勤務、グリラ的に襲ってくるスコール、夜間においてはハブの恐怖におののきながらの勤務の連続であった。

サミット開催を間近に迎えた頃、読谷村に住む少年が、自らの小遣いで花を買ひ、大シーサーが見守る前の歩道に、家族、近所の人達とともに約五十鉢のプランターを並べて、我々の心を慰めてくれた。少年は「警察官が大好きです。将来は警察官になります。」と語った。連日の猛暑で疲れ掛けていた時、少年や地元の人に励まされながら、サミット警備本番を迎えた。暑さを忘れるような緊張の中、諸行事が進み、最終日には豪雨の中の沿道警備にも従事するなどし、約一か月間に及ぶ今世紀最大の沖縄サミット警備の重大任務を大シーサーの見守る中で無事完了した。警戒中数多くの激励を頂き、また励ましの言葉と冷たいウコン茶を頂いた皆様のご親切は忘れられることは出来ません。ありがとうございます。



愛媛県警察機動隊 新谷 定俊

我々「愛媛連合機動隊」は、六月二十五日から七月十三日までの間、宮崎県における外相会合の警備に、七月十七日から七月二十三日までの間、沖縄県における首脳会議の警備に従事しました。一か月にも及ぶ長期の出動、さらには我々が経験したことのない猛暑、自県において「酷暑訓練」を積んではいたものの、温暖な気候のもとで育った我々には日差しが痛く感じられました。とりわけ、宮崎県における二十日間の勤務は困難を極めました。

我々の任務は空港周辺の「エリア警戒」。一人が広範囲にわたるエリアを受け持ちました。一通りの警戒警備に要する時間は一時間弱ほどなのですが、私の受け持ったエリアは他の二倍ほどの広さがあり、一通りの警戒警備を終るには、優に一時間半か

かるのです。その上、「要警戒立ち寄り箇所」が数ヶ所あるのですから大変です。灼熱の太陽のもと、二メートルもある雑草を掻き分けての不審物の捜索や、空き家の発見活動等が連日行なわれ、暑さに弱い私には地獄のような毎日でした。

笑い話ではありませんが、「どこの家庭にどのような犬猫を飼っているか」が分かるくらいに徹底した実態把握を行ないました。そして「何も起るなよ」と願うような気持ちで外相会合の本番を迎えたのです。突発事案に対応するため、じつとバスで乗車待機していた十四日の午後六時、「現時点を以って外相会合の全ての日程を終了。任務解除とする！」との警備本部からの一報を受け、緊迫していた車内の空気が一瞬にして解き放たれ、「とりあえず一区切りがついた」との安堵感と、「厳しい警備をやり遂げた」との充実感に包まれました。

警備活動には、一〇〇点満点と〇点しかありません。その点では、今回の九州・沖縄サミット警備はまさに「二〇〇点満点」でありました。それはひとえに、全国警察が誇りと使命感を持って一つになった力、そして忘れてならないのは、地元住民の理解と協力があつたからこそ成功であるということです。

サミット終了後、沖縄の女性から、「警察不祥事は続いたが、今回は改めてこの国の警察力にさわやかな未来を感じた。本当にお疲れ様でした。」との、新聞への投稿がありました。警察に対する信頼が低下している今日、今回の警備のように厳しい任務にも真摯に取り組み、着実に成果を上げていけば、自ずから国民の期待と信頼も必ず取り戻せるものと確信し、機動隊員として、今後の各種機能別の出動に向け、日々努力・精進する覚悟です。



沖縄県警察機動隊 上原 力

今、米国大統領が搭乗した大統領専用

機エアフォースワンが嘉手納空軍基地から飛び立った。我々は、この何事もなく飛び立つ瞬間を見届けるために、全力を傾ける日々を送ってきたのである。

「サミットの首脳会議は、沖縄に決定」平成十一年四月二十九日、テレビのニュースでこの事を知った私は、ゴールデンウィークの初日で賑わう街をよそに、言いしれぬ緊張感が体に奔ったことを今でも覚えている。

私は、アメリカ首脳列車の身辺警護員として任務に就くことになったが、振り返ると、サミット成功に向け、五里霧中の中、予想される宿泊場所等の徹底した実査及びあらゆる場面を想定した訓練、又警護実務訓練として、国公警護を体験するための警視庁派遣等、サミットに向け考え得る全てのことをやってきた、「人事は尽くした」という心境であった。

本番当日、何事もなく日程は進み、いよいよ飛行機に乗り込む寸前である。クリントン大統領が見送りの関係者をかきわけ、後方に控えていた車列の先導を務めた白バイ隊員と制服警察官に対し握手を求め感謝の言葉を述べた。「今までやってきたことに間違いはなかった」そう確信する瞬間であった。

最後に、サミットが決定してからの一年有余日、私にとって成功の為に流した汗は、一生の思い出となり、これからの私の警察人生を支える大きな誇りとなるであろう。



クリントン大統領の身辺警護員として

- 残暑お見舞い 申し上げます
- (株)エース電研 岡 部
 - 高周波熱錬(株) 高 周
 - 山陽特殊製鋼(株) スカイコート(株)
 - 平和農産工業(株) 高 島 秀 一 郎
 - 西 戸 栄 一
 - 橋 本 尚 吾
 - 明 鋼 材 (株)
 - (株)カノークス 新日本製鐵(株)名古屋支店
 - 松 田 鉄 鋼 (株)
 - 内外運輸(株)
 - 堀 口 海 運 (株)
 - 大川トランスティール(株)
 - 豊 鋼 材 工 業 (株)
 - 東 北 支 部 (社)機動隊員等を励ます会

読者の広場



健康寿命



村瀬 好孝

(東京本部)

高齢化社会を迎えた今日、誰もが願うことは健康で充実した老後の生活であらう。

日本人の平均寿命は八〇・九歳で世界一といっても、それだけでは必ずしも喜んでいられない。生命の尊厳という事とは別に、健康でいきいきと元気に生きるのではなくは意味がない。単なる「長命信仰」ではなく生きる中身が大切であるという観点から、WHO(世界保健機関)が今年から「平均健康寿命」という数値を発表するようになったという。平均寿命から重傷や重病の期間を差し引いた健康に過ごせる寿命(期間)のことらしい。

調査方法は不明だが、これによると日本人の平均健康寿命は七四・五歳で世界一、オーストラリア、フランス、スウェーデン、スペインと続き、アメリカは七〇・〇歳で二十四位、中国は六二・三歳で八一位とのことである。

日本人の平均健康寿命がトップなのは、「伝統的に米、魚、野菜を中心とした低脂肪の食事をとり、心臓病の比率も比較的低いため」とWHOは分析している。然し一方、「最近日本では肉食が増え、喫煙者も未だ多いので将来はその影響が出てくるだろう」とも指摘している。

アメリカでは国を挙げて「健康寿命の延長」の推進をはかるべく、一九九

〇年に「ヘルシー・ピープル・二〇〇〇」計画を発表し、二十一世紀までに達成したい努力目標三五〇項目に関して、それぞれ細かく目標値を定めたことである。

努力目標のうち注目すべき項目を見ても、

- ①エクササイズやフィットネスの励行
- ②ジョギング、速歩、ストレッチ
- ③バランスのとれた栄養「栄養のガイドライン」を発行し、体重を減らし、脂肪の少ない野菜や果物を多くとるダイエットの推進
- ④煙草を出来るだけ吸わないようにする
- ⑤一十八歳以上の喫煙者の比率を十五%以下にする

アルコールの害を最小限に抑える―飲酒運転の厳しい取り締まり
その他、環境汚染による健康阻害の防止、心臓病と脳卒中の減少、ガンの制圧、等々、夫々に数値目標を設定しフォローするようになってきているとの事

いろいろな改革には時間がかかる事を考えると、前広に計画的に事を進めるアメリカには見習うべき点があると思う。今、日本で高齢化に伴う医療、介護対策の遅れが問題になっている事を考えると余計にである。

何れにしても、八〇歳近くになってもゴルフを楽しむ気力、体力を維持できるような健康寿命の延長を目指し自己管理を強化せねばと、友人達と語り合っている今日この頃である。

安全の有難さ



中野 卓司

(理事・中国支部)

イザヤ・ベンダサン著『日本人とユダヤ人』に日本人は水と安全はただで手に入ると思っているが間違っていると言われています。

私は仕事の関係で一九七七年―八三年ニューヨークに駐在しましたが、当時は、米国経済の低迷、失業率の高さ

を反映してか治安が悪く、夜マンハッタンを歩いてもスリ・強盗等誰かに狙われていないか絶えず周囲に気を配り緊張していました。現在は低失業率もありジュリアーニ市長の徹底した治安回復策が奏効し、ニューヨークも安全な都市に復帰しているようです。

アメリカは多民族国家です。ある時グラントセントラル駅の売店で新聞を買った時、英語のよく判らない日本人と見られて釣りをかまされそうになり、強く抗議して取り返したこともあり。日本人をバカにされたことか、という愛国心が湧いてきます。いづれにしても日常生活で絶えず緊張を強いられます。

また何ヶ国か海外出張しましたが、例えば南アフリカ共和国ヨハネスブルク市では、客と夕食後車でホテルに帰るのに交差点の信号が赤だと何百メートルも前から徐行し青になるタイミングで進みました。赤で交差点に停車すると強盗に襲われる危険があったからです。

海外生活の後、日本に帰ると安全の有難さが身にしみて判ります。国民の教育水準の高さ・単一民族である事等治安の良さの理由は色々あるでしょうが、警察の優秀さも大きく寄与していると思えます。昨今不祥事に焦点があてられ、恰も警察全体が墮落したかのような報道もありましたが、それは見当違いです。

今年二月機動隊員等を励ます会メンバーの一員として広島県警察機動隊を訪問し、日常の訓練を視察。厳寒のなか訓練に励む若い機動隊員のひたむきな姿に感銘を受けました。日本の治安は大多数の機動隊員・警察官の日々の訓練・精進を通して守られていると意を強くしました。

機動隊メッセーjリレー

熊本県警察機動隊への質問ですが、これから夏本番を迎えますが、夏バテ防止をどのようにしていますか? ありましたら紹介をお願いします。 警視庁第七機動隊より

夏バテ防止対策について

熊本県警察機動隊 「サミットの夏」は、ここ熊本でもかなり厳しい暑さとなっています。本県は、本部庁舎等をはじめ、夏季の空調温度が二十八度に設定されており、暑さに負けないような環境で勤務しています。

本年はサミット警備出動を控え、炎天下での治安警備訓練や災害出動を控え、炎天下での治安警備訓練や災害出動に備えた各種訓練装備資器材の整備に力を注ぎました。

機動隊であればこそ、暑い季節に身体を動かす、汗を流す。これこそ、「夏バテ防止」にとつて一番のようです。それと、熊本の熱い夏を乗り切る方法としてスタミナ源の熊本名物「桜肉」、馬刺しがあります。この馬刺しをニンニクや生姜の醤油につけ、水にさらした玉ねぎのスライスと一緒に食べる。ロックか、お湯割りの球磨焼酎を飲む。それだけで、スタミナモリモリ、元

氣百倍、疲労回復、夏バテ追放です。「馬刺し」が苦手な人には、最近薫製にした「けつとばし」という商品もあります。熊本土産として他県の方に喜ばれています。是非、一度食べてみて下さい。

サミット警備を終えましたが、兵庫県警察機動隊では平時においてどのような訓練をされていますか? また、全隊員での野営訓練をされていますしたら、ご紹介下さい。

機動隊、警備の現場から

総合水防講習への参加 島根県警察機動隊 六月三日、島根県出雲市斐伊川河川敷において、大雨による洪水を想定し、建設省・島根県・水防管理団体・警察・消防・自衛隊を初めとする関係機関及び地域住民参加による、情報伝達・水防工法・人命救助・避難訓練を中心とした水防演習が行われた。

我々も広域緊急援助隊警備部隊として、「大雨により山崩れが発生、住宅一棟が倒壊、乗用車一台が埋没し、それぞれに被災者が閉じ込められている。」との想定で、土砂・障害物の除去、レスキュー車を使用しているの車両引出し、チェーンソー・レスキューツールでの進入口確保等により、被災者の救出・救助訓練を実施した。また、救出した被災者をヘリコプターによりホイスト搬送するなど、実践さながらの訓練となった。

本県においては、昭和五十八年に県西部を襲った豪雨災害が発生していることから、我々機動隊は、出水期に備え、各種装備資器材取扱訓練及び各種事案を想定した実戦的な訓練を反復実施し、災害警備体制を強化するとともに、有事即応体制の確立に万全を期しているところである。



大雨による山崩れの発生を想定した訓練を実施

お知らせ

十月十三日(金) 午後六時より、広島市中区「広島厚生年金会館」において中国支部総会を開催いたします。

皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

今月の言葉

六月二十六日三宅島で始まった火山地震と神津島・式根島・新島の群発地震は、無感地震を含めると一万回を越え、噴石・火砕流もみられている。

このため、八月二十九日、児童・生徒を東京都あきるの市内等に避難させるとともに、九月一日には災害対策要員を除き全島民避難となった。

全世界で約八千ある活火山のうち、わが国は八十六火山があり、また、糸魚川・静岡・北海道宗谷沖・兵庫淡路島・紀伊半島・四国・熊本の中核構造線を中心とする活断層がある。

十年前後で噴火するという火山は少なく、北海道大学岡田教授によればこの二つの火山のように観測体制が整備されているのは例外だといわれている。それにして三宅島で東京大学等と共

防災週間にあたり常時災害対策を

システム等が地震によって相当数破壊されたといわれている。

このような火山爆発・地震とともに、例年台風・集中豪雨・高潮等によって大きな被害を受けているのが日本の現状である。



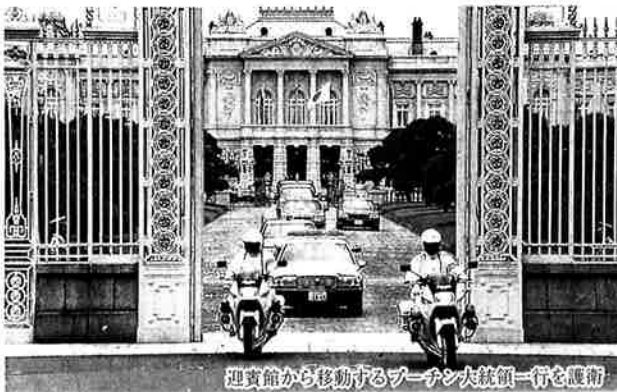
このためにこそ九月一日には神奈川県をはじめとする七県にまたがる東海地震と東京都をはじめとする四県にまたがる関東東直下型地震等を想定した訓練が行われ、また九月三日の東京都の防災訓練には、警察庁・消防庁・海上保安庁・陸海空自衛隊等から八・〇七五名が参加した。

これらの行事はあくまでも訓練であるが、もし実際に災害が発生したとなると、日頃訓練に怠りのない機動隊の活躍もまた大きく期待されることである。

我々国民としては、喉もと過ぎれば熱さを忘れるとの諺どおり、災害対策を忘れがちであるが、この機会に少なくとも三分の食料・飲料水の備蓄、非常用持出品の準備、火災防止と初期消火の防火用水の確保等のほか、大地震発生の際の交通規制について避難禁止区域や道路上に自動車を置いて避難する方法を理解しておく必要があると思う。

(理事・千葉支部長 曾根 貞雄)

厳しい来日警備情勢の中で ロシア大統領来日警備完遂



迎賓館から移動するプーチン大統領一行を護衛

九月三日から五日までの三日間、ロシア・プーチン大統領夫妻一行が来日した。プーチン大統領の訪日を巡っては、右翼団体が、日ロ平和条約締結交渉での北方領土に対する日本政府の対応を「弱腰外交」と批判する一方、ロシアの消極姿勢に強い不満を抱いており、その動きが懸念されていた。そうした中で一部報道によれば、ロシア政府は「北方領土の返還には応じず」と言明するなど、案の定消極姿勢を示した。そのため大統領の来日に際しては右翼団体によるロシア大使館・大統領一行宿舎等に接近しての抗議(要請)行動、大

規模な都内車両デモ等が予想された。また、極左等についても、「北方領土占領反対」「原潜事故糾弾」などを掲げており、来日にとりまなう警備情勢は厳しく困難なものであったが、警視庁では大統領一行の身辺の安全と諸行事の円滑な推進を確保するため、各種情報の収集と視察の強化、関連重要防護対象等に対する警備諸対策の推進、各種違法行為に対する徹底検挙等を推進し警備にあたった。

来日期間中右翼団体は、連日深夜まで街宣車両で都内デモを繰り返すなどの抗議活動を活発に行ったが、適切な警備措置を行った結果、暴騒音条例違反や道路交通法違反として多数の右翼団体を検挙し、大きな混乱はなく警備を完遂した。



連日、右翼団体の抗議活動の警備にあたる隊員

警視庁機動隊等(約二〇〇〇人)は、陸海空三百衛隊からの約七一〇〇人、東京消防庁を含め約一〇〇〇の機関と共に参加総勢約二万五〇〇〇人が活躍、都主催の防災訓練としては過去最大規模となり、更には今回初めて福岡・広島各県警の広域緊急援助隊が自衛隊航空機に搭乗して応援に駆けつけたの大演習となった。

訓練は震災発生直後の初動対応から、給水・給食など生活支援活動に至る中で、各機関の連携が注目されていた。

機動隊は自衛隊や東京消防庁と連携し、人々が見守る中、ヘリコプターによる高層ビルに残された負傷者の救出、土埃の中、倒壊家屋からの救助活動を行った。その迅速な対応、連携の良さに多くの人々は目を見張り強い信頼感を抱いたにちがいない。



機動隊による車両からの救出作業



福岡・広島県警広域緊急援助隊の参加



発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144-0055
 発行人 佐々木 喜朗
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

各機関の連携に注目

東京都総合防災訓練実施!

また、三宅島の噴火で災害への不安が高まっている昨今であるが、そのような人々に対し安心感を与え、共に、訓練に対する考え方を見直す良い機会となったであろう。

〈今月のテーマ〉

子供の頃
夢中に
なったこと



警視庁第一機動隊 大崎 隆宏

私は、今から二十五年前、埼玉県大宮市に生まれました。現在の大宮といえは、与野、浦和と合併し政令指定都市に指定された大都市ですが、私が子供の頃は、田んぼや畑が辺り一面に広がり、近くには、小川が流れ遊びざかりの私には、最高の環境が整っていました。

毎年、夏になると、五歳年下の妹と一緒に朝早くから虫籠と虫取網を持ち、近くの田んぼに行つては、バッタやイナゴ、カマキリ等を虫籠に入りきれないほど捕まえ、あまりの大収穫に二人そろって満面の笑みを浮かべて帰宅すると、そこには鬼のように角をはやした母が仁王立ちしており、「今何時だと思つているの。早く手洗い、うがいをしして御飯を食べなさい」とよく叱られたものでした。季節が夏だったためか、時間が経つのも忘れ、ただ一心不乱に虫を追いかけていたあの頃の自分と現在を比べてみると、確かに、あの頃は何か夢中になるといふ純粋な気持ちを持っていました。しかし、大人になるにつれ、子供の頃のような自由な時間がとれなくなり、何かに夢中になるといふ純粋な気持ちさえも失っていました。



警視庁第二機動隊 平田 信行

私が子供のころ夢中になった事といえば、サッカーです。小学校高学年のころ、「キャプテン翼」というアニメ作品が全国的に流行り、私もそのマンガに夢中になって一人でした。その影響もあり、学校の休み時間と言うまでもなく、放課後、休日にも欠かさず、近所の公園でサッカーの練習をしていました。

当時の小学校は六クラスで、各クラスにチームがあり、毎日のように対抗試合をしていました。先生の指導もなく、自分達だけで組合せ、グラウンドのライン引き、自転車と並べてのゴール準備をし、そして夕暮時には石灰の粉をボールにつけて試合を行う等、創意工夫をしながらサッカーをやっていた頃が懐かしく思い出されます。

あのころは、現在社会問題化しているイジメや登校拒否もなく、皆で助け合いながら何でもやっていたと思います。私は子供の頃からサッカーというスポーツを通じ、チームワークの大切さを自分の身体で知らず知らずに学んでいたのでしょうか。現在、私は機動隊員として勤務しています。

我々の任務遂行には、チームワークが必要不可欠です。これからも子供の時に学んだチームワークを生かし、日々の職務に邁進して行きたいと思っています。



警視庁第三機動隊 石ヶ森 直之

皆さんは、自分の兄弟と比べられて嫌な思いをした経験はありませんか。私は男四人兄弟の三番目でよく次兄と

比べられて嫌な思いをしました。と言いますのも、次兄は一五〇メートル走が速く、私が通う中学校の記録保持者でした。

私と次兄は三歳違いで、私が中学に入学した時には次兄は既に卒業してしまっていたが、次兄を知る人達からは羨望の的として私の中学入学を迎えられたのです。しかし、走るのが得意でなかった私はその期待を見事に裏切り、失望の目で見られて、実に嫌な思いをしました。その時思つたのです。「次兄にできたことなら、私にもできる。次兄には絶対負けたくない」と。私は迷うことなく陸上部に入部し、兄の記録を塗りかえることだけを目指して夢中で、雨の日も風の日も走り続けました。気がつけば兄の記録を塗りかえ、市民大会では優勝することができました。

高校進学に際しても何ら躊躇することなく陸上部が強い学校に入部し、当たり前のように陸上部に入部しました。部員全員が速い人ばかりであり、また、部活の顧問からの「やるからには日本一を目指せ」という言葉に触発されたことと、「走ることは誰にも負けたくない」という一心で、無我夢中になつて三年間走り続けました。

今思えば、「次兄には負けたくない」と始めた走り、これが私の生活の上の土台となっています。走るよることを覚え、苦しく辛いことでも、その先には達成感と満足感があることを体で知ることができました。

次兄は現在、第八機動隊で勤務しておりますが、今も私は幼い頃と同様、「次兄には負けたくない」というライバル意識で燃えています。仕事にも勉強にも負けることなく、青春を謳歌していきます。



警視庁第四機動隊 三浦 茂

両親が共働きであつたため、私は小

学校の低学年の間、児童センターという施設に下校時から両親が帰るまで通っていました。その中で様々な遊びを覚えてもらい、将棋、かるた等、昔からの遊びが中心で、おそらくセンターに通っていない子供は知らないものばかりだつたと思います。

その遊びの中でも私が特に夢中になったものは、「ペーゴマ」でした。センターの職員がペーゴマを回せるということで、私が教えてほしいと頼んだのがきっかけでした。最初の内は職員と二人だけでしたが、みるみるうちに遊ぶ人数が増えて、段や級を付けるまでになりました。

ペーゴマは買ってきたままの状態でも使つてもつまらなく、コマに自分で色々な手を加えより強くしている者もあり、私も、コマの底を尖らせるため、ヤスリで何時間も削りました。全て手作業なので手やズボンが鉄粉で黒くなり、よく母親に叱られていたのを思い出します。

ペーゴマの勝負は、漬物等を漬ける樽底に硬い布を張つた土俵の上で行いますが、家には土俵となるような物が見当たらず、どうしても自分で改良したコマの性能を試してみたくいろいろと悩んだあげく、茶筒に布を張つて小さな土俵を作り試す事にしました。猛練習の結果、あの小さい茶筒の田の中でコマを回すまでコントロールできるようになり、センターでも「名人」になることができました。子供の頃夢中になり、努力で勝ち取つた名誉が懐かしい思い出です。



警視庁第五機動隊 戸邊 敦

私が小学生の頃、同級生のほとんどが夢中になっていたのが、漫画キャラクターの消しゴム(通称キン消し)や、チョコについてくるシール集め、そしてファミコンでした。

これは、全国の同年代の人達にも言えることだと思います。もちろん、私も三歳年上の兄や友人たちと同様の遊びをしていましたが、それよりも、実家の近くに江戸川が流れており、アウトドア指向の強い叔父や、親友がいたこともあり、土手や川原での遊びに夢中になっていた記憶が濃く残っています。

土手での遊びといえば、草すべりが一番面白く、私の実家が八百屋であつたので、ダンボール箱の調達に困ることもなく、友人たちと箱を潰しては、競争をして遊んでいました。また、ダンボールで土手を下りきると、広がる江戸川に、竿や網の仕掛けを出しては、小魚やエビを捕つて楽しんでいました。

実家近くの江戸川は下流にあたるので、水はあまりきれいではありませんが、川幅の割に水位が低く、流れが穏やかで、歩いて入って行くことができ、水遊びをしたこともありました。

中学生、高校生になつてくると、さすがに小学生時代のような水遊びはやらなくなつたものの、土手には友人たちとよく出掛けては釣りや花火をしていました。警察官となつた今でも、実家に帰ると、その頃の友人たちと土手に出掛けてはビールを片手に、釣りをすることがあります。私は今も夢中で、近所に土手遊びができる環境があり、友人がいることに感謝しています。



警視庁第六機動隊 小松 浩喜

子供の頃、夢中になつたこと、それは「野球」です。三歳年上の兄の影響もあり、二歳から野球を始めました。来る日も来る日も両親から買つてもらったバットとグローブを持って兄と出かけていきました。よほど野球が自分

の性にあつていたのでしょう。幼い頃の写真をみると、いつも野球をしてる姿が写っています。兄の友達に混じって野球をやっていたので、小学生になる頃には、同年代の友達と比べるとかなりの腕前になっていました。

小学校に入學と同時に、リトルリーグに入り本格的に野球を始めました。火曜日から土曜日までは、学校が終わってから日が暮れるまで、そして日曜日は一日中練習といった一年の殆どの時間を野球に費やしました。その甲斐もあって自分自身力がつくと同時に所属チームも春・夏、全国大会出場、京都大会優勝等、素晴らしい成績を挙げ、とても良い思い出となりました。

私が野球を通じて学んだことは、「根・知・和」でした。どんな困難にも決して負けることなく立ち向かい、最後まであきらめない根性。常に冷静な判断力を持つ知性。相手を思いやる心(和)。今になって思い返してみると、汗と泥にまみれ、白球を追いかけた子供の頃が懐かしく、人間形成のうえでとても良いことだったと思っています。今、警察官となり、厳しい勤務の毎日ですが、子供の頃野球を通じて学んだ「根・知・和」の心を忘れず、これからも職務に邁進していきたいと考えております。



警視庁第七機動隊 瀬戸 善史

私は、神奈川県茅ヶ崎市で生まれ、横浜市で育ちました。今から二〇数年前の横浜は、今とは違って自然が多く、私の実家のある戸塚区には野や山が多く、私の中にも緑山とくつもありません。その中でも緑山と呼ばれていた丘や、砂漠と呼ばれていた丘が今でも印象に残っています。現在は、その場所もすっかり住宅地に変わり面影は残っていませんが、子供の頃、そうした場所を忘れて遊びに夢になつていたものは「ザリガニ釣

り」です。男の子は、誰でも夢中になつてたと思います。釣り方は、様々な方法がありますが、私の所ではタコ糸に「ちくわ」を付けるという簡単なものでした。この餌を、ザリガニのいる水中に入れて食い付くのをしばらく待ちます。そして、引いたのを確認してゆつくりたぐり寄せると「ちくわ」に、ガッチリとしがみ付いてきて釣れるのです。

毎日、学校に行けばその話で持ちきりの状態でした。また、みんなが、それぞれに秘密の場所というのを持っており、誰にも教えません。私も家から遠出をして、よく秘密の場所へ行つたものです。そして、夕食の時間に間に合わなくて叱られたものでした。

今の子供たちは、そのような場所や時間がなくて可哀相だと思いますが、自分が父親になるまで遊べる自然「ザリガニ」が残っていて欲しいと思います。



警視庁第八機動隊 河辺 忠士

子供の頃、お盆の時期になると、毎年父の実家にお墓参りに行った。もとも私の実家は山口県の片田舎にあるのだが、そこから車で更に山奥へ進むこと一時間、山口県玖珂郡錦町という山間の町が父の実家だ。周囲は山に囲まれ、その間に川や田畑があり民家は点々という、とても静かな所だ。しかし、私は毎年この田舎に行くのを楽しみにしている。なぜなら、私が夢中になつたある遊びを思う存分楽しめるからだ。

その遊びとは「魚釣り」で、餌を使って魚を釣るのだ。川魚は警戒心が強くこれがかすぐ難い。こちらから近付くと、必ず逃げられてしまう。そこで私は、じつと魚が近付いて来るのを川の中でひたすら待ち、そして魚の注意がそれ

たところを一気に餌で突き刺すのだ。とはいってもめつたに捕れるものではない。滞在中、毎日のように川に行くものの、たいがい手ぶらで帰宅する。家族や親戚は、毎日凝りずに川へ向かう私を見て不思議がっている様子だった。しかし、私は魚を捕まえた時の感動が忘れられず飽きもせず川に通つていた。それだけに魚が捕れたときは、得意満面で見せびらかしていた。結局魚は、捨ててしまうのだが...



警視庁第九機動隊 中田 栄治

「もう少し早く帰って来なさい」と母に毎日叱られていた私の日課といえは、放課後小学校の校庭での友達とのサッカーでした。学校が終わると、一度ランドセルを置きに家に帰り、再び小学校に戻り友達とサッカーをしていました。

「サッカー選手になりたい」というような夢があった訳ではありませんが、ただサッカーが好きで毎日暗くなるまでボールを追いかけていました。サッカーをしていると時間を忘れてしまうことがあり、夜八時頃まで学校にいて、何度か母親が迎えに来ることがありました。

今思えば、あの頃夢中になつていたサッカーにより、現在警察官として働いていくうえで必要な、基礎体力や仲間との協調性などが知らず知らずのうち身に付いていたような気がします。時間を忘れて夢中になれることというものは、年とともに数少なくなつていくと思います。私の今までの人生を振り返つても、小学生の頃のサッカーの他にはいくつもありません。この原稿を書いている最中、「最近

時間を忘れてしまうほど夢中になつた遊びなんてないな」と呟いたところ、隣に座つていた妻が一言、「香穂(七か月の娘)と遊んでいる時はかなり時間を忘れて夢中だよ」と言われ、気が付くと娘を抱き遊んでいる自分がいまいました。



警視庁特科車両隊 沼澤 信行

「キャプテン翼」というサッカーの漫画が、流行したのが、ちょうど私が小学校三年生の頃でした。

この漫画の影響で私は、主人公の「翼」を目指して、仲間達とこぞつて少年サッカーチームに入部しました。

それまで私は、病弱な体質でしたがサッカーを始めてからは、日に日に病気とは縁の無い体質に変わっていくと同時に益々サッカーの魅力に引き込まれて行きました。

このような事情から私の両親は、サッカーチームの活動には積極的で、私が中学を卒業するまでの約七年間、サッカーを中心とした生活が続くことになりました。

小学校の頃は、週二回学校のグラウンドで夕方から練習をし、土日も各種大会や練習試合に費やし、中学校に入學してからもサッカー部に入部し、試験期間以外は毎日練習という、かなりハードな練習をこなしていました。

今振り返つてみると、辛かったことや大変だったことが思い出さずして強く残つており逆に今そう考えることは、当時、サッカーに本気でめり込み、夢中になつていたからこそのことだと思います。

私は、サッカー技術の優秀は別にしてサッカーに夢中になつた七年間、サッカーというスポーツを通して、いろんな場所に行き、沢山の人の目に接し、多くの事を経験できたからこそ、今の私があるのだと、夢中になれたサッカーに深く感謝し、今も愛着を人一倍感じています。

- 鍛錬耐え抜く
- 精強機動隊
- 鈴木 実
- 愛知産業(株)
- 青山特殊鋼(株)
- (株)エース電研
- 草野産業(株)
- 高周波熱錬(株)
- (株)広沢製作所
- 共永興業(株)
- (株)クボタ
- 浅田隆司
- 竹之上誠剛
- 東海レベラー鋼業(株)
- 豊田通商(株)
- 日鐵物流(株)
- 山陽鋼業(株)
- 南部建材工業(株)
- 藤田金屬(株)
- 三星金屬工業(株)
- 自見産業(株)

読者の広場

音



白神 賢志
(東京本部)

今日、何らかの形で、音楽に触れずに一日を過ごすことは、大変むずかしい。私達の生活は、音楽という音の洪水の中で営まれている。

私自身は音楽大好き人間であり、ほとんどのジャンルのもを聴く。ただ、ハードロックというのか、若者を夢中にさせる激しいリズムのものは、やや敬遠気味であるが。

音楽を聴いていて、ふと思うことがある。もし、音が一瞬の切れ間もなく、ずっと続いたとしたら、一体どんな気分になるのだろうか。音の無い時間の効果、楽譜の上では休符という記号で示され、邦楽では「間」といわれるものもつ役割は随分大きいのではないだろうか。楽曲は、音の響いている時間と、音の無い時間との交替のくりかえしで進行していく。前の音の響きが弱まり、消えていき、一瞬の静寂のあと、次の音が始まる。そこに、音楽の楽しさが凝縮されているような気がする。

響きと静寂のくりかえしの波動と、自分の生命の波動がうまく同調できるとき、深い感動を味わうことができる。

余談だが、音楽ホールの出来栄は、音の響きの残り方(残響)言いかえれば消え方が最も大切らしい。紀尾井ホールはその点で、最良のものといわれている。静寂があつてこそ、音楽が成り立つ。考えてみると、影があるから光が感じられ、夜の闇があるから昼間がある。当り前のことも知れない。

初秋の夜、ビールと音楽につきり、束の間のような酔いの中で酔いのたわごつて、よい眠りこそ、明日の活力の源でした。

あと一步の踏み込み



田中 駿三
(東京本部)

無認可託児所での幼児殺人事件については、日本でもいよいよよかとやう感が強い。テレビ報道のビデオでよく観たアメリカにおけるベビーシッターの幼児虐待事件を思い出させた。この事件を扱った某民放の特別番組で、何故、問題のある状況が放置され、被害再発が早く防止できなかったかを、追究していた。

児童相談所が、県の児童福祉課が、管轄の警察が事件の兆候を認識出来ていたにも拘わらず、それぞれが自らの職分、領域に、変に頑なに固執し、幼気な子供の保護という本来の目的を達成出来ていなかった。

確かに新しいタイプの事件であるかもしれないが、我々、素人でさえ、家庭内暴力の一種としての幼児虐待が、かなり頻繁に報道されていることから、この種の事件は危険予知すべき対象であつたと思つている。

児童福祉の専門家、当局の担当者が、一施設に集中して頻発するあの事件に直面して、あと一步のふみこんだ仕事をしていなかったように思う。わざわざコジツケの理由をつけて必要な実力行使をしていない。初めてのことに色々な支障が想定されようが、自らの職分、使命に照らして考えれば、あの託児所を閉鎖させる行動が、どこかの時点で取られても可笑しくなかつたと思える。

市のベテランの相談員が、県の女性担当課長が「職分は果たした」とテレビ画面で釈明していたが、なんと常識に合わない理屈を述べていることか、自分達も分かっているようであつた。同一施設で繰り返される事故発生という事実が動かし難い証拠ではないか。その事実の前には、その抑止しかねないはずであつた。彼等が考えた「職分」の内側へ止まるうとする努力を、外側へ一步へと踏み込んでいたらと思わざるをえない。我々の日常においてもこのような意識を持ち続けたいものである。

機動隊メッセーヂリレー

機能別部隊の集中訓練について

兵庫県警察機動隊より

平成五年の「東京サミット警備」以来、初の大規模県外派遣である九州・沖縄サミット前段警戒に続き、サミット本番警備の任務を終え、帰県を待つていたのは、播州地方(兵庫県内瀬戸内沿岸)の夏祭り警備でした。

夏の夜、市民の憩いのひとときであるはずの夏祭りも、若者たちの徘徊の場となり、時にはその若者たち同士が小競り合いをし、それを仲裁しようとする予先が警察へと向けられ、暴徒化する事案が多発傾向にあり、県内のほとんどの祭り警備に機動隊の出動要請があるほどです。

さて、兵庫県警察機動隊においては全隊員での野営訓練は震災以降実施していませんが、それに替わる訓練として、泊まりがけで行う機能別部隊の集中訓練により、技術の体得、隊員間の団結に合わせて、集団生活で得た体験を部隊活動に生かせるようにしております。

まず、二月には、管内に多くのスキー場を抱えていることから、雪山における山岳救助訓練を実施しております。この訓練では、捜索訓練やヘリとの連携による被災者救助訓練を行っております。また九月には、日本海において水難救助訓練を実施しております。

この訓練は、潜水隊員として経験の浅い隊員の養成を兼ねており、また、日本海の荒波で訓練を行うことにより、ペタラン隊員の更なる技術向上も図っております。

ご存知のとおり兵庫県は、南は瀬戸内海、北は日本海と、管内の南北が海に面しており、六甲山系も東西に連なっております。本県機動隊の特徴は、中隊長以下の全隊員が、レンジャー隊員、または潜水隊員に指名され訓練に励んでいるところです。全隊員が、何でもこなせるオールラウンドプレイヤー的な機動隊員を目指し

ながら、全体としてのレベルアップを図っております。

最後に、高知県警察機動隊への質問ですが、祭りに伴う雑踏警備のエピソードなどがありましたらお聞かせ下さい。



雪山の山岳救助訓練をおこなう隊員

機動隊、警備の現場から

有珠山災害警備出動を終えて

岐阜県警察機動隊 若尾 尚宏

本年に入り警備・警護・災害・治安等様々な出動に従事したが、中でも全国民が注目する北海道有珠山出動が最も印象に残っている。

この出動は、火山の噴火という天災が相手で、噴火の危機にある有珠山のみもとで住民の安全確保に当たっていたわけであるが、万が一、大噴火が発生した場合には、我々の命の保証もないという不



噴火の危機にある有珠山ふもとでの治安活動

安な状況下での勤務であつた。

私がこれまで生きてきた二十五年間で、この様に死の危険にさらされる場面に居合わせたことはなく、一当直を終える度にホッと胸を撫で下ろす毎日であつた。

現場の勤務は、一時帰宅者の立入制限、時間帯の立入制限等多種多様であり、他の出動と根本的に違うのは、住民との接点が多いことから、我々の不用意な一言が、住民の混乱を招き犠牲を払わせてしまいかねないため、住民からの問い合わせの返答には苦しんだ。

警察業務は、最悪の状況を想定し、それいかに対応できるかを考え準備しておくことが重要である。この有珠山出動ではこれを強く実感し、今までの私の危機管理の未熟さを痛感し、見直す良い機会となつた。

最近では三宅島が地震の頻発により、深刻な状況下にあるが、有珠山での経験を活かし、私なりに有事即応体制の保持に努めたいと思う。

警視總監より感謝状を頂きました

七月二十三日から三日間かけて開催された九州・沖縄サミットにともなう警護警備に対する当会の激励に対して、八月三十日に警視總監(代理・宮園警備課長)より感謝状を頂戴しました。なお、千葉・福岡・宮崎・沖縄の各県警本部長からもお礼状を頂戴しました。





発行所
 社団法人 機動隊員等を励ます会
 東京都大田区仲六郷4-32-5
 〒144-0055
 発行人 佐々木 喜朗
 TEL 03(3739)0590
 購読料 年間1,200円(送料共)
 (但し会費の中には購読料を含む)

市民の協力を励まして大規模警備を完遂！ 金大中韓国大統領来日警備を終えて



夜早2回、熱海海園を散策する両首脳。

静岡県警察本部

金大中韓国大統領は、夫人及び随員を伴って九月二十一日来日し、都内で一泊した後、二十三日から二十四日にかけて静岡県熱海市に來往、宿舎において森首相との日韓首脳会談、共同記者会見に臨んだ。

大統領の来日をめぐっては、右翼団体による竹島問題等を提えた活発な街頭宣伝活動や宿舎等への接近・徘徊事案が予想され、また、極左暴力集団や外国テロ組織等によるテロ・ゲリラの発生も懸念されるなど厳しい情勢にあった。このため、静岡県警察では万全の体制で警護警備を実施したが、右翼は、関東方面の各団体が、大統領来日当日に統一街宣に取組んだことなどから熱海での車両街宣は予想外に少なく、部隊の規制・説得により当地を離れ、単身來往した二団体一人も、沿道及び宿舎への接近を図ったが、いずれも部隊によって排除され、懸念された不法事案は完全に防圧された。



なお、大統領離日当日の早朝、神奈川県熱海市内に入ろうと企図して湯河原町内をゲリラ的に徘徊したが、神奈川県警察隊に完全阻止されその目的を遂げることが出来なかった。

顧みて、今回の警護警備成功の秘訣は、何よりも多くの市民、市民の理解と協力、それに励ましがあつたにほかならぬ。確かに検問や右翼取締りに対する若干の苦情はみられたが、雨の中、黙々と活動する部隊員はみられた多くの市民が労いの言葉をかけ、さらに、狭い土地柄から部隊駐屯場の確保さえ困難とみられていたが、事業者の方々から励ましの言葉とともに部隊の活動拠点を提供していただいた。「ああ、韓国大統領の警備ね。大変だけど一緒に頑張ろうよ。あそこ、駐車場も使っていていいからね。」ある検問場所の管理者の言葉である。警察に対する批判は「批判」として真摯に受け止めなければならぬが、良識ある多くの市民、県民が警察を支えていてくれることを肌で感じ、警察活動の原点を見る思いがした。

なお、過日、金大中大統領の本年度ノーベル平和賞受賞が決定したとの報に接し、静岡県警察としても心から祝福すると共に、大統領警備が完遂出来たことにつき感慨深いものがある。

今月の言葉

全国の家族持ちの内、ほぼ四人に一人は單身赴任。その八割が中間管理職以上で、仕事の役割・責任も重い。又、心身にかかるストレスは厳しく、二重生活による経済的負担もずつしり肩にかかっているのも実情と思えます。それ丈に体調を崩さない様、健康であることが自分の為にも家族のためにも大切な事で、その為にはまず食事に気を付けて適度に運動をし、不摂生を避ける事が基本と言われています。

職場の仲間食事に於いて聞いてみると、人それぞれ食べ物に好き嫌いはもちろんですが、子供の頃から魚しか食べさせてもらえなかったのか選好を迎えようと

健康と安全

する男が肉類は一切ためて奥さんを食事の度に困らせている男、コーヒーを一日少なくとも四杯飲まないで落ちて仕事が出来ないと言う男、一人ひとり特徴があつて面白い、これらすべてその日の体調を整える為の自己

流の健康法なのかもしれません。ゴルフの時カートを利用することが多くなった今日この頃、誕生日プレゼントとして息子が万歩計と運動靴を送って来まして。自分の間はほったらかしにしてしまし



「足腰の健康の為、一日一万歩位を歩かないとゴルフを一緒にする仲間にも迷惑をかけますよ」と書かれた送り状が気に入り、最近平和公園を歩き始めました。毎朝お会いする歩行者と元氣良くお互いに「お早うございます」と挨拶を交わすのは気持ちの良いものです。六時二十分になると約百名の人が国際会議場前集まりラジオ体操をされています。私も体操を済ませ適度の汗をかきながら帰宅します。家内に歩き

独自インタビュー シドニー五輪銀メダリスト リスリング・クレコロマン69kg級 永岡克彦 巡査部長



「銀メダルおめでとうございます。今のお気持ちは？ 最初やっぱり信じられないという気持ちでした。表彰式が上がったことには感動と興奮がすごくありました。オリンピックを目指してやってきましたから、オリンピックという最高の舞台で一番になりたいという喜びが強いんです。オリンピックは、運・不運があつて本気の選手が負けたら実力よりも結果が目まぐる大会だと思えます。今回出てみて本当に良かったと思いましたが、あれ以上の感動をまた味わいたいと思っています。

今回の勝因は？ 今回勝つたという気持ちで戦いました。自分という人間が頑張っているということアピールしようと思つて思い切ってやりました。逆にやるだけやっつて、それで負けたら自分分には実力がなかったわけだからしょうがない。オリンピックに向けて愛護しなかつたですね、練習から、食事から、戦術から、全てで負けても今回は悔いは残らないと思つていました。

今回の日本選手は強かったですね。そうですね。結局精神的に落ちていくという時は、全てのバランスが悪いということだと思ふんです。肉体的にも充実しているから、気持ちも落ち着いてるだろうし、何事にも対応できるような練習していたからそういう自信もてるんだと思ふんです。そういう試合の状況を考えた激しい練習をしてあげば焦りというのとは出てこないと思ふんです。そういう意味では今回は大変良い状態での

ぞむことが出来たと思つています。一気持ちのコントロールはどのように？ やつぱり「気持ちの盛り上がり」がないと肉体も高められないと思ふんです。僕が頑張つてくれたのは、オリンピックという最高の舞台で結果を残したから、一試合でも多くやりたいという気持ちがあつたから頑張つてくれたと思ふんです。そういう気持ちがないと維持しようとしてしまふんです。維持しようと思つたらゼロからマイナスしかないと思ふんです。だからそういうのを僕はこれから打ち破らうと思つてんです。三代代を僕はこれから打ち破らうと思つてんです。三代代が一番強いんだと思つています。僕を昔から知つてる人からは、オリンピックに行けたこと、ましてや銀メダルをとれたことは、もう奇跡というか、よくぞそこまでいったという感じを言ふんです。だから僕も、そういう気持ちをもつていれば人間の可能性は無限大に広がるんだ、ということは今強く思っています。それと運というものは要協しないのでそれに向つてまっすぐ行けば掴めるもんだな、掴みに行けるものなんだと思つていました。

次回のアテネは？ プラス指向なので、今度は期待をいい方向に持っていきたいですね。

最後になりますが、警視庁機動隊に入隊して思う存分練習できる環境を与えて下さつたことに感謝いたします。



今回の五輪では、この他、女子柔道で大阪府警・山下まゆみ巡査部長、相撲で、日下部基徳巡査部長がメダル獲得の快挙をなしました。この三名に対しては「警察功労賞」が贈られました。

始めた日、電話すると「いつ迄続きますか？」「三日坊主にならない様にね」と冷やかされました。その関係もあり、雨の日を除き意地になって毎日続けています。仕事の関係で海外に二カ国通算約十年駐在しましたが外国で生活してみても日本の治安の良さが解つた様に思っています。人気の少ない早朝の一人歩きは外地駐在中には考えられない事でした。安心して生活出来るのも警察行政のお陰と言つても過言ではなく、感謝あるのみです。

一連の警察不祥事をとらえた警察に対する批判が大きく報じられました。悪いことばかりではないと思ひます。二月三日「機動隊員等を励ます会」中国支部員として初め

て広島県警察機動隊の訓練状況を見学させて頂き感謝すると共に厳しい訓練中の為、声にこそ出せませんが「大変ですね、頑張つて下さい」と心の中で何度も申し上げました。警察庁が来年度の予算で国民生活の安全を守る為、今後数年間で一万余人の計画的増員を要求されております。もともと日本の警察官一人が受け持つ国民の数は欧米諸国に比べ多い様です。警察刷新会議の提言は当然の事と思ひます。

我が国警察の総力を結集して九州・沖縄サミット警備も無事任務完遂され、心から「苦勞無き」と申し上げると共に、これからは安心して住める日本の治安の為、頑張つて欲しいと願つております。

(理事・中国支部 土生 恒雄)

〈今月のテーマ〉

二十一世紀を思う

遠い未来に思えた21世紀も
残すところあとわずか。
警察官が新世紀に期待すること
そして継承したいことは……



警視庁第一機動隊
川波 和史

私は子供の頃、「二十一世紀には宇宙旅行が常識になり、街には超高層ビルが立ち並び、空中を浮かぶことのできる車はパイプウェイの中を騒音も排気ガスもなく走り、事故や渋滞は皆無。人々は働かずロボットが人間の代わりに働くようになるのだ。」と信じて疑わなかった。

そして、二十一世紀を目前にした今でもやはり、「二十一世紀中ほとんどことが可能である。」と思いついてい。なぜなら、アメリカの某飲料メーカーが二〇〇一年中の宇宙旅行を企画しているし、やはりアメリカの某自動車メーカーはすでに浮揚して走行可能な自動車を開発中である。また、日本のある自動車メーカーにいたっては二足歩行の可能なロボットを既に完成させているからだ。

人類は「科学技術」をして、「それは空想だ。」と思われていたことをほぼ実現させることができるまでに至らした。二十一世紀には、その傾向が更に顕著になる。そして「科学技術」の進歩に追従して、社会環境も変化することになるだろう。しかし、二十一世紀においても変わってほしくないものがある。インターネット等の情報技術の発達により希薄になりつつある人間同士のつながりである。

「科学技術」という最高の宝物の力を上手に活用し、我々の子孫が描く未来の夢を実現でき得る基盤をつくり、また人

間の温かさの感じられる世の中であり続けるようにすることが、我々、二十一世紀を担うべき世代の使命であると思う。



警視庁第二機動隊
富田 哲也

私は第二機動隊に今年の四月に着隊し、間もなく半年になります。ミレニアムと騒がれた二〇〇〇年も残り数か月となり、二十一世紀を迎えようとしている。「歳月人を待たず」を実感するこの頃です。私は新隊員歓迎柔剣道大会で、張り切りすぎて骨折をしてしまい長期間にわたり公傷扱いとなり、満足に勤務に就くことができず、とても悔しい思いをしました。この経験により、警察官である以上、受傷事故防止の大切さも再認識し、日頃の健康管理に加え、鍛錬によって肉体と精神を高めていくことを二十一世紀の課題にしたいと思えます。受傷して身体が動か

せなかつたので、本を読む機会が多く、色々知識を得たのですが昨今の警察を取り巻く情勢の厳しさには、慄然とせざるをえません。IT革命の波は怒濤のように押し寄せていますが、それに伴い、種々の犯罪が多発し、サイバーテロは言うに及ばず、犯罪の国際化、凶悪化に拍車がかかっており、経済不況や人心の荒廃が産む犯罪の低年齢化も社会問題化しています。私は警察官として広い分野の勉強の必要性も痛感しました。

新世紀を迎えるにあたり、以上のことを念頭におき、文武両道の警察官を目指し、日々自分を甘やかさず、心身の鍛錬を重ね、その裏付けをバックボーンに職務の執行に精励していきたいと思

います。

使用慣れた「二十世紀」という言葉



警視庁第三機動隊
田村 栄一

も、あと二か月余りで過去のものとなり、新たな「二十一世紀」が始まるう

として

私は、警察官を拝命して二十三年という歳月を経たが、二十一世紀に入り、社会情勢がどの様に変化しようとも、仕事に対する姿勢は、人の苦しみを感

じ、それをいかに理解して、解決していくかということに全知全能を傾けるということに変わりはない。先月、自宅の本棚に奥深く眠っていた茶色に変色した原稿を発見した。それは私が、拜命直後に作成した青年警察官意見発表会のための原稿で、その題名は「ありがとう」という言葉であった。読み返してみると大変懐かし

く、その内容は、巡回連絡で訪れた独居老人が引越越しをする事になったものの、荷物が多量に、手伝つてくれる身内もなく途方に暮れているのを知り、その引越越しを手伝った時、私が書いてあった。その時、私はまだ二十三歳で私の祖母の姿にダブらせながら、非番を利用して引越越しを手伝い、それが終わってから一緒に食事をしたが、身の上話や、経験談を聞いたりした。そして別れ際に「おまわりさん、今日は本当にありがとうござい

ました。」と涙ながらに言われて私は感激し、今後「ありがとう」と言われる警察官になろうと、心に固く誓ったことを思い出した。

二十一世紀になっても悪を憎み、幾つになっても「ありがとう」と言われる仕事を続けるために、更なる知恵を絞るとともに、若い人達にもぜひ「ありがとう」と言われる喜びを継承するために、私の持てる力を微力ながら發揮していきたいと思

っています。

国際化、低年齢化、ハイテク化、そして警察官による不祥事と克服しなければならぬ課題が山積しており、私たち警察官にとっては前途多難な船出になりそうである。

しかし、ここで大事なことは、目先の事象にとらわれて一時しのぎの対応をすることよりも基本に返ることだと思

う。不祥事にしても私たち一人ひとりがもう一度初心を思い出し、職務の基本に忠実であれば絶対になくなるはずである。低年齢層による凶悪事件やハイテク犯罪にしても、それらは一見不可解で、彼等は新たな価値観に基づいて行動しているといわれているが、私はむしろ論理の基本が欠けているのだと思う。人類がこの地球上に誕生してから気の遠くなるような時間をかけて築き上げてきた論理には、絶対に揺るがない根幹がある。

新世紀だからといって特に新しい事を始める必要はないと思う。何事にも基本を再認識し、それを確実に後世に継承していくことが大事であり、むしろ、それが新世紀を希望に満ちたものにする唯一の策だと思

う。私も警察官として基本を忘れず、かつ新たな事象にも柔軟に対応できるように、日々研鑽していく覚悟である。

「二十一世紀」という言葉でひとつ思

い出したことがあります。先日、実家に帰り、自分の机を整理していると、小学三年の当時に書いた二十一世紀の絵が出てきたことです。

して、その絵に描かれた人々に目を向けると、全ての人々が笑顔で描かれていました。

二十一世紀を目前にした今日、人々は笑顔でいられるでしょうか。日本の各地で発生している災害、毎日のように報道される悪質な犯罪、このような状況の中で人々が笑っていられるわけがありません。笑うどころか不安で一杯だと思

います。しかし、警察という職業はその不安を払拭しなければなりません。そして、二十一世紀の警察を支えていくのが、私たちなのです。二十一世紀、犯罪はより凶悪化・複雑化するでしょう。私たちは、そのいかなる犯罪に対しても、正当な職務執行で立ち向かっていかなければなりません。そして人々の気持ちを「不安」から「安心」へと変えていかなければならないのです。

「二十一世紀」を迎えるにあたり、あの絵に描かれたような、人々が笑顔で過ごせる街にするように、私は二十一世紀の警察を支える一人の警察官として努力していく覚悟です。

二十一世紀を目前に控えた今、私の仕事に対する取り組み方針の一端をここに述べてみたいと思

う。

二十一世紀最後の節目の年に、私は機動隊員として沖縄サミット警備を完遂できたことが深く思い出に残る仕事となった。



警視庁第六機動隊
奥山 慶滋

なぜなら、他府県への派遣も初めて、沖縄へ行つたのも初めて、そしてあのような暑さも初めての経験で不慣れな毎日が続き大変だと痛感すると同時に、これが機動隊なのだという強い実感を

得ることが出来たからである。

この沖縄サミット警備を通じて学んだことは、自分がいかなる状況に置かれても的確に対応できるように

な

な

な

能力を培っていかねば機動隊員としての仕事は動まらないということである。

そこで、二十一世紀を担う警察官としての仕事を考えてみると、何時、如何なる事案が起きてもおかしくない昨今の社会情勢の中、私は治安のプロとして常にあらゆる事態、状況を想定し、その時自分は何をすべきかをイメージトレーニングの反復訓練で、しっかりと認識しておくことが必要であると思う。

今まで私たちの先輩が、血のにじむような努力によって築き上げて来た国民の信頼を裏切ることなく、二十一世紀の警察組織の核として任務を全うするとともに、二十一世紀を共に背負って立つ後輩にも諸先輩方の築き上げて来た伝統を余すことなく継承したい。

そして、二十一世紀という新しい時代を迎えては、常に初心を忘れず、時勢にずれのない「らしい警察官」を目指して、日々精進していく覚悟である。



警視庁第七機動隊 谷口 恵子

情報化時代の到来を思わせる二十一世紀は、はたして自分の生き方がどのように変わっていくかわからない不安定な時代だが、地球環境や人間性を重視した人類社会の新しい規範を求めていくことが大切であると思う。

私は学生時代「少年法」の授業を受けているとき「少年法の趣旨は、少年の更正にある」という言葉を聞き大変感動を受け、是非自分もそのような仕事をしてみたいと思ひ、警察官を志した。実際、警察官となった現在、思うようにいかないことも多く自分の力不足を実感しているが、機動隊員としてさまざまな現場に行き、いろんな経験を重ねるうちに、治安警備に従事して

いる充実感を感じている。

今後、二十一世紀は私たちの世代が警視庁を担っていくのだと思うが、警察を取巻く状況もますます厳しいものになっていくといわれている中で、自分自身が機動隊在任中に実力をつけるように努力していかねばいけないと思う。また、警察官というやりがいのある仕事に就いているという「誇り」を持ち、一つ一つのことに対処し、前進することのできる人間になりたい。



警視庁第八機動隊 市川 秀徳

二十八歳の私にとって二十一世紀は、私の人生において大変重要な時代になると思っています。

男は、三十にして立つと言いますが、三十になるこの新世紀への移り変わりを大きな節目として、公私共に新たな気持ちで臨もうと考えています。

まず、職務においては、教えられる立場から教える立場になることです。今まで常に新人として学んで来ました。私自身その新人という言葉に甘えていました。これからは徐々に組織の中堅として活躍できるよう、今まで学んできた知識・技能を実践することと昇任試験に合格し、指導監督できる立場になることを目指します。

また、私生活においては、今年の十一月に結婚を控え、自分一人の責任から家族を守っていくという立場になり、より強い責任感を持たねばならない。すなわち、半人前の時代であった二十世紀から二十一世紀は、一人前の人間として行動を起こしていく時代と言えるのです。

私は、今日までの人生の間で多くの貴重な体験をすることができましたが、これからは、今まで以上に素晴らしい人生を経験することを夢見ているところです。

私にとって二十一世紀は、素晴らしい上司、先輩、同僚、そして家族に恵まれた、幸先の良いスタートになると信じています。これからも向上心と積極性を持ち、豊かで充実した人生を送れるよう自らの手で切り開いていきたいと思っています。



警視庁第九機動隊 福井 将人

私が機動隊に着隊してから約四か月経ちましたが、この短い期間に様々な経験をさせていただきました。印象深い勤務の一つに、三宅島への災害警備派遣があります。十七年ぶりに三宅島の雄山が噴火したため、私は突発部隊の一員として、ヘリコプターで三宅島へ行き、救援活動に従事しました。現場では避難所において、避難誘導活動や広報活動、非常食の搬入作業、降灰除去作業などを実施しました。現場にいる間は、噴火や泥流が発生した際、どのように島民を避難させればよいのかを考えながら勤務していました。

東京では関東大震災以来、大規模な災害には見舞われていなかったのですが、これから二十一世紀に向けては、ますます多くの災害が起きることが考えられます。その際、我々、機動隊員は、人命救助を最優先とした現場活動を行うことになり、そのための、日頃から、突発的災害の特質や災害発生時の措置について勉強するとともに、気力・体力の錬磨に努めていく必要があります。また、機動隊では様々な資格を取得できま

すので、一つでも多くの資格を取得して、災害救助の際に生かすべきだと思います。私の場合は、中隊において、水難小隊に所属していますので、水難検定初級の資格取得を目標にして頑張りたいと思います。これから二十一世紀に向けて、多くの

の災害の発生が予想されますが私は機動隊員として、誇りと使命感を持ち、自己の知識と技能を磨いていく覚悟です。



警視庁特科車両隊 山本 憲史

二十世紀最後の年である本年、全国機動隊が一丸となり七月に行われた九州・沖縄サミット警備を完遂した。まさに世紀を締め括るに相応しい輝かしい年になり、今、その機動隊の一員として各種警備等に携わっていることは、私の人生の中でも忘れられないものになると思う。

二十一世紀まで残り数か月、機動隊を取巻く治安情勢は、九州・沖縄サミット、国賓来日に伴う警備等で見られた極左各派、右翼団体の不穏な動向、国際テロ集団の現状等、厳しい状況にある。このほか三宅島の噴火に見るような自然災害、オウム真理教による一連の事案等、複雑多様な治安事象への対応も機動隊に求められている。

更には、二〇〇二年には、我が国でワールドカップが開催される。過去の大会で猛威を振るった、フーリガンが入国する事も懸念されている。しかし二十一世紀にどのような事案が発生しよう、我々は機動隊発足以来先輩が、汗と涙で築いた伝統と技術を継承して、「イチ、イチ、イチ」の掛け声のもと、全国の機動隊が足並みを揃え、あらゆる事案に対処して行かなければならないのではないだろうか。

最後に私は、特科車両隊が二度目の機動隊勤務であるが、機動隊こそ「治安の礎」であることを肝に銘じ、仲間とともに警備現場、訓練等で汗を流し、先輩から引継いだ伝統ある機動隊を、二十一世紀の隊員へ引継がなければならぬ重責を担う隊員として二〇〇一年へ向け着実な第一歩を踏み出してゆきたい。

- 任務の完遂
- 光れ機動隊
- (株)エース電研
- (学)嘉悦学園
- 大洋製鋼(株)
- (株)日鐵流通センター
- 山九(株)
- 大東港運(株)
- 関西製鋼(株)
- 橋山和生(株)
- 国見山(株)
- 合同製鐵(株)
- 岡谷鋼機(株)
- (株)テクノ・タジマ
- 東海鋼材工業(株)
- 宮崎精鋼(株)
- 太陽シャーリング(株)
- 広島シャーリング工業(株)
- 北越メタル(株)
- 高橋重廣

未曾有の名古屋地方豪雨 災害救助活動にあたる！

愛知県警察本部



において、救助活動中の九月十一日午前〇時三十分ごろ、半田警察署に、「家に水が入って来たが、足の不自由な老人がおり、逃げるのができない。助けてほしい。」との通報があった。半田警察署から通報を受けた機動隊員が、すぐその家に行つたところ、家人から「私のところは五人家族ですが、おばあちゃんが車椅子に乗っているので、逃げようにも逃げられない。お願いします」とのことであった。

隊員は、おばあちゃんの足や衣服を濡らさないように注意して背負い、家族とともにボートに乗せ、水のない安全な場所まで避難させた。その家族は、地域の避難所である公民館に向かったが、別れる際、車椅子に乗ったおばあちゃんが隊員らに向かって深々と頭を下げられた。この光景を見た機動隊員の心には熱いものが込み上げ、今後の活動の励みとなった。

また、名古屋市内では、九月十二日午前五時ごろ、丹羽郡に住んでいる男性から北警察署に、「北区の味鏡に、体の不自由な母親が一人で住んでいるが、その母親から、家に水が入ってきたが、逃げる事が出来ないと電話があった。私が助けに行くことができないので、警察で何とかしてほしい。」との電話連絡があった。

九月十日の夜から降り続いた雨は、翌十一日の夜になって激しさを増し、午後十時四分、名古屋地方気象台から愛知県全域に大雨・洪水警報が発令された。この雨は、名古屋市中観測史上第一位となる時間雨量七十九ミリを記録し、まさにバケツの水をひっくり返したような降りや降りであった。総雨量は四二八ミリに達し、この雨により愛知県西部を中心に七十九市町村で堤防の決壊、浸水、山・崖崩れ等の被害が発生、七名の方が亡くなられ、九十名の方が負傷された(九月三十日現在)。

愛知県警察では、総合警備本部を設置して、機動隊、管区機動隊、警察署員を招集し、県警の総力を挙げて対処した。

九月十一日午後八時、半田警察署管内の知多郡東浦町の石ヶ瀬川の堤防が決壊し、周辺一帯が浸水、逃げ遅れた住民が屋根の上の上がって救助を求めている。「出動せよ」との指示を受けた機動隊は、直ちに一個小隊が救命ボートを装備して現場に急行した。

機動隊が知多郡東浦町の浸水した地域



浸水した車両の移動を行うレスキュー隊員。

た。北警察署管内で救助活動に当たっていた管区機動隊員は、直ちにその家に行き、「警察です。大丈夫ですか。」と声をかけると、高齢の女性は、安堵の表情で「すみません、すみません。」と頭を下げられた。隊員はこの女性の背負って、近くの避難所へ避難させた。

救助を依頼してきた家族から、後日、北警察署長宛に御礼状が届けられた。この集中豪雨による爪痕は大きく、特に、新川の堤防決壊により、浸水被害を

機動隊メッセージリレー

祭に伴う雑踏警備

高知県では毎年八月に「よさこい祭り」が開催されます。二日間にあたり、百二十団体以上の踊り隊が両手に鳴子を持って高知市内十三カ所の競演場を踊り歩くという県内最大のイベントに、今年も私達機動隊員は、高知署より応援要請を受け雑踏警備に参加しました。私達は帯屋町・追手筋という、なかでも一番賑わう競演場周辺を徒歩で見回りました。

高知といえば、周りを山と海に囲まれ、お年寄りも多く、どちらかというとのんびりしているという印象が持たれるかと思いますが、この時ばかりは、高知にもこんな元気な若い衆がいたのかと驚くほどの活気があり、パワーあふれる躍動感と熱気が伝わってきます。若い有り余っている力のすべてが踊りに向けられ、日頃溜まったストレスもうまく発散されているようでした。

エピソードというほどではありませんが、今回は、先に北海道で行われた「よさこいソーラン祭り」での爆破事案に関連つけて、事前に主催者に対して、爆破予告も受け取れる電話があったことから、例年以上に私たちが機動隊員も緊張の中雑踏警備に、不審物発見と従事したこと、単なる心配だけで済み、事件に発展することもなく、また、これといった事故や採め事も起きず、祭りは賑やかに、警備は平穩に終えることができました。

被災した名古屋西区小田井地区、西枇杷島町では、水が引いてからもしばらくは生活できる状況になく、被災された方々は、被災地域の後片付け、夜間は避難所で過ごすという生活を余儀なくされていた。夜間の被災地は、まるでゴーストタウンであった。

救助活動が一段落した今、機動隊、管区機動隊等は、未だ住民が避難所生活を続けている被災地区の犯罪を防止するため、昼夜を分かたぬ警戒警らに奔走中である。



高地市内が一年で最も賑わう「よさこい祭り」。

さて、警視庁機動隊の方にお尋ねします。二年前、高知県は集中豪雨に見舞われ県都高知市を中心に多大な被害を受けました。災害警備について警視庁独自で取り組んでいることや、訓練方法、装備資器材等があれば教えてください。

機動隊、警備の現場から

九州・沖縄サミット警備

特別派遣(騒音取締)に従事して

大阪府警察第一機動隊

当隊は、各中隊から捜査経験者一千人を選抜し、今世紀最後の九州・沖縄サミット警備に際し、右翼街宣車に対する暴騒音取締りを任務とした「騒音取締部隊」を特別派遣しました。

今回の特別派遣は、沖縄県前に宮崎県での外相会合警備に約二週間従事しました。隊員とともに日焼けの黒さが増すにつれ、チームの結束は一段と強くなり、取締

りに対する自信は確固たるものになっていきました。

与えられた任務への真摯な取り組みと、宮崎・沖縄県警が築いてこられたチームワークのお陰で南国の風土にも難なく溶け込め、自信に漲る取締りを完遂し、無事大任を果たせたのです。これも偏に、全国警察がその志を一つに、任務を全うした賜であり、「当然の結果」であったのだ、と思いを新たにしているところです。

今回の経験は、我々青年警察官にとつて、これからの長い警察人生を歩んでいくうえでこの上ない誇りと自信となりました。またお世話になった両県警の皆様や「苦労様です」と労いの言葉を数多く掛けて下さった県民の皆様にお礼を申し上げます。

本警備に参画し、任務の完遂をなした得た全国警察官の共通の喜びを胸に、今後とも日々の出動、訓練に邁進していきます。

お知らせ

◎十一月六日(月)午後五時三〇分より、新潟市下大川前通「新潟グランドホテル」において北陸支部総会を開催いたします。

◎十一月十日(金)午後五時三〇分より、千葉市中央区「ホテルニューカモト」において千葉支部総会を開催いたします。

皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。



この大警備の完遂を誇りと自信に。

今月の言葉

縁あって、この七月から「機動隊員等を励ます会」事務局にお世話になる事になった。振り返ってみると生まれてこの方、五十有年、長く民間企業に勤務した私にとって「警察」という組織体と其処に籍を置く人々は、お役人の世界そのものとしてしか認識出来ず、全く身近ではなく、むしろ親しくも存在といつても過言ではなかった。ところが突然、警察と一般社会の橋渡しをし、警察の活動を支援していく立場の仕事に携わるといって巡り合わせになり、些か戸惑いを感じつつ、慌ててこの夏の間、付け焼刃的に警察にかかわる書物を読み漁る次第となった。

その中で、昭和四十年代の左翼過激派が跳梁跋扈した時代に、警視庁をはじめとする、全国の機動隊員達が活躍した様子を描写した佐々淳行氏の一連の著作、就中「連合赤軍・あさま山荘事件」は興味深かった。佐々氏の日頃の言動に対する評価は、警察

互いに日頃の感謝の気持ちを分かち合い 第24回中国支部総会開催!



佐々木理事長の挨拶

去る十月十三日、広島市厚生年金会館において、第二十四回中国支部総会が開催された。
当日は、広島県警察本部の幹部および中国管区及び広島県警機動隊員二〇名、励ます会委員二〇名が参加し、盛大かつ活気あふれた総会となった。

最初に、楠部支部長が挨拶され「最近、少年犯罪や事件が多発し、憂慮される。昨年、広島胡講祭りで連日連夜暴徒と化した少年グループ連の暴走族騒ぎがあったが、その際、身の危険を顧みず、出動される隊員の皆様の姿を拝見し、頭の下がる思いがした。また、西鉄高速バス乗取りは、まれにみる凶悪犯罪であったが、警察の粘り強い努力のお陰で犯人が逮捕され、本当にほっとした次第だ。来年は二十一世紀を迎えるが、励ます会は今後も微力ながら応援していく」と述べられた。
続いて、佐々木理事長から、「世の中では昭和二十年に匹敵する大きな変化が起きているが、その中で社会の秩序を維持していく仕事は大変な努力がいる。機動隊の方々の活動は裏方に徹しながら社会秩序を支えていくという

内部の方々の間でも毀譽褒貶々々である事実には承知しているが、私にとっては克明で臨場感溢れる迫力ある筆致に引き込まれるもの大であり、国家秩序維持の為の治安の最後の砦としての、機動隊員達の献身的な活動振りに、心の内から熱いものが込み上げ、深い感銘を覚えたものである。
ところで私の現在の仕事の中で、重要なものひとつとして、当会の設立趣旨にご賛同賜り、ご協力頂ける新規会員登録の勧誘活動がある。その為、この数ヶ月の間、旧知の多くの人々を訪ね、入会と当会の諸活動支援のお願いを繰り返してきたが、その中で私にとって予想もしなかった非常に驚かされる事態に次々と遭遇したのである。
昔、取引関係のあったある鉄鋼関係の社長を訪問した時の事である。当会の意義を申解して



発行所
社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)

新たな決意をそれぞれが胸に誓って 第23回北陸支部総会開催!



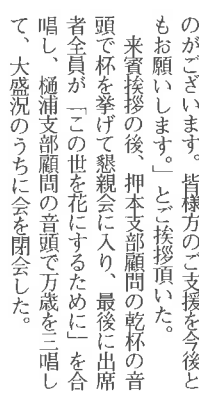
「この世を花にするためだ」と大合唱

去る十一月六日、新潟グラウンドホテルにおいて第二十三回機動隊員等を励ます会北陸支部総会が開催された。
当日は、平山新潟県知事殿を始め、堀内新潟警察本部部長殿、新潟・富山・石川各県警察の機動隊員等約一〇名、励ます会からは約一七〇名の出席を得、熱気に溢れんばかりとなった。
総会は、近藤世話人の司会が進められ、今井支部長が、「本年は九州・沖縄サミットで、新潟・富山・石川の各県の機動隊員の皆様も警備に大きく貢献されたとお慶びしています。また、鳥取県西部地震のような大規模災害がいつ発生するかも知れず、

益々自己鍛錬に励まえていくために、我々も細やかな協力をお願いしたい。我々も細やかな協力をお願いしたい。」と述べられた。
続いて、小田村広島県警察本部部長殿が「本日出席している機動隊員は、警察の先鋒的役割を担って活躍しています。少年バス乗取り事件での人質救出、八月六日の平和式典終了直後の総理警護車への飛び出し事件への対処、九州・沖縄サミット、十月六日の鳥取県西部地震の災害救助活動等、的確に対応できるのは平素の厳しい訓練によるが、そうした時の支えになるのは皆様のご支援であり、温かい励ましです。今後も引き続きご理解・ご支援を申し上げます。」と述べられた。
その後、岩元支部顧問の首頭で乾杯して懇親会に入り、最後に警察幹部、機動隊員全員が声高らかに「この道」を合唱し、横溝理事の首頭による万歳三唱で盛大かつ活気に満ちた中国支部総会は無事終了した。

この他にも面談時に家族、親類縁者に警察関係者の存在を聞かされたケースは枚挙に暇がないほどである。
全国現役警察官、二十六万人。OB、家族も含めて優に百万人、いや数百万人の人々が警察組織と太い絆で繋がっているのである。そうか、警察ってそんな遠い存在ではないんだ。我々市民にとって思ったより身近な存在なんだ。そう思うと私の心の中に引つ掛かっていた何かわだかまっていたものが、一遍に氷解して行くのを感じた。俺も警察組織の絆の中に飛び込めそうだと。
この一兩年いわゆる警察不祥事というものが、全国で続いている。確かに批判には当たっている部分も多くそれはそれとして謙虚に耳を傾ける必要はあるが、一方一般国民の側について言えは安易な警察批判を観念的に繰

機動隊への期待は高まる一方です。励ます会としては、激励の輪が大きく広がるよう一層努力していく所存です。」と決意を述べられた。
その後、佐々木理事長より「昔は国の権力の下で治安を維持できたが、今はなかなか警察活動そのものがそういう形でできない。しかし、努力をしたことを見ている人はちゃんと見えています。私共も何らかの形で応援させて頂きます。」と挨拶された。
続いて、平山新潟県知事殿が、「機動隊は機動的に動けるということが大事の一つが皆さんの活躍です。いざという時に頼りになる機動隊として、安全で安心な社会を築いて下さい。」と挨拶された。
その後、当支部の支援に対し、堀内文隆新潟警察本部部長殿より感謝状を頂戴致し、「日頃から深いご指導とご支援を賜り、改めて御礼申し上げます。鳥取西部の大地震のような災害警備やワールド・カップ雑踏警備など、我々を取り巻く情勢も厳しいものがございします。皆様方のご支援を今後ともお願いいたします。」とご挨拶頂きました。
来賓挨拶の後、押本支部顧問の乾杯の首頭で杯を挙げて懇親会に入り、最後に出席者全員が「この世を花にするために」を合唱し、樋浦支部顧問の首頭で万歳三唱して、大盛況のうちに会を閉会した。



警察

内部の方々の間でも毀譽褒貶々々である事実には承知しているが、私にとっては克明で臨場感溢れる迫力ある筆致に引き込まれるもの大であり、国家秩序維持の為の治安の最後の砦としての、機動隊員達の献身的な活動振りに、心の内から熱いものが込み上げ、深い感銘を覚えたものである。
ところで私の現在の仕事の中で、重要なものひとつとして、当会の設立趣旨にご賛同賜り、ご協力頂ける新規会員登録の勧誘活動がある。その為、この数ヶ月の間、旧知の多くの人々を訪ね、入会と当会の諸活動支援のお願いを繰り返してきたが、その中で私にとって予想もしなかった非常に驚かされる事態に次々と遭遇したのである。
昔、取引関係のあったある鉄鋼関係の社長を訪問した時の事である。当会の意義を申解して

家の

のであろう。
また私が嘗て勤務した鉄鋼メーカーの、当時共に仕事をした仲間であり、現在同社のある支店の営業幹部を務める某氏と面談した時はこんな展開であった。「お話しした赤軍兵士による、山荘内部からのライフル狙撃阻止を成功させたオリピック選手でもあったピストルの名手、狙撃班長の警部とは実は私の親父なんです！」奇縁極まりりと言っべきか。

絆

この他にも面談時に家族、親類縁者に警察関係者の存在を聞かされたケースは枚挙に暇がないほどである。
全国現役警察官、二十六万人。OB、家族も含めて優に百万人、いや数百万人の人々が警察組織と太い絆で繋がっているのである。そうか、警察ってそんな遠い存在ではないんだ。我々市民にとって思ったより身近な存在なんだ。そう思うと私の心の中に引つ掛かっていた何かわだかまっていたものが、一遍に氷解して行くのを感じた。俺も警察組織の絆の中に飛び込めそうだと。
この一兩年いわゆる警察不祥事というものが、全国で続いている。確かに批判には当たっている部分も多くそれはそれとして謙虚に耳を傾ける必要はあるが、一方一般国民の側について言えは安易な警察批判を観念的に繰

り返すばかりで現実には社会の採め事の解決は何もかも警察頼りという甘えの意識が過剰である事が看過されていないだろうか。国家の治安と秩序の維持にはコストは掛かるのだと我々ももつと虚心に認識すべきなのである。警察内部にも民事不介入原則への見直し動き、すなわちよりきめ細かい国民サービスをさらに積極的に実施して行こうという方向付けがあると聞く。その為に現在の全国の警察官一人あたりの負担人口五五六人といわれる水準は三、四〇〇人という欧米諸国とそれと比べて過酷過ぎないだろうか。
警察官の早急なる増員は国家的見地から焦眉の課題であろう。
警察組織が私にとって急速に身近に感じられるようになった今、警察一家の絆の中で機動隊をはじめとする警察官の活動を激励、支援して行くという現在の責務に、何ら躊躇なく真っ向から全力で取り組んで行こうと念じている次第である。(常任理事 早速 義男)



非常に難しい、努力と忍耐のいる仕事だ。これからの日本を支えていくために、我々も細やかな協力をお願いしたい。我々も細やかな協力をお願いしたい。」と述べられた。
続いて、小田村広島県警察本部部長殿が「本日出席している機動隊員は、警察の先鋒的役割を担って活躍しています。少年バス乗取り事件での人質救出、八月六日の平和式典終了直後の総理警護車への飛び出し事件への対処、九州・沖縄サミット、十月六日の鳥取県西部地震の災害救助活動等、的確に対応できるのは平素の厳しい訓練によるが、そうした時の支えになるのは皆様のご支援であり、温かい励ましです。今後も引き続きご理解・ご支援を申し上げます。」と述べられた。
その後、岩元支部顧問の首頭で乾杯して懇親会に入り、最後に警察幹部、機動隊員全員が声高らかに「この道」を合唱し、横溝理事の首頭による万歳三唱で盛大かつ活気に満ちた中国支部総会は無事終了した。

機動隊への期待は高まる一方です。励ます会としては、激励の輪が大きく広がるよう一層努力していく所存です。」と決意を述べられた。
その後、佐々木理事長より「昔は国の権力の下で治安を維持できたが、今はなかなか警察活動そのものがそういう形でできない。しかし、努力をしたことを見ている人はちゃんと見えています。私共も何らかの形で応援させて頂きます。」と挨拶された。
続いて、平山新潟県知事殿が、「機動隊は機動的に動けるということが大事の一つが皆さんの活躍です。いざという時に頼りになる機動隊として、安全で安心な社会を築いて下さい。」と挨拶された。
その後、当支部の支援に対し、堀内文隆新潟警察本部部長殿より感謝状を頂戴致し、「日頃から深いご指導とご支援を賜り、改めて御礼申し上げます。鳥取西部の大地震のような災害警備やワールド・カップ雑踏警備など、我々を取り巻く情勢も厳しいものがございします。皆様方のご支援を今後ともお願いいたします。」とご挨拶頂きました。
来賓挨拶の後、押本支部顧問の乾杯の首頭で杯を挙げて懇親会に入り、最後に出席者全員が「この世を花にするために」を合唱し、樋浦支部顧問の首頭で万歳三唱して、大盛況のうちに会を閉会した。

〈今月のテーマ〉

今年の警備

今年も残すところあと一か月。様々な事件や出来事がありました。一年間の警備を振り返りどのようなことを感じ、何を得たのでしょうか。



東北管区機動隊 佐藤 敬

今年の夏、私は、東北管区機動隊の一員として、日本警察が威信をかけた九州・沖縄サミット警備に出動してきました。

私は、本年から管区機動隊員として指名を受けておりますが、今まで警備といえば、沿道での警備警備、人通りの少ない場所等での周辺警戒等、部隊の一員という意識のみで、自分が警備をしているという自覚が弱かったような気がします。

しかし、今回のサミット警備は、今までの私の考えを打ち砕く厳しさであり、勤務員一人ひとりの責任が明確にされるなど、非常に重要な警備でした。サミット警備の成功は、各県警による徹底した事前実査に基づく警備計画、コンピュータによる情報管理等新方式を採用した警備手法はもとより、何にも増してサミット警備を成功させようという隊員全員の熱意ではなかったかと思えます。

私は、今回の警備で初めて受身ではなく、強い信念を持ち、積極的に任務に当たることの大切さを身体で感じ、任務完遂出来たことに誇りを持つことが出来ました。

また、忘れてならないのが、地元の人々の暖かい声援と協力があったということです。サミット警備の成功は、決して警察だけで出来たものではなく、地域住民の協力があった

初めてなし得たものではないかと思えます。

私は、サミット警備で得た数々の教訓と、任務を先遂した誇りを糧として、今後の警察活動に邁進していきたいと思えます。



九州管区機動隊 池松 寛

二〇〇〇年夏。猛暑。沖縄サミットが始まった。照りつける太陽とアスファルトの焼けつく匂いが次第に強くなっていった。

あまりの暑さに、一本の電線の影に入る。

私たちの部隊は、プレスセンター周辺での警戒警備にあたった。プレスセンターはサミット参加国首脳が記者会見のために利用する場所であり、反サミットグループの攻撃対象である。

突然の豪雨。沖縄では、こんなスコールみたいな雨が降る。

「ちきしょう。こんな時に...」

目の前に、「サミット反対・弾圧」の旗を掲げた過激派の集団がいる。数時間に及ぶ睨み合い、緊張した時間が流れる。「俺達の守る場所から決して突破させないぞ。」何度も何度も吹きながら、途切れそうになる気力を振り絞る。責任の重大さは十分解っている。気がつくくと雨が上がり、過激派の集団はデモ行進を再開していた。「ポリ公帰れ」などと罵声を浴びせながら私の前を通り過ぎていく。

しかし、「勝ったのは俺だ。」強烈な自負を感じるとともに緊張も解けていった。

厳しい条件下での警備ではあったが、世界が注目するサミットの一端を担えたことは何にも代えがたい「誇り」を私に与えてくれた。管区機動隊として忘れることができない夏の日であった。



中国管区機動隊 林 博文

今年一月、地元山口市において「全日本教職員組合教育研究全国集会」が開催された。

これに反対する右翼団体は、集会開催が公表された昨年十一月以降、全国から多数の街宣車を動員し、執拗な抗議活動を展開した。

右翼の違法行為は看過しないとの基本方針の下、長期間に及んだ警備実施は、暴騒音楽例違反や道路交通法違反を檢舉するなどして右翼の不法行為防圧に大きな成果を上げたほか、暴騒音取締支援、突発遊撃、庁舎警戒等の各種部隊活動を通じて得た貴重な体験と教訓が、その後の「九州・沖縄サミット警備」に生かされることとなった。

全国優秀機動隊員表彰を受賞した記念すべき年に、日本警察の威信をかけた九州・沖縄サミット警備をはじめ、自県警察にとつて初の大規模警備実施となった全教研集会警備に從事できたことは、管区機動隊員としての二重の喜びであり、今後の警察人生に大きなプラスになるものと確信している。



北海道警察機動隊 小関 貴史

「有珠山に噴火の兆候有り」の臨時火山情報。

それは、平成十二年三月二十八日早朝発せられ、次々と緊急出動していく部隊車両、その中に私はいた。

「これは訓練ではない、本番だ。」車両の中でそう言い聞かせながら、現場へと急行し、そこで避難住民の、「家を全て失うかもしれない」という悲壮感を目のあたりにしながら、我々機動隊の不眠不休の警備が始まった。噴火前は、住民の避難誘導やいつ噴

火するかわからない山と地震と戦いながらのバスでの流動警戒、噴火後は、突発対応や大雨の際の泥流警戒など、慣れない警備の連続で疲労が蓄積し毎日が戦いであった。

その後、約五か月間噴火災害警備に從事したが、火山活動が終息に向かっているとの見解により、長期にわたった我々の噴火災害警備は終わりを告げたのである。

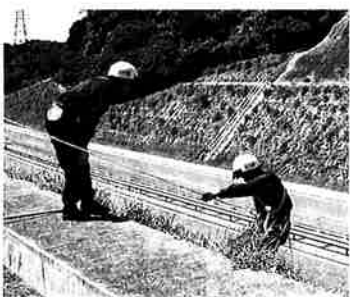
本警備を終え、一人の犠牲者も出さずことなく任務を完遂した充実感と、なによりも、住民の努力により、観光地洞爺湖温泉街に活気が少しずつ戻ってきたことに感激を覚える。日本は火の国であり、北海道にはいつ噴火してもおかしくない山がまだまだ沢山ある。今後も起こりうる噴火災害に備え、本警備の経験を生かし、地域住民の安全を守り続けたい。



群馬県警察機動隊 福田 義徳

本年の警備全般を振り返ってみるに、最も印象深いのは、やはり九州・沖縄サミット警備ではないかと思う。

私は本県連合機動隊の一員として、高速道路沿道警戒に從事したが、期間中の勤務を通じて、地元の方々とうれあう多くの機会を得た。



地元の人とふれあう機会を得た高速道路沿道の警戒警備

私の配置場所は、付近に人家のない森と畑に囲まれたところではあったが、

時に畑仕事に来た地元の人と話す機会もあり、こうしたとき

「暑いのに大変だね。日陰で休んだら良いのに。」と氣遣う声を掛けてくれたり、「うちの畑でとれたゴーヤだけど、良かったらみなさんで食べてください。」ととれたての野菜を分けてくれる人もいた。今思えば、ほんのささやかな出会いであったが、暖かな心を感じたものである。

昨今、警察への信頼が揺らいでいると言われている。だが、こうした細かな出来事からも、まだまだ多くの人達が警察を信頼し、あるいは応援してくれていると思うと、本当に心強く感じる。

だからこそ、我々は人々の信頼にこたえるべく、一つひとつの任務を確実に遂行する必要があるのだ。しかも、その根底には誠意がなければならぬことは言うまでもない。



岐阜県警察機動隊 渡邊 慎

「うちは母子家庭だね。」そんな妻の言葉を聞き、後ろ髪を引かれる思いで出動をした機動隊員は、私だけではないと思えます。

今年も、それほど各地への出動が多い年でありました。

私の所属する中部管機三大隊は、右翼対策出動に始まり、成田空港警備、北海道有珠山への災害出動、沖縄サミット等と長期間に亘って出動が続ききました。

長期の出動となると痛切に感じることは、体力気力の充実と健康管理でした。小雪の降る中、寒さと戦いながらの警備、酷暑の中での警備等、体力気力が充実していかないと決して乗り切れるものではなかったと思えます。

その支えになったのは無事に送り出してくれる家族であり、留守を任せられる妻でありました。

家族には随分と辛く寂しい思いをさせてしまったが、それも、機動隊員としての宿命であり、妻もそのことを理解し

つかりと家庭を守ってくれました。今年の警備を振り返り、改めて「家族のありがたさ」を見つめ直すことができ感謝しています。



寒さと戦いながら有珠山への災害出動



京都府警察機動隊 大槻 尚義

西暦二〇〇〇年。今年は二十世紀最後の年であるとともに、新たな千年紀(ミレニアム)の始まりの年であり、警察にとってはコンピューター二〇〇〇年問題の諸対策に迫られる慌ただしい年明けとなった。

京都府警察機動隊においても二〇〇〇年問題の対応に加え、昨年末、京都府内で発生した「小学生児童殺害事件」、更に年明け早々には「新東京国際空港警備特別派遣」に伴う警戒警備出動等、多忙を極める新年の幕開けであった。

また、この様な厳しい情勢の中でスタートを切った今年七月には、全国警察の最重要課題であった「九州・沖縄サミット」が、更に十月には当府警の最重要課題である「第二十回全国豊かな海づくり大会」が開催され、私自身、それぞれの大規模警備に従事したが、いずれも無事任務を完遂することが出来た。

この様に今年一年、数々の警備出動を経験したが、ここで大切なことは、これらの出動をただ単に過ぎ去っていった「過去の事」として捉えるのではなく、反省・検討を加え、より確かな

ものにしなければならぬことである。そして今後の治安の確保にこれらの経験を生かす事が出来た時に初めて価値あるものになると私は考える。



徳島県警察機動隊 小川 正和

「ミレニアム」誰もが一度は耳にしたことがある言葉であろう。二〇〇〇年である今年、世間は「千年紀」ということで特別な年として騒いでおり、「ミレニアムオリンピック」「ミレニアムにふさわしい日本シリーズ」などと全てが特別なものとして扱われた。

私の二〇〇〇年を振り返ってみると、元旦の初詣雑踏警備に始まり、全教教研集会警備、阿波踊り雑踏警備など、何件かの警備をこなしたが、何と云っても「九州・沖縄サミット」これを抜きには今年の警備を語ることは出来ない。



二十世紀最後に経験できた警備「九州・沖縄サミット」

今回は日本では初めての地方開催であり、歴史的なサミットであったと言える。

六月後半から七月後半にかけての一月間、しかも場所は福岡・宮崎・沖縄。昨年からの夏場のサミット警備に向けて、十分心と体の準備はして乗り込んだつもりだったが、自分の認識の甘さを感じ知らされたのを今でも思い出す。

このような経験の出来た二〇〇〇年という年は、私にとって世間同様「ミレニ

アムだから特別な年」と言うのではなく「警察官として歴史の一端を担えた特別な年」であったのではないかとと思う。

来年は二〇〇一年、いよいよ二十一世紀で

読売巨人軍優勝パレード警備 警視庁機動隊

夢の「ON対決」を制し六年ぶりに日本一を決めた東京読売巨人軍の日本シリーズ優勝パレードが、十一月三日東京銀座で行われ、長嶋茂雄監督や選手らが沿道を埋め尽くしたファン歓声にこたえた。

パレードは大手町の読売新聞本社から日本橋、京橋経由で銀座に入り、銀座八丁目までの三、六キロのコースで行われ、沿道には前回優勝時の二倍を超える三十六万人の人数があった。

警視庁では、パレードに伴う雑踏事故等を防止するために機動隊等警察官二千名を沿道に配置し、警備に当たった。

特に、銀座四丁目交差点周辺は入出が

有珠山噴火災害警備を振り返って 北海道警察機動隊

大自然に恵まれた北海道には常時観測火山が五つあり、その一つに札幌の南方約一〇〇キロに位置し、国立公園の洞爺湖を見下す有珠山がある。有珠山の噴火周期は約三十年とみられ、昭和五十二年八月の噴火以降小康状態を保っていたが、本年三月三十一日に二十三年ぶりに噴火した。

機動隊は三月二十八日から現地入りし、震度四から五弱の地震が継続的に発生する中、危険区域の流動警戒や避難指示に基づく各戸ごとの誘導・確認を主体に活動を実施したが、住民の中には避難に応じようとせず説得に三時間を要する例もあり、まさに生死をかけた使命感と体力勝負による災害警備の幕開けとなった。

噴火後は、それまでの地震がピタリと止まり、替わって警備に当たる隊員を悩ませたのは「火山灰」であった。防塵マスクやゴーグルを着用しても目や喉が痛み、また、数センチ積もった灰はタイヤの溝に貼りつき、まるで氷上での運転同様ブレーキやハ

ある。二十世紀最後に経験できた「特別な年」は、今後の私の警察官人生の大きな支えとなり、また二〇〇一年からの更なる飛躍の糧となることだろう。

集中したが、混雑状況に応じた弾力的な部隊運用と整理誘導を適正に行い、混乱もなく警備を完遂した。



夢のON対決を制し、日本一を決めた東京読売巨人軍の優勝パレード

ンドル操作が効かず、噴石の恐怖とともに、常に危険を感じながらの警備であった。本警備は一四日間という長期であったが一人の犠牲者も出さずとなく所期の目的を達成できた。これもひとえに、多くの方の励ましと、特別派遣の東北、関東、中部各管区機動隊の皆様方のご協力のたまものであり、紙面をお借りしてお礼を申し上げます。今回の警備で得た多くの教訓を基に今後も災害の発生に備えた訓練を継続し、「有事即応」の精強な部隊活動を行っていききたい。



生死をかけた使命感と体力勝負による有珠山噴火災害警備

- 誇りと使命感
充実の機動隊
- 東鋼業(株)
- (株)エース電研
- 栗田工業(株)
- (株)三榮商會
- 山陽特殊製鋼(株)
- (株)スチールセンター
- 杉尾 栄 俊
- 木村 政 次
- 黒田 一
- 光洋商事(株)
- 大同鋼板(株)
- 谷本鉄鋼(株)
- 村上祐隆
- 明鋼材(株)
- 中京製線(株)
- 丸定産業(株)
- 堀口海運(株)
- 中越通運(株)
- (株)機動隊員等を励ます会
- 北海道支部

読者の広場



シルクロードの旅の贈り物



芝本 尚武
(東京本部)

この八月、知人のお誘いで家内ともども中国を訪れました。昨年暮れに続いて同じ顔ぶれで、この夏は、一段と足を延ばしてシルクロードの要衝、蘭州、敦煌、西寧などを回るルートです。

この旅行で忘れることのできないハブニングは、敦煌から蘭州へ移動した時、何ごとにもおんきな家内が、空港に手荷物を置き忘れてしまったことです。気がついたのは、蘭州の空港に着いてから。これには家内の身の回りのものから現金など、旅の必需品が入っていました。すぐに空港関係者が出発地に電話してくれましたが、すでに夜中の十二時近く、当然ながら明日までは分からないとの返事です。中国の奥地で迷子になった荷物など、まず出てくることはあるまいと観念せざるを得ません。

しかし、翌朝も知人の友人達が手を尽くしてくれた甲斐あって、その日の昼時、敦煌空港で手荷物が見つかったとの確認がとれ、半信半疑ながらもまずはホッと胸をなで下ろしました。それまで何となく重苦しく漂っていたものが、急に霧が晴れたように、「乾杯！」の歓声まで上がるムードに一変。

ある程度の不便を我慢して旅行を続けた家内でしたが、ようやく四日目に、上海でバッグと再会したわけです。中身をあらためてみると、なんと現金ほかすべてがそのまま、これには本当にびつ

くりしました。心配してくれた現地の人も、自分のことのように抱き合って喜んでくれました。

反面、我々の内心では、どうせ駄目だろうと、あきらめの気持ちがあったことを恥ずかしく思ったものです。

そして、家内は更に田舎の人達の善意と親切を受けることになりました。蘭州から黄河の流れを横目に見ながら、列車で高度一五〇メートルの西寧に到着したのですが、この時すでに頭痛など身体に変調をきたしており、翌朝には食事も喉に通らない有様でした。懸念していた通り、薄い空気のために軽い高山病になってしまったのです。それでも折角きたのだからと、つい欲張って海拔三三〇〇メートルの峰を越えて青海湖に出かけ、更に体調を悪化させる羽目になってしまいました。

彼女にとつては最悪の気分の中の青海湖でしたが、一段と周近に見える入道雲の下、澄み切った湖水の青さと、湖畔一面の菜の花の鮮やかなコントラストは本当に素晴らしい、心を洗われるような美しさだったと、なによりも印象に残ったようです。

その夜、西寧に戻ってから、現地の人々が手配してくれた病院で、遅い時間にもかかわらず医師や看護婦の親身の手当をいただき、ホテルでも、医師の指示通り自分達の手で点滴を続けたお蔭で、翌朝には気分もよくなり大事に至らずに済みました。

振り返れば、敦煌の莫窟遺跡の威容や本物と見まがうオアシスの蜃気楼、砂漠に落ちる夕陽とゆつくり昇る満月、そして月光のもと、ラクダの背から見た砂丘の稜線の輝きなどの景観は、大陸の圧倒的なスケールの大きさとともに、深い感動を与えてくれました。

しかし、それ以上に私たちの心を打つたものは、中国の奥地に生きる人々の暖かく思いやりに溢れた気持ちと、懸命なもてなしでありました。一年を経ずして三度も訪れた中国ですが、懐の深いこの国が、次はどんな素顔を見せてくれるのか、ひそかに想いを巡らせております。

家康とアダムス



滋岡 長平
(東京本部)

今年もNHKの大河ドラマを欠かさず見て来たが、信長や秀吉の全遺産を引継いだ家康が、如何に政権の拡大と一族の繁栄に執着したかと云ふテーマを、絢爛豪華な舞台で演出しているに過ぎない。劇中、蘭人ヤン・ヨーステンと英人ウイリアム・アダムスが二度ばかり出て来るが、単なる文飾に過ぎず、彼等が家康に与えた影響なども無視して居る。慶長五年(一六〇〇)関ヶ原役前の早春、豊後に二十余名の生き残りをのせた難破船、リーフデ号が漂着した。その情報を大阪で得た家康は急いで航海長のアダムスを招致し、その陳述を詳細に聞いた。彼は三十四才の新教徒で、人柄も良く、科学一般、特に造船、操船技術のみならず、当時の世界情勢に明るく、家康の大きな信頼を得た。関ヶ原役後、直参の旗本として三浦半島に所領を与えられ三浦安針と名乗り、貿易に従事し、帆船も二隻建造、妻帯して二児を得た。元和六年(一六二〇)没、夫妻の墓は現在横浜須賀市に安針塚として残っている。航海長のアダム・ヨーステンも家康に重用され、江戸に邸を与えられ、八重洲町の名を残している。家康は二人が有能な人物であり、英蘭両国が新教国として同盟関係にあることから長崎の北方平戸に、別々の商館を設ける事を許可し、二国との間に通商が始まる。慶長十四年、オランダ東印度会社船二隻が平戸に入港、領事ブルックは駿府で家康に謁し朱印状を受け平戸に商館を置く。アダムスも朱印状を受け商館を設けるが、英船の来航は慶長十八年に

なる。家康没後の遺産総目録には、一箱金二千両入四七〇箱の他、銀、高級織物、香料等莫大な財産が記録されているが、凡て搾取と貿易に依るものであろう。尚、大坂城攻略直前同地の英商館長イートン

が江戸に送った手紙に、「手持の火薬と鉛を全部船で江戸に送る。アダムス氏は今、京阪で百斤四十五匁でも売れない鉛を家康は六十匁で買い上げるから」とあり、また同年十一月、平戸のコックス館長の報告に依れば、家康はカルペリン砲四門とマリーカー砲一門を十四貫目で購入し、鉛一万一千余斤を七貫文で買い上げている。思うに之が冬、夏の大坂の陣で豊臣方を滅亡させた大きな要因であったと思われる。扱てアダムス等を乗せて来た破船リーフデ号は既に、江戸迄運ばれて廃船となったが、元の船名をエラスムス号と云い、その船尾を飾った彼の立像

のみが、関東在の末寺に遺され、維新後発見されて、国立博物館の国宝として、また日蘭修好の遺品として保存されている。デジデリウス・エラスムス(一四六六一一五三六)はロツテルダムに司祭の子として生れ、パリ大学等で神学・科学を修め人文学者として教会の改革を説き、同時代のルターやモアとも親しく交流した、オランダが誇る碩学である。またこの像は発見されたその末寺で貨狄尊者像として崇められて来たと言えられるが、貨狄とは何者が御教示を得たかと思つて

機動隊メッセージ

災害警備について警視庁独自で取り組んでいることや訓練方法、装備資器材があれば教えてください。
高知県警察機動隊より

災害警備について

警視庁第九機動隊

「何時、いかなる時でも出動できるように心の準備を怠らず、被災地の劣悪な条件下でも十分な活動ができるように強靱な体力、気力を養成し、都民の期待に応える。」との認識の下、我々第九機動隊は平素から装備資器材の点検整備、訓練に取り組んでいます。去る九月三日も、「直下型地震の発生により広域的な被害が発生した」との想定で行われた、東京都総合防災訓練(ビックレスキュー東京二〇〇〇)に隊長指揮の三個中隊が参加しました。

当隊は、晴海会場において関係機関と合同して、被害状況の確認から始まる一連の災害訓練を実施しました。想定に基づき、事故車両や倒壊家屋からの負傷者救出訓練、道路障害物の排除訓練などを行いました。なかでも漂流物に掴まった遭難者の救助、高層ビルからの救助訓練においては、それぞれヘリからダイバーの降下、リベリングによる降下など、実践さながらの

訓練を行い、日頃の訓練の成果を遺憾なく発揮することが出来ました。最後に教訓ですが、阪神・淡路大震災当日救援活動に向かった当隊の隊員からの一報は「シャベルなどの手工具類が足りない」というものでした。この要請は災害現場の、特に初期活動においては人力(隊員個々の強靱な体力、高度な技量)に頼らざるをえない、という事を端的に表していると思えます。我々はこの事を念頭に日々の訓練に励んでいます。

最後に、宮城県警察機動隊に質問ですがスポーツクラブ等があれば、その活躍についてお聞かせください。



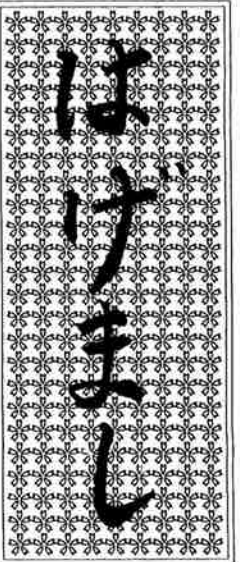
実践さながらの訓練で、ヘリコプターからダイバーが降下

謹賀新年

社団法人 機動隊員等を励ます会 第27回(平成12年度)通常総会懇親会



機動隊員等を励ます会 通常総会



発行所

社団法人 機動隊員等を励ます会
東京都大田区仲六郷4-32-5
〒144-0055
発行人 佐々木 喜朗
TEL 03(3739)0590
購読料 年間1,200円(送料共)
(但し会費の中には購読料を含む)



年頭のご挨拶

警察庁長官

田中 節夫

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
平成十三年の年頭に当たり、機動隊員等に
対して平素から深いご理解と温かいご支援を
賜っております。皆様に対し心から御礼
申し上げます。

昨年、沖縄県、福岡県及び宮崎県におい
て、「九州・沖縄サミット」が開催されまし
たが、多数の国内外の要人が参列したほか、
初めての東京以外での分離開催であることか
ら、過去の経緯では対処し得ない、まさに未
知の警備となりました。沖縄には、全国から
二万人の機動隊員等の特別派遣が行われ、酷
暑期における長期間でしかも過酷な条件下
での困難な警備となりました。

その他にも、「第五十一回国樹植祭」、
「第二十四回国豊かな海づくり大会」、「第五
十五回国民体育大会」等の行幸啓警備警備、
成田空港平行滑走路建設問題に伴う警戒警
備、プーチンロシア連邦大統領、金大中大韓
民主国大統領及び朱鎔基中華人民共和国國務院
総理来日に伴う警戒警備等の大規模かつ重要
な警備が続いたほか、有珠山、三宅島火山噴
火災害及び鳥取西部地震災害等の各種災害警



新年に寄せて

警視總監

野田 健

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
会員の皆様には、輝かしい新年をお迎えの
こととお慶び申し上げます。
また、平素から機動隊の諸活動に深いご理
解と温かいご支援を賜っているところであ
り、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

昨年、警視庁機動隊は、九州・沖縄サミ
ットを始めとし、香淳皇后の大喪儀、故・小淵
前総理合同葬、ロシア大統領、韓国大統領及
び中国國務院総理などの公賓等来日に伴う警
衛警備等、多くの重要な警備に従事した
ほか、三宅島雄山の噴火及び神津島近海にお
ける地震に際して災害警備に従事するなど、
誠に多事多端な一年を過ごしました。そして

同時に、これらの活動を通じて、多くのこと
を学ぶと共に、改めて都民の皆様方の機動隊
に寄せられる熱い期待を痛感いたしました。
さて、新年を迎え、本年の治安情勢を展望
いたしますと、極左暴力集団は、成田問題に

備に従事するなど、厳しい状況下での警備活
動が続いたものであります。

この間、機動隊をはじめ全国警察が一丸と
なっており、これらに対処し、警備を完遂するこ
とができましたのも、ひとえに会員の皆様方か
らの心温まる励ましと御礼申し上げます。

さて、本年の治安を展望してみますと、極
左暴力集団は、引き続き「基地問題」「成田問
題」を闘争の重点に据え、大衆闘争の盛り上
げを図るとともに、悪質なテロ・ゲリラ事件
を引き起こすことが予想されるのであります。

一方右翼は、内外の諸問題に敏感に反応
した活動を展開しており、その主張、目的
を達成するために、テロ等の重大事件を引
き起こすおそれがあるなど、ますます悪質、
先鋭化の一途をたどっております。また、
国際テロ情勢については、イスラム原理主
義過激派等による国際テロの脅威が存在す
るとともに、日本赤軍が、最高幹部の重信
房子が逮捕されたことに伴い、奪還を目的
としたテロを引き起こす可能性を否定でき
ない情勢にあります。

閣下「暫定平行滑走路建設工事」に強く反
発するなど、対決姿勢を一段と強めており、
引き続きテロ・ゲリラ事案を引き起こすこと
が懸念され、これらに対する警戒をいささか
も揺るがせに出来ない情勢にあります。一方、
右翼は、政局の動向や外国要人の来日を捉え
て、政府に対する抗議行動を活発に展開して
おり、こうした行動の中で、政府、政要人
等を狙ったテロ等の違法行為を敢行するこ
とが危惧されます。

また、自然災害等への不安の高まりに加え
昨今の国際組織犯罪の急増、交通死亡事故の
多発等の状況を鑑みますと、本年もまた、治
安をめぐる情勢は誠に厳しいものがあります。
こうした中で、警視庁がその責めを果たし、
都民の期待に十二分に応えていくためには、
何と云っても、「治安の要」となる機動隊の力量
に負うところが、大きいものがあります。すな
わち、今後の警視庁機動隊に求められている

ところで、機動隊は、治安警備活動や災害
警備活動に従事するほか、祭礼や催し物に伴
う雑踏警備、盛り場における集団パトロール、
暴走族の一斉取締りのような市民活動に密着
した活動を行っております。また、複雑、多
様な社会情勢や国民の要請に対応するた
めに、爆発物処理班や銃器対策部隊、水難救
助隊や機動救助隊等の専門的能力を生かし
て、捜査活動、人命救助等様々な警察活動に
従事しており、更に、暴騒音取締りやNBC
(核・生物・化学)テロへの対処等新たな事
象へ対応しているところであります。

このように機動隊は、厳しい治安情勢下
において、いつ、いかなる事態においても迅速
的確に対処し、その責務を全うし、国民の皆
様のご期待に応える決意であります。

会員の皆様方におかれましては、今後とも
全国の機動隊員等に対し、一層のご支援、ご
叱正を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、貴会の益々のご発展と会員の皆
様方のご多幸を心からお祈りして、年頭の接
拶とさせていただきます。

ものは、従来以上に専門性に富んだ集团的機
動警察力として、あらゆる警察事象に的確に
対応していくことであり、新しい世紀を迎え
るにあたり、警視庁機動隊をこのようなプロ
集団とすべく更にその力量に磨きをかけてま
いりたいと考えております。

本年もまた、警視庁機動隊は、「正しく、
強く、朗らかに」を基本理念に、治安維持の
最後の砦たる自覚と誇りを堅持しつつ、常に
都民の視点に立った諸活動を強力に展開し、
必ずや都民の期待に堪えてくれるものと確信
しております。

機動隊員等を励ます会会員の皆様には、今
後とも機動隊員等に対する一層のご理解とご
支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴会の益々のご発展と会員皆様方
のご健勝とご多幸を祈念いたしまして新年の
ご挨拶といたします。

二〇〇一年 励ます会より年頭のご挨拶 本年もよろしくお願い致します



精機動隊員等を励ます会
理事長 佐々木喜朗

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
皆様には、二十一世紀という新しい年のお正月を
清新な気持ちでお迎えのことと拝察いたします。
永らく低迷を続けていた日本経済も、昨年の後半
ぐらいいから、漸く「緩やかな回復」といわれるよう
になりました。個人消費の伸び悩みなど、私共の実
感としては、まだまだ回復とは言えないというのが
偽らざる気持ちであります。一時の危機的な状況か
らは脱したという安堵感を抱けるようになりまし
た。しかし、他方社会全体に眼を投じると、いろ
んな問題が山積していることも大きな懸念材料であ
ります。各界にわたる反倫理的な行動の増加は眼を
蔽うばかりですが、特に次代を担う青少年犯罪の増
加には危機意識を抱かざるをえません。なぜこのよ
うなことになってしまったのか。根底に社会的な価
値観の崩壊と連帯感の喪失が存在することは否定で
きません。

こういふ価値観の喪失時代は社会の連帯と秩序が
破壊されやすい危険な状況にあります。一歩間違え
れば、国の衰亡に繋がる危険も孕んでおります。
日本の社会にとって今重要なのは、社会の秩序
を維持し、混乱の時代を乗り切つて、新たな価値
観の創造と連帯意識の構築に繋げてゆくことであ
ります。機動隊員の皆様が目先の自己鍛錬を通じ
て修得された規律と治安維持への情熱が何にも増
して重要な時代であります。



精機動隊員等を励ます会
相談役 鈴木 實

新年あけましておめでとございます。
二十一世紀の幕が切つて落とされました。新世紀
はどのような時代になるのか、期待と不安が同居し
つつも我々国民は大なる夢と大志を描き、機動隊
員等の皆様には、いつどのような時にも不断の鍛錬
で身につけた状況判断力と応用力をもって、臨んで
行っていただきたいと、切に願う次第です。

新しい世紀を迎え、今まさに世の中の人々の価値
観が転換し、それは我々の暮らしや地球環境や人口動
態について人間一人ひとりの意識・行動を見つめ直
させるに十分な状況を迎えております。
利便さの裏返しとして起こる交通事故やITを利用
した犯罪、青少年の残虐非道な犯罪など、私たち

れば、国の衰亡に繋がる危険も孕んでおります。

日本の社会にとって今重要なのは、社会の秩序
を維持し、混乱の時代を乗り切つて、新たな価値
観の創造と連帯意識の構築に繋げてゆくことであ
ります。機動隊員の皆様が目先の自己鍛錬を通じ
て修得された規律と治安維持への情熱が何にも増
して重要な時代であります。

昨今、一部の人の不心得な行動から警察全体に
対する信用が問われ、メディアあたりから批判の
矢が向けられております。しかし、これまでの治
安国家日本を血と汗で築いた実績は誰もが認める
ところであり、国民全体は警察の真の姿を信頼し
ております。

会員の皆様におかれましては、このような時
ごそ会員同士が手と手を取り合い、日本の秩序、治
安を司る機動隊員等を支えていこうではありませ
んか。

二十一世紀が輝かしい時代となるよう、私たち
「機動隊員等を励ます会」は隊員の皆様と共に歩み
続ける覚悟であります。

誓ひして新年のご挨拶とさせていただきます。

日本人が古来より大切にしてきた価値観や倫理観を
根底から覆されるような事件が繰り返され、そのよ
うな社会に対し、苛立ちや悲しみを覚える毎日であ
ります。

しかしながら、そんな時代の中からも、学問、産
業、医療、芸術、スポーツなど様々な分野で、地道
な努力を続けた結果、世の中の文明に貢献する人が
現れ、我々に未来への期待に満ちた業績を伝えてく
れることは明るいニュースと言えるでしょう。

治安維持の最後の砦として日夜尽力される機動隊
員等の皆様方の国内での活躍には、この新世紀にも
多くの期待が寄せられています。それに相応しい
社会の構成員として我々一人ひとりの意識と行動が
そが重要であることをここに再認識する次第です。
本年もかわらず活躍されることを祈念し、年頭
のご挨拶とさせていただきます。



第20回千葉支部総会

去る十一月十日千葉市ホテ
ルニューカモトにおいて、
第二十回千葉支部総会が開催
された。

当日は、千葉県副知事殿、
千葉県警察本部長殿をはじめ
機動隊員やその他当会委員
が多数参加し、盛大に行わ
れた。はじめに、千葉支部を
代表して菅根支部長が挨拶さ
れ、「九州・沖縄サミット警
備での成田空港警備完遂」善
業様です。海外の表玄関であ
る成田空港を安心して利用で
きるのも、隊員の皆様による
万全な警備のおかげです。
我々は隊員の心の支えになれ
るよう、今後も努力してい
たい。」と述べられた。

つづいて、励ます会佐々木
理事長より「入場の様子、規
律ある態度は頼もしく感じら
れます。成田闘争から二十年
以上経つに首都圏の空港が
完成されていないことは情け
なく思っています。自由主義は如
何なる力にも侵されぬ力であ
るが自由と自由がぶつつかつ
たらどうなるのか、権力と民
衆が協力するものが日本の民主
主義ではなかったかと考えさ
せられる今日この頃です。そ
のような闘争の中、日夜奮闘
される隊員の皆様に対し今後
も我々はさまざまな後援をし
ていきたい。」と挨拶があつた。
その後、菅根支部長より、
千葉県知事代理・島崎副知事
殿が「昭和四十九年から機動
隊を激励、援助し、安全と秩
序の維持を図られていた励ま
す会には感謝しています。警

各地で支部総会盛大に開催!



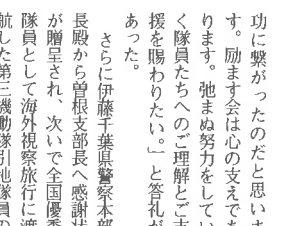
島崎千葉県
副知事殿
副役殿



伊藤千葉県
警察本部長殿

功に繋がったのだと思いま
す。励ます会はこの支えであ
ります。弛まぬ努力をしてい
く隊員たちへのご理解とご支
援を賜わりたい。」と答弁が
あつた。

つづいて、菅根支部長から
御挨拶をされた。御挨拶後、
品が贈呈され、御挨拶後、
より「隊員たちは、九州・沖
縄サミットの苛酷な勤務に文
句も言わずに耐え、「サミッ
ト警備の足を引っ張るな」を
合言葉に、成田の警備も行っ
たことがサミット警備の大成



第27回大阪支部総会

漆間大阪府
警察本部長殿

第二十七回大阪支
部総会が、さる十一月
四日ニューコクサイで
開催された。

大阪府警察本部漆間本部長
殿をはじめ近畿管区警察
局長、大阪府警察本部長の幹部及
び機動隊員約一六〇名、励ま
す会から佐々木理事長をはじめ
担当支部世話人が参加し総
勢二五〇人の盛会となった。
はじめに、大阪支部を代
表して木村支部長より「本年
は年初の日教組四十九次教育
全国集会の警備に始まり、真
夏の九州・沖縄サミットでの
警戒警備と例年にもまして苛
酷な活動であった。その立派
な成果に敬意を表したい。十
月



佐々木理事長による乾杯の音頭

九年前の沖縄返還阻止闘争の
際東京渋谷で殉職した隊員の
民間篤志家による慰霊碑が完
成し、殉職の地で除幕式が行
われたことの紹介があつた。
次に、来賓として漆間本
部長殿が挨拶に立ち、途中へ
の謝辞に続き「紹介のあつた
警備警戒のみならず、交通安
全・ひつたり防止など広範
な活動をしていること、また
柔道、剣道での活躍、全国実
業団駅伝へ初めて参加するこ
となどスポーツでも頑張つて
いること」などお話があつ
た。
更に当大阪支部では、こ
の会を通じて過去に何組もカ
ップルが生まれているので後
続を期待するとエモアを交
えて挨拶された。
つづいて、佐々木理事長
の発言で乾杯し懇親会に入
った。佐々木理事長から乾杯に
際し「新しい世紀を迎えるに
あたり、わが国にとってま
ごとと大切な機軸の維持に努
力をおしなめ機軸の維持に敬
意を表するとともに励ます会
として応援していきたい」旨
激励の言葉があつた。
懇親会では、アトラクシ
ョンとして、ビンゴゲームな
どが行われ、和気あいあいと
した時間を過ごした。
最後に会場全員で声高ら
かに「この世を花にするため
に」を合唱し、深谷副理事長
による万歳三唱で盛大かつ活
気にあふれた大阪支部総会は
無事終了した。

21世紀の幕開けとともに更に躍進する機動隊

全国機動隊長 決意新たに

管区機動隊長

関東管区機動隊連隊長
年頭所感



舟川 靖弘

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
會員の皆様には、平素から深いご理解と温かいご支援を賜り、ここに衷心より厚く御礼を申し上げます。

昨年は、全国警察の総力を結集した「九州・沖縄サミット」首脳会議に伴う「警備」に、私自身が沖縄県警察中部特命警備本部長という大任を命ぜられ、延べ七十五日間に亘り指揮を執らせて頂きましたが、指揮下の部隊員一人ひとりが、「サミットは必ず成功させる。」との強い意気込みと確乎不拔の使命感で取り組んでいただき、任務を完遂することができました。これも偏に沖縄県民の理解と心温かな励みがあったからこそ、隊員も粉骨砕身頑張れたものと確信しております。この場をお借りしまして感謝申し上げます次第であります。

さて、二十一世紀の幕開けの年を迎え、情報通信(IT)革命が本格的に始動する中、サイバーテロの脅威が現実のものとなり、また、二〇〇二年ワールドカップ・サッカー大会では、フリーガンや国際テロといった新たな警備要因への対応が重要視されるなど、我々機動隊も旧態依然の訓練では対処できない治安事象の発生が懸念されることとなります。そこで関東管区機動隊では、訓練の主眼に

「危機管理能力と実戦的訓練の反復実施による事案対処能力の向上」を掲げ、取り組んで参る所存であります。どうぞ、今後とも温かいご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

関東管区機動隊第一大隊長
新世紀を迎えて



小久保 雅史

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年の関東第一大隊は、二月の成田ローテーション警備を皮切りに四月には「北海道の有珠山噴火に伴う災害警備」、六月には「九州・沖縄サミット」警備に、十月には「富山県での国体警備」に文字どおり、北は北海道から南は沖縄と日本国内を縦断し、さらに横断して重要な警備に従事しました。

六月中旬から一か月半余にわたって従事した「九州・沖縄サミット」警備では、極左によるゲリラ事件の発生が必至とみられていた米軍嘉手納基地の東側地区での勤務は、大地を焦がすような酷暑の中、毒ヘビの生息地である湿地帯や果ては草をかき分け、吹き出す汗を拭こうとせず「ゲリラは絶対に起こさせない。ゲリラ犯人は現場検挙する。」という強い信念と旺盛な警戒心を持った隊員一人ひとりのひたむきな努力によって所期の目的を達成することができました。また、「毎日ご苦労様」と言って飲料水等を差し入れてくれた地元住民の方々の暖かい励みが大変な心の支えとなりました。

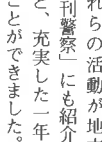
なかでも毎日警らすること顔見知りになった隊員に対して小学校低学年の男の子が

「妹と小遣いを出し合って買ってきた」という「お菓子」の差し入れがあったという報告を受けた時には熱いものがこみ上げたのを今でも忘れることができます。

一方、北海道における有珠山噴火に伴う災害警備では、立ち入り制限区域の警戒に不審な行動をする男性を職務質問したところ、「自殺企図者」であることが判明したことから、思い止まるよう親身になって説得するなど、真摯な対応をしたことが家族からも感謝され、これらの活動が地方紙や「日刊警察」にも紹介されるなど、充実した一年を過ごすことができました。

本年も県内はもとより、県外での特別派遣勤務においても肅々と任務を遂行することが結果的に「警察の信頼回復」の一助となればと考えていますのでご支援のほどよろしくお願い致します。

関東管区機動隊第二大隊長
年頭所感



伊藤 敬

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

励ます会の皆様には、平素、私ども機動隊の活動に対し、深いご理解と心温まるご支援を賜り心から御礼を申し上げます。

昨年の我が関東一大の主だった出動等を紹介しますと、元旦の暴走族対策を皮切りに、鎌倉鶴ヶ丘八幡宮等の初詣警戒、箱根大学駅伝等の交通整理、オウム横浜道場の警戒、両陛下・皇族や政府要人の警衛警護、新東京国際空港警備、九州・沖縄サミット警備、韓国大統領等の外国人の来日に伴う警戒警備、各種右翼対策への従事など多忙を

極めました。隊員一同の旺盛な士気と強い責任感により、その任務を完遂しております。

これらの任務は、時として困難と苦労を伴いましたが、若い隊員達にとってはその一つひとつが貴重な体験となりました。

特にサミット警備では、嘉手納基地周辺の政治的に難しい地域の警戒警備を担当しましたが、当初の心配をよそに、隊員の誠実な勤務態度が地域住民の皆さんに親しまれ、数えきれないほどの賛辞や激励を寄せられることになり、隊員一同市民応援の大切さを再認識するとともに、自分達の職務執行に自信を深める機会となりました。

現代の日まぐるしい社会情勢を反映し、本年も予想を超えた数多くの警察事象が待ち構えていることと推測されますが、全隊員が一丸となって、たゆまぬ訓練とこれまでの経験を活かして信頼される精鋭部隊として「正義の実現」「地域社会の安全確保」に邁進する所存であります。

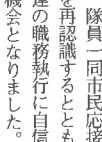
励ます会の皆様には、今後とも一層のご支援ご叱責を賜りますようお願い申し上げます。

走路建設工事の進展に一段と危機感を募らせ、「三里塚闘争と沖縄サミット粉砕は一体」と位置付けた成田現地集會、連続的ゲリラや暫定滑走路建設阻止に向けた一年間決戦への突入宣言等、種々な取り組みを展開し長期の緊張が続いたため、機動隊も日朝国交正常化交渉第十回本会議に伴う右翼警備等、一部を除いては、成田空港警備に終始した一年でありました。

二十一世紀初年の記念すべき本年は、「平穏な年」と願いつつも、成田空港においては、暫定平行滑走路建設をめぐる警備の正念場であり、厳しい情勢になることは必至でありました。

しかし、この時期に、管区機動隊の中心として、汗を流せることは大きな喜びであり、「機動隊は、警察の顔であり、心であり、力である。」を改めて噛み締め、敬天愛人・先髪後案の精神で、隊員とともに熱き思いで心をひとつにして、期待に応えていく決意であります。

関東管区機動隊第四大隊長
機動隊本来の姿



渡部 進

宋えある機動隊に五度目の入隊を果たした。多くの若者と接する機会を得て、心も体もリフレッシュできることは大変うれいことであり、光栄に思っている。

機動隊は警備のプロでなくてはならない。そのためには、訓練に励み、高いレベルの技術の修得に努めなければならないと思う。

有事に際し、組織力をもつて迅速的確に対応できるのが機動隊である。いわば機動隊は、危機管理の中枢部隊であり、警察最後の砦である。

強い部隊とは、苦しい時、辛い時に一つになれるかどうかにある。

長い機動隊生活の中で「共に汗を流し、同じ釜の飯を食べる」という言葉をよく耳にする。

これは、単に同じ職場で一緒に働くと言うことではなく、共に苦しみ、共に悩み、共に泥をかぶり、共に喜び、共に涙を流し、共に苦勞し、そして共に助け合いながら生きることなのです。

これこそ機動隊本来の姿であり、引き続きこの姿勢を受け継いでいかなければならないと思う。

私にとっては昭和四十年代の成田現地闘争、沖縄返還闘争が貴重な経験であり、大切な思い出でもあります。

苦勞した仕事ほど自分の糧となり、苦勞を分かち合った上司、同僚ほど強い絆で結ばれるものである。

私は管区機動隊という組織、仕事、人を厳しく管理するとともに、機動隊本来の姿である仲間意識を育てるため、自ら率先して、上下の隔たりなく、気兼ねなく声をかけ合ったり、話したりすることができるよう奮闘作りに努力したい。

管区機動隊での出動、訓練或いは私生活の中で心の触れ合いを大切に、耐えること、我慢することの重要性を教え、今後、一層社会に適應できる若い隊員を育てることが、我々幹部の務めでもあると思う。

そのためには、若い隊員に苦しいこと、辛いことに正面からぶつかり或いは乗り越えさせることによって、多くの感動を味わわせたい。

関東管区機動隊第五大隊長
年頭所感



比金 卓

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

励ます会の皆様方には、平素からご支援とご協力を賜り、とりわけ「九州・沖縄サミット」警備の出動に際し、温かいご支援と励ましを戴き厚くお礼を申し上げます。

昨年、日本警察の威信をかけた総力を挙げて、「九州・沖縄サミット」警備に取組み、当管機第五大隊(新潟・長野一七九名)も約一か月間沖縄県に出動し、酷暑等厳しい諸条件を克服して所期の目的を達成したほか、成田現地闘争警備に伴う千葉県への特別派遣等数千年振りに貴重な経験をさせて頂きました。

本県では、二〇〇二年に「ワールドカップ」が開催されるほか、警備警備その他警察業務全般にわたる集団警備力の必要性は益々高まる一方であり、機動隊の果たす役割は一層広範多岐にわたってきております。

二十一世紀の新時代を迎え、第五大隊の精鋭「同は」機動隊は、治安維持の最後の砦であることを肝に銘じ、最近の警察を取り巻く厳しい社会情勢を認識して、国民の期待と信頼に応えるため、融和団結を図り、いかなる事態にも迅速的確に対処しうる機動部隊確立と実力の涵養に向け、日々訓練と自己研鑽に努め、治安の闘士として職責を全うする覚悟であります。

終わりに、励ます会の益々のご発展と会員皆様方の一層のご健勝をご祈念いたしまして新年のご挨拶といたします。



磯部 悦藏 磯部 悦藏

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様方には平素から、ご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。昨年は、

・新東京国際空港警備
・九州・沖縄サミット
・警護警備(沖縄)
・朱鎔基中国國務院総理(山梨)
等に従事させて頂きました。

本年も全国警察の有事即応・緊急展開部隊として様々な警備現場へ任務完遂のため勇往邁進する所存でありますのでご指導の程宜しくお願い致します。

一連の警察改革の中で、機動隊の在り方やその運用について検討が加えられているところであります。

我々機動隊員としては、この様な時代ればこそ「眼を大局に注ぎ、今の警察(機動隊)の役割の重大な事に、十分な自覚と自信を持ち、しっかりと腹を据えて感情に煽られず、淡々として、巧みに職務を処理していける様(「警察官諸君に與ふ」より)、常に「喉声前へ」の精神(注:私見)機動隊員としてあらゆる困難をもとめず目的達成への努力と改革・進取の気概を表す)をもつて事に対処し、治安警備の最後の砦としての誇りと使命感を一層心に刻み、歴史と伝統のある「管区機動隊」の灯を隊員共々継承していきたくと思っております。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。



山本 晃久

「北海道有珠山噴火に伴う災害警備」に始まり、「新東京国際空港警備(千葉県)」日本警察の真価が問われた「九州・沖縄サミット」開催に伴う警備(沖縄県)

続いて「全国高校総体体育大会開催に伴う警備(岐阜県)」「国民体育大会開催に伴う警備(富山県)」と息つく暇もない多事多端かつ重要な警備の連続でありましたが、中部管区機動隊全隊員の努力と固い団結で無事任務を完遂することが出来ました。

また、私も三十年振りに中部管区機動隊の一員として連隊長を命ぜられ、中部管区の隊訓である「団結」「情熱」「勇気」が良き伝統・気質として、連隊長として受け継がれており、隊員長として重責と、諸先輩が汗と涙で築き上げてきた輝かしい歴史と伝統に身が引き締まる思いがいたしました。

平素、管区機動隊員は各県各所属において市民の日常生活の安全を守っており、一有朝有事の際には、管区機動隊員として全国に特別派遣されることから、ある面でも二足の草鞋を履いて、職務を全うしているわけですが、その真摯な姿には本当に頭の下がる思いがいたします。

昨今、社会情勢は混沌の度を深め、本年も政治・経済情勢は流動的かつ不安定な状態で推移し、治安を取り巻く情勢も極めて厳しいものが予想されます。

新世紀の幕開けとなる新年を迎え、決意も新たに輝かしい歴史と伝統ある中部管区機動隊に確実に継承することと、常に問題意識を持ち、実態把握に努める中で事前対策を推進して、国民に信頼される逞しい力を備えた中部管区機動隊を隊員と共に力を合わせて作り上げていきたいと考えております。

どうぞ、今後とも温かいご理解とご支援を賜りますようお願い致します。

中部管区機動隊第一大隊長 年頭所感



横山 雄一

昨年は、私にとって文字通り激動の一年でありました。四月に有珠山噴火災害への出動があり、北海道の雄大な光景も噴火の煙と地震に消されがちの中、「いっか、絶対に爆発するなよ」と心に念じての活動でした。

五月は前期訓練入校があり、沖縄サミット警備に向け、爪から汗が出る訓練を実施して、見事な精鋭部隊を作ることができました。

六月・七月は四十二日間という長期のサミット警備があり、いかにこの長い期間、緊張感を持続させるか、もう一つの仕事でもありました。無事任務を終え、真つ黒に日焼けして名古屋空港に到着し、警備部長をはじめとして、出迎えを頂いた方々の顔を見て、何ともいえない安堵感を覚えたものです。

九月には愛知県下に百年に一度と言われる大雨が発生し、甚大な被害の中、生死をかりみず多くの住民を救出・救助するなどの活動は、約一か月間続き、管区機動隊の名を更に高めたのでした。

十月は富山県で開催された秋季国体及び身スポ大会における警備(警備)に従事し、数多くの本部長即賞・警備部長即賞を頂くことができました。こうした数々の現場を経験し、二十一世紀を迎えたわけでありましたが、この時期に在籍できることを誇りに思い、これからも良き伝統を継承することと、平時は紳士であり、有事は武人であれ、並びに「考え警備実施」をモットーに精強な管区機動隊の確立に努めたいと思っております。

このことは管区機動隊にあるべき本質の責務であり、精強な警備部隊としての確固たる基盤の上に警察活動全般にわたる幅広い多目的、多機能の活動を担える力量を養



三宅島の噴火に際し、避難誘導にあたる



竹島 雄司

新年あけましておめでとうございます。励ます会の皆様にはご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、平素は皆様方から物心両面にわたる格別のご支援、ご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、最大課題の九州・沖縄サミットに伴う警戒警備のほか五回の特選による警備・警戒警備や九・一一東海豪雨の災害警備などに従事し、いずれも隊員一同一丸となつてその任務を完遂することが出来ました。

さて、昨今の激動する社会情勢においては想像を超えた事案や重大事案が突発的に発生することが懸念され、これらの情勢に対し警察は迅速的確に対応した活動を展開して国民生活の安全を確保するとともに国民の身近な体感治安の向上をさせなければなりません。

このことは管区機動隊にあるべき本質の責務であり、精強な警備部隊としての確固たる基盤の上に警察活動全般にわたる幅広い多目的、多機能の活動を担える力量を養

い、その真価を發揮できる管区機動隊であることが求められており、管区機動隊は集団警備力としてののみならず一般治安面においても警察活動の中核として期待されるべきところが大きいです。

本年も日々精進を重ねた管区機動隊として練度を高めた、如何なる事態にも屈しない治安維持の中核としての精強な部隊づくりを図り、機動隊は「治安の最後の砦」としての責めを果たす所存であります。

今後とも温かいご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

中部管区機動隊第二大隊長 年頭所感



熊崎 利明

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、国家的行事である「九州・沖縄サミット」開催に伴う警戒警備に従事するため、沖縄県に四十二日間特別派遣されたのをはじめ、有珠山噴火に伴う災害警備出動、富山県で開催の国民体育大会への警備警備出動など、県外出動が十九日間に及ぶ多忙な一年でありました。

さて本年は、二十一世紀に第一歩を印す歴史的な年であり、国内外ともに混沌とした情勢の中、警察にとっては益々困難な時代を迎えることは間違いないと思われ、その意味で、管区機動隊にあっては正に「正念場を迎えんとするところ」と、言えるのであります。

よく、機動隊は「治安の最後の砦」と言われます。それ故我々は、どのような事案に対しても迅速、的確に対応できる部隊を構築する必要があり、

そのためには、一人ひとり隊員が「プロである」という自覚のもと日々精進を重ね、融和・団結して精強で強靱な部隊づくりに寄与することが大切だと思うのです。

全国機動隊員の皆さん、「組織への忠誠」をモットーに頑張りましょう。

中部管区機動隊第四大隊長 年頭所感



永田 薫

新年あけましておめでとうございます。

伝統ある管区機動隊の大隊長を命ぜられてから、早いもので二回目の新年を迎えまして、

昨年は、年初の石川県における日教組第四十九次教育研究全国集会への治安警備出動を皮切りに、第二十六回主要国首脳会議(九州・沖縄サミット)開催に伴う警戒警備、七月下旬の岐阜県における全国高等学校総合体育大会開催に伴う行啓警備警備、十月の富山県における第五十五回国民体育大会秋季大会開催に伴う行啓警備警備及び第三十六回全国身体障害者スポーツ大会開催に伴う行啓警備など重要警備に従事し、部隊として充実した一年を送ることができました。

特に、新千年の幕開けにふさわしい大警備となつた九州・沖縄サミットは、自己完結的な「考える警備」、いわゆる部隊レベルの「自主管理システム」の警備方針のもと、酷暑に耐えうる強靱な部隊づくりを目標に、出動間際までの厳しい訓練の連続や警備計画の策定等に部隊が一丸となつて取り組む、サミットが成功の一翼を担うことができた。

予想を上回る酷暑等、非

常に厳しい警備環境の中で、部隊に考える機会を与え、隊員個々の能力を最大限に引き出したくれたサミット警備は、我々部隊に大きな自信を与え、同時に、今後の部隊活動のあり方そのものを方向付ける試金石でもありました。

このような後世に語り継ぐ大警備に、参加できた喜びと困難を克服し任務を完遂した達成感、充実感を隊員とともに味わうことができた一年でもありました。

一方、部隊訓練では、どのような社会情勢にあつても、一朝有事に備えることが警備部隊の本分であることから、二回目の入校訓練等恵まれた訓練環境の中で、先輩が血と汗と涙で築き上げてきた輝かしい伝統や管魂を継承すべく、「訓練で泣いて実戦で笑え」をモットーに、集団警備力の中核部隊としての練度の向上に着実に成果を挙げることができたと思っております。

さて、本年は二十一世紀の幕開け、世紀の節目の年であり、社会的には予断を許さない厳しい警備情勢が続くことが予想され、また、内部的には警察改革という変革の大きな波を受け、警察を取り巻く現状は非常に厳しいものがあるといえます。

このような中で、管区機動隊には、その部隊特性を活かした迅速かつ的確な部隊運用と全国展開による活動等、多様化された任務がますます求められることとなります。このため、部隊のあるべき姿を常に検証するとともに、日々の努力を怠ることなく、真の主力部隊として、有事に機能する管区機動隊の育成に全力を傾注してまいります。

いと思っております。

近畿管区機動隊連隊長
年頭のごあいさつ



中村 俊彦

新年あけましておめでとうございます。
皆様には、ご家族お揃いで輝かしい二十一世紀の幕開けをお迎えになられたこととお慶び申し上げます。
さて、昨年、日本警察は、我が国で初めて地方分府制された九州・沖縄サミット警備を完遂し、世界に大きく威信を示したところであります。当近畿管区機動隊も九州・沖縄サミット警備をはじめ成田空港警備、富山国体警備等に特別派遣され、各級指揮官や隊員の努力により無事任務を遂行いたしました。

着任以来、間近で入校部隊の厳しい訓練状況を見るにつけ、近畿管区機動隊の連隊長としての責任の重大さを痛感しているところであります。
現在は、「先行き不透明な時代」とも、また「不確実な時代」とも言われており、いつどこで治安の根幹を揺るがすような大規模な事件や災害等が発生するかわからず、予断を許さない情勢にあります。
川路大警視は、警察主眼で「世の安寧を護せん」とする者は、無事の日に於いても有事の日として怠らざるあり」と申されており、平穩な時にこそ、有事に備えるの厳しい訓練が肝要であります。

本年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

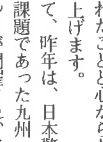
近畿管区機動隊第一大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第二大隊長
年頭所感



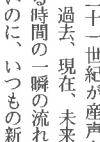
谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

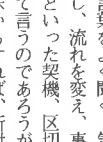
近畿管区機動隊第三大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第四大隊長
年頭所感



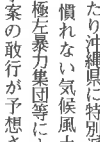
谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

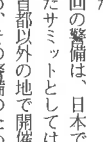
近畿管区機動隊第五大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第六大隊長
年頭所感



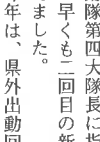
谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

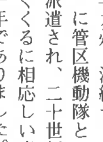
近畿管区機動隊第七大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第八大隊長
年頭所感



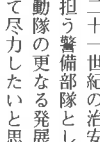
谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

近畿管区機動隊第九大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第十大隊長
年頭所感



谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

近畿管区機動隊第十一大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第十二大隊長
年頭所感



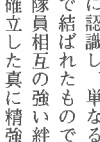
谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

近畿管区機動隊第十三大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう

近畿管区機動隊第十四大隊長
年頭所感



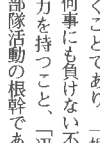
谷内 章

「節目」の年頭にあらたて、「節目」の言葉をよく聞く、気分を一新し、流れを変え、事を起こすといった契機、区切り目として言うのであろうが、その意味からすれば、新世紀の年頭こそは、まさに「節目」とするにふさわしいとも言えるのではないかと。

逆風の中にある現状を思い、逆風を順風にする「節目」の年とするに。
司馬遼太郎の「明治という国家」の一節に「刻々動いていく状況に対応するには、個人の重みです。重みとは、自律、自励、正直と言ふ責任感です」とある。
今求められているのは、そのような姿勢ではないのか。「節目」の年頭に自らを顧みることあるのではと思ったりしている。そして、それらが貴重な体験ともなったサミット警備のような出動や入校訓練等を通じて培われていくことを。

新年あけましておめでとう。過去、現在、未来と連続する時間の一瞬の流れではないのに、いつもの新年とは違った感慨を覚えるのが不思議である。
今年も、部隊員一同、「常在戦場」の心構えで精強な部隊づくりに日々精進し、国民の期待と信頼に応える所存であります。

近畿管区機動隊第十五大隊長
年頭所感



谷内 章

新年あけましておめでとう



松村 秀雄

九州管区機動隊第一大隊長 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。
昨年八月、輝かしき伝統ある九州管区機動隊の第一大隊長を命ぜられました。

着任早々、炎天下での新隊員訓練に始まり、管区警察学校での合同警備訓練、更に岡山での天皇皇后陛下行幸啓に伴う警備警備と、慌ただし過ぎた半年でした。
管区機動隊での勤務は、警備実施の中核部隊として活動するたる編成された昭和四十四年に隊員として勤務以来三十年振りであります。

当時は、極力暴力集団の学生運動が激しく毎日毎日がデモ規制の警備実施でした。特に、九州大学封鎖解除のため警備実施は、九州で初めてあり、本年もこの隊訓にとり、「訓練で泣き実戦で笑え」を合言葉に、致閉結して、日々訓練に励み所期の目的を達成していく覚悟であります。

今年には、沖縄県で開催される第十二回全国どりの愛護のつどい及び熊本県で開催される全国高校生総合体育大会に伴う警備警備をはじめ、各種警備警備が予想されているところであります。また、先行き不透明かつ予断を許さない治安情勢下においては、管区機動隊員一人ひとりの使命感、役割意識の持ち方が、重要な鍵を握っているところであります。

これを踏まえて九州管区機動隊のよき伝統を継承するとともに、「治安の最後の砦」「警備実施のプロ」として、どのような事態にも的確に対応できる「精強な九州管区機動隊」を育成し、国民の期待と信頼に応えていきたいと考えています。



山口 賢次

九州管区機動隊第二大隊長 年頭所感

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。
昨年は、全国警察一丸となつて取り組んだ九州・沖縄サミット警備の任務を完遂することができ、隊員一同大きな自信となり、今後の警察人生に大きな財産を得ることができました。

我が九州管区機動隊第三大隊は、長崎県、佐賀県、福岡県の管区機動隊隊員一六八名で編成され、通常はそれぞれ自県において警備実施、警戒警備、捜査活動、交通取締り等に従事してまいります。

昨年の秋期入校訓練は、残暑厳しく、各種警備技術訓練のため、一か月に亘って幅広い訓練を行いました。厳しい警備訓練を通じ、各

部隊がそれぞれ向上心を持って互いに切磋琢磨し合せて、一人の落伍者もなく警備技能の向上をもちろぬ、部隊間の融和団結を深めることができたと考えています。

今年には、鹿児島県、沖縄県への特別派遣が予定されておりますが、常に如何なる困難な現場においても完璧な警備を行うことをモットーに、今年も効果的な訓練を重ねながら個々の隊員の能力を生かした精強な部隊を育成し、与えられた任務を果たしていきたいと思います。新しいことに挑戦していきます。



桐原 健良

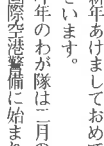
九州管区機動隊第三大隊長 年頭所感

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
会員の皆様には、平素から格別のご支援助を賜り厚くお礼申し上げます。
昨年は、年初の千葉県警察を始め大分県、宮崎県、沖縄県、佐賀県警察への特別派遣と多忙かつ充実した一年であり、ご案内のとおり九州・沖縄サミット警備では、宮崎県から沖縄県へ転進、その所期の目的を達し、隊員一同爽やかな満足感を感じたところでありました。

また、五月と十月の九州管区警察学校の合同警備訓練では、「精強でしなやかな部隊づくり」のため、一枚岩の団結のもとに隊員及び各級指揮官とともに汗と涙を流したものであります。
本年は、いよいよ二十一世紀の幕開けであり、大きく変動する内外情勢を反映して治安情勢も厳しいものがあります。

の期待も大きなものがあります。

在隊二周年を迎え、第三大隊九州四県の隊員の大きく成長する姿に感動し、チームの良き伝統の継承とあるべき姿に発展させ、国民の付託に応えたいと微力ながら決意を新たにしていくところであります。



佐木 勝義

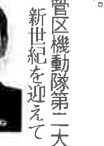
東北管区機動隊第一大隊長 年頭所感

新年あけましておめでとうございます。
昨年のわが隊は二月の新東京国際空港警備に始まり、三月末から半月間にわたる有珠山噴火災害警備、四月中旬からは約一か月間の合同警備訓練、六月中旬からの九州・沖縄サミット警備、さらに十月中旬には朱鎔基中国総理迎護警備(山梨県)と多忙な一年でした。

特に、全国警察の最重要課題であったサミット警備では、沖繩県民の「イチヤリパチョーデー」精神にちなんで、準備への理解と連日による心暖まる激励を受け、隊員の「担当区からはゲリラ等は絶対発生させない」との自己完結の気概に溢れ任務遂行により、今世紀最大の警備の一端を無事果たすことができました。

活動に当たったところであります。

こうして二十一世紀最後の年の幕開けです。国内外とも政治・経済、社会が変化する中で治安情勢は一層厳しさを増し、自然災害を含め予想もつかない事象の発生が懸念されるところであります。また、警察組織の改革、改編の機運もあつて管区機動隊の存在意義や真価が問われる年でもあると考えています。



齋藤 哲

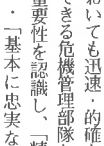
東北管区機動隊第二大隊長 年頭所感

「励ます会」の皆様方には、日頃から機動隊の活動にご理解とご支援を頂きありがとうございます。心から御礼申し上げます。
新年の幕開けに当たり、新世紀の福島、山形、秋田部隊の「東北、天」として使命感を持って任務遂行する所存であります。

昨年、有珠山噴火による災害警備をはじめ九州・沖縄サミット警備、山梨県下への出動など、正に北海道から沖繩まで全国的に活動した年でありました。

に敬意を表します。

さて、本年は、二十一世紀の幕開けです。国内外とも政治・経済、社会が変化する中で治安情勢は一層厳しさを増し、自然災害を含め予想もつかない事象の発生が懸念されるところであります。また、警察組織の改革、改編の機運もあつて管区機動隊の存在意義や真価が問われる年でもあると考えています。



熊原 敏

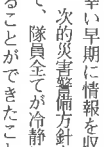
中国管区機動隊第一大隊長 年頭所感

世紀末から新しい二十一世紀という新時代に入った今日においても日常的に報道される強盗・殺人事件、凶悪化する少年犯罪等の人的被害、そして地球規模で頻発する自然災害等、我々を取り巻く社会情勢は、一段と厳しさを増し、グローバル化による不確実性の到来を強く印象付けてきているところである。

このように厳しい状況下において、今、求められている我々管区機動隊の使命とは何かと自問自答する時、真つ先に思い浮かぶ、「重大事案への有即応」と言いかねない「危機対応」ということである。

に基づいたスマートな集団警備力の行使に重点が置かれてきた感がするが、昨今の治安情勢を鑑み、常に十分な諸準備を整える余裕のない事案が多発しているように感じられる。

一例を挙げれば、昨年十月発生した鳥取県西部地震である。私以下、鳥取県下での災害警備訓練を終えた直後の地震発生で、ある意味では信じられないといった気持ちで脳震盪をかめたが、よくよく考えてみれば、災害はいつ発生しても不思議ではないのである。問題なのは、普段からの「危機管理意識」があるか否かの問題であった。



寺元 久郎

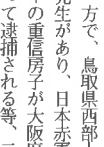
中国管区機動隊第二大隊長 年頭所感

幸い早期に情報を収集し、第一次の災害警備方針を打ち立て、隊員全てが冷静に対処することができたことにより、地元住民の警察に対する信頼を得たところである。
二十一世紀、言うまでもなく混迷の時代である。時代が混迷すればするほど我々は「悲観的に準備し、樂觀的に実施できる」危機管理意識の醸成を図っていく必要がある。そして、この中核を担っているのが我々管区機動隊であるといつても過言ではないと感じている。

「機動隊員等を励ます会」の皆様には、日頃から暖かいご配慮を頂いておりますこと、誠に有難うございます。お陰をもちまして、確かな二十一世紀の幕開けを無事に充実に気持ちで迎えることができました。

でありましたが、警察庁、管区同等のお計らいにより事前の教養、訓練をこれまでに大きく充実させることができ、更に、現地の皆様のお力におおまじにより無事に任務を完遂することができました。それにしてはかたがたにたいへん達成感を隊員とともに味わった夏です。任務を終え帰郷した飛行機の中で、「百戦錬磨、サミット警備で苦労した。」との機長のアナウンスに目頭が熱くなるのを覚えたものです。その後の隊員の充実し、自信に満ちた行動をみるにつけて、「彼らの将来にも良い影響があつたなあ」と一人感慨にふけつております。

一方で、鳥取県西部大地震の発生もあり、日本赤十字社などの被災者支援が大阪府警から支援される等、二十世紀と二十一世紀の間には、単なる時系列の変化のみならず、我々管区機動隊の果たすべき課題に自然たる差異が生じているように感じます。



平賀 文之

四国管区機動隊第一大隊長 年頭所感

これら急激かつ大規模な変化に対応すべく、我々は今日の中国管区機動隊を作り上げた「機敏、融和、忍耐」の合言葉のもと、一人ひとりの隊員が、誇りと使命感を持って活動する組織作りのため、より、現実における訓練を続け、真に精強な管区機動隊の確立に努め、皆様の期待と信頼に応えていきたいと考えています。

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
二十一世紀の幕開けは、昨今の治安情勢と相俟つて、隊員一同引き締まるものがあります。

じまり、香川県のみどりの愛護警備隊、沖縄県でのサミット警備、岡山県での天皇皇后両陛下の地方事情視察に伴う警備等々の重要な警備活動に従事しました。が、厳しい勤務を乗り越え無事その任務を完了することが出来ました。

なかでも、二か月間近くを緊張の連続で従事した沖縄県でのサミット警備は、大隊の隊員にとつて思い出深いものとなったと同時に、今後の警察官人生を送る上で大きな糧となったと感じております。

当隊は部隊名のとおり、徳島・香川・愛媛・高知の四県の警察官で編成されており、拝命同期の者の約半数近くが警備隊員となることから、各県警察の将来を担っていく重要な立場にある警察官であります。それだけに、特別派遣時等の部隊活動では、他府県あるいは全国の警察と連携し、警察活動を体感することで、自県での警察活動に生かせる知識を得ることが大きな収穫ともなっており、青年警察官にとつては尚更に貴重なものでもあります。

不透明感を増す社会情勢下にあつて、改めて管区機動隊と隊員のありようを考へる時、これまで以上に管区機動隊の存在意義を理解し、部隊にあつては、有事に即応できる部隊の確立を目指して全力を傾注すること、そして隊員一人ひとりにあつては、市民生活の身近で執行力のある一人の警察官としての力量を高めること、一人でも多くの市民の期待に応えられる「部隊」として、「警察官」として、その責を果たすことが我々の使命であろうと心新たにすることを期して



山岸 政則

北海道警察機動隊長
新世紀は温かい心と忍耐力でございませう。平素会員の皆様には心温まるご支援をいただき深く感謝申し上げます。次年度も

昨年二月に北海道警備隊大隊長を命ぜられ、新任部隊長としての重責を身もたう感じつつ、ミレニアムという世紀末の年に大きな二つの警備に従事いたしました。

その一つは、「有珠山噴火災害警備」であり、急遽火山活動が活発化し噴火したことから、緊急な部隊投入により地域住民の理解を得て避難・誘導を実施するなど、迅速・的確かつ「忍耐」強い警備活動により人的災害を皆無に抑え任務を遂行したところでありました。

その一つは、「九州・沖縄サミット警備」に約一か月間わたり沖縄県へ特別派遣され、正に「酷暑」から「酷暑」の地への入隊でありました。が、沖縄県民の協力と支えを得て「心の通った」警備措置に徹し世界中が注目した大警備を無事終えたところでありました。

さて、本年から新世紀を迎えることとなるのであります。「国民のための警察」を目指し警察組織も大きな改革を推進中であります。

北海道警備隊は、永き伝統の中で「北の熊部隊」と呼ばれており、北海道に生息する熊(ひぐま)をシンボルとして「逞しさ」と「優しさ」をモットーに部隊活動を展開しております。

今、隊員一人ひとりに求められていることは、日頃の職務執行の中で「国民(道民)が警察に何を求めているか」を敏感に受けとめ、汲み取る

センスが必要な時代であることとをしっかりと自覚していることにあると思ひます。それには「人を思い遣る心」と何事にも揺るがない「力強い精神(忍耐)力」が必要不可欠であります。二十一世紀の初年は、警備隊全員が個々の基本である「心・技・体」の充実を図り諸活動を推進したいと決意しているところでもあります。

本年も、道内においては小噴火の続く北海道駒ヶ岳の警戒をはじめ突発重大災害・事件事故などの発生が懸念されおられますが、我が警備隊はいついかなる事態においても治安維持の最後の砦として自覚と誇りを堅持し、一人ひとりが各種技能の向上に努め、全力を尽くして皆様の期待に応えてまいりたいと思っております。

隊員の気力・体力の維持向上を図つていた。

そのなかの、二月三十一日、北海道の常時観測火山の一つである有珠山が二十三年振りには噴火し、全隊等けて一四一時間にも及ぶ長期かつ過酷な災害警備に取り組みすることとなった。

有珠山噴火災害警備に際しては、気象台の臨時火山情報発表段階から、部隊を大量に現場投入し、あらゆる困難を克服して、住民の避難誘導や避難指し示区域への流入規制等を迅速的確に実施した結果、一人の犠牲者を出すこともなく、災害警備の所期の目的を達成することが出来た。

本災害警備での避難誘導に当たつては、広範囲かつ避難拒否世帯が多い等、任務に従事した隊員の中には、三時間以上もの粘り強い説得によりようやく避難させた例もあつた。激しい地震と地鳴りの中、いつ、どこで噴火するか判らない恐怖を胸中に治めながら、生死をいとわない使命感に満ちた各隊員の地道な活動は今でも忘れられない。

きしくも、世紀末から新世紀を迎える記念すべき時期に伝統と栄光ある機動隊長の重責を担い、私が着任以来「危機管理の徹底」「有事即応体制の確立」を念頭に全隊員が機敏かつ精強な部隊作りを励み、その成果が、有珠山噴火災害警備を始め米空母キティ・ホーク小樽入港警備や日常の爆発物処理事業活動に現われていた。



北海道



森山 誠治

北海道警察機動隊長
二十一世紀の年頭にあたり

世紀末であつた昨年を振り返りますと、北海道警察機動隊では、年頭から、初の地方開催となる九州・沖縄サミット特別派遣警備の任務完了を目標に、激突期における、酷暑訓練等習志を絞り、沖縄の業務執行の中で「国民(道民)が警察に何を求めているか」を敏感に受けとめ、汲み取る

「彼にはいい友人がたくさんいる」。

この評価は大変うれしい。「彼には友人がいない」。

この友人を多く持つことは大切な財産であり、自分の信用の度合いを計る一つのバロメーターとも言われている。

孔子は、良友を持つ楽しさを人生の三つの楽しみの一つに数えている。

その良友とは、

- 直(ちよく) すなわち剛直な人
- 涼(りよう) すなわち誠実な人
- 多聞(たぶん) すなわち教養のある人

と説いている。



サミット警備に向けて耐暑訓練を行う隊員たち

東北



福井 久男

青森県警察機動隊長
友人は人生の伴侶

「彼にはいい友人がたくさんいる」。

この評価は大変うれしい。「彼には友人がいない」。

この友人を多く持つことは大切な財産であり、自分の信用の度合いを計る一つのバロメーターとも言われている。

孔子は、良友を持つ楽しさを人生の三つの楽しみの一つに数えている。

その良友とは、

- 直(ちよく) すなわち剛直な人
- 涼(りよう) すなわち誠実な人
- 多聞(たぶん) すなわち教養のある人

と説いている。

私はこの良友の持つ意味の重要性について、次のように考えている。つまり良友を持つことによつて、自分に何がプラスになるかといへば、それは人のおおの「仁」が増すというのである。この良友の関係を、警察の職務執行に欠かせない連帯意識につなげていくものと思つた。

連帯意識は、人から強制されるものではない。単なる集団の仲間意識でもない。それは警察という社会正義の実現を目指す組織への帰属を通じて、一人ひとりの心の中にこそ自然に形成されるものである。そのためにはだれもが、すばらしい仲間を作らなければならない必要がある。

思いやりがあつて連帯意識の強固な職場は、いかなる困難な事態に直面しようとも一体となつて事に当たると、同僚が困つていようといまはれなくても助け合うといまはれなくても、それが同僚愛でもある。

これまでの部隊活動で、幾度となく危険な場面に立たされた機動隊時代が脳裏によみがえる。そんなとき、心の支えとなつたのがこの「良友」という二文字である。現在、そして今後の人生において、限りなく「良友」のもつ意味を大事にしたいと考えている。

宮城県警察機動隊長
年頭にあたり

昨年は、九州・沖縄サミットにそして日米共同素働訓練に明け暮れた一年でありました。

特に、九州・沖縄サミットは警備計画書の自策策定、機動隊と第一機動隊の編成による連合機動隊として初めての長期派遣と、過去に経験したことのない特別派遣となりましたが、無事乗り切ることができました。

岩手県警察機動隊長
年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

「機動隊員等を励ますこと」の皆様には、平素からのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年は、三月から岩手県下早坂高原における遭難者のスノーモビル(ラビット)隊による救助活動、盛岡西署下

石町への地震発生に伴う警戒出動、北海道有珠山噴火災害特別派遣と前途多難を思わせる慌ただしい幕開けとなりました。

その後は、大きな警備事業もなく九州・沖縄サミット警備特別派遣に向け、連合機動隊の編成・訓練・出動となり、与えられた任務を完遂し、全隊員が元気に帰国できました。

これも、適切な指導をいただきました。沖縄県警と方面本部の警備の方々のおかげであり、心から感謝し、御礼を申し上げます。

昨今、警察刷新会議を受けて、機動隊の削減が論議されておられますが、機動隊は命を賭して国民の生命・身体・財産を守るための最後の砦であることを肝に銘じて、隊員一同、日々訓練に励み、黙々と任務を全うするのみであります。

終わりに、会員及び全国機動隊員皆様方のご健勝ご多幸を祈念申し上げます。

宮城県警察機動隊長
年頭にあたり

昨年は、九州・沖縄サミットにそして日米共同素働訓練に明け暮れた一年でありました。

特に、九州・沖縄サミットは警備計画書の自策策定、機動隊と第一機動隊の編成による連合機動隊として初めての長期派遣と、過去に経験したことのない特別派遣となりましたが、無事乗り切ることができました。

が、大きな成果としての残り、これら成果は本県で今後予定されているみやぎ国体、ワールドカップ警備に必ず役立つ事になると確信しております。

出動、訓練以外の課題として、機動隊の運営、活動内容について論議が出てきておりますが、今後、機動隊として機能別訓練を徹底し、その能力・練度を高め、現場が必要に時に短時間で出動でき、あらゆる事案に的確に対応できる部隊が、これまで以上に求められていることを全隊員が理解しておく必要があります。

今年、みやぎ国体、米軍実弾射撃訓練等があり、多忙を極める年になりそうなので、年当初から計画的な訓練を実施し、本番に備えていくとともに、隊員個々人の実務能力向上に努め、隊員の能力を最大限に発揮させられる部隊育成に最善の努力をしていく決意であります。

秋田県警察機動隊長
平素の励み

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年三月に四回日の機動隊勤務となりましたが、赴任当初から秋田県警も九州・沖縄サミット一色で緊張の中に充ちた日々が懐かしく想われます。二十世紀最後の警備であつた九州・沖縄サミット出動を記念して、警備部長以下全隊員が隊庭に植樹をし、何年後への証を刻みまします。

岩手県警察機動隊長
年頭所感

新年あけましておめでとうございます。

「機動隊員等を励ますこと」の皆様には、平素からのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

昨年は、三月から岩手県下早坂高原における遭難者のスノーモビル(ラビット)隊による救助活動、盛岡西署下

この経験を踏まえて

- 隊員の警備計画策定能力が飛躍的に向上したこと
- 第二機動隊の練度、意識が向上したこと

昨年、幸いなことに他県部隊の応援を求めたような警備事業はありませんでしたが、当県のような小規模県では、全隊員が術科特員であり、特殊部隊員であり、一人



荒川 幹治

秋田県警察機動隊長
平素の励み

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年三月に四回日の機動隊勤務となりましたが、赴任当初から秋田県警も九州・沖縄サミット一色で緊張の中に充ちた日々が懐かしく想われます。二十世紀最後の警備であつた九州・沖縄サミット出動を記念して、警備部長以下全隊員が隊庭に植樹をし、何年後への証を刻みまします。

昨年、幸いなことに他県部隊の応援を求めたような警備事業はありませんでしたが、当県のような小規模県では、全隊員が術科特員であり、特殊部隊員であり、一人

が、大きな成果としての残り、これら成果は本県で今後予定されているみやぎ国体、ワールドカップ警備に必ず役立つ事になると確信しております。

出動、訓練以外の課題として、機動隊の運営、活動内容について論議が出てきておりますが、今後、機動隊として機能別訓練を徹底し、その能力・練度を高め、現場が必要に時に短時間で出動でき、あらゆる事案に的確に対応できる部隊が、これまで以上に求められていることを全隊員が理解しておく必要があります。

で何役も兼務していることから、この平時にこそ集中した訓練をし、他県部隊と比肩できる精強な部隊づくりの為日々の訓練に邁進することを誓っております。

また、本年は第二のオリンピックと言われている「ワールド・ゲームズ二〇〇一年」が当県で開催されるため、不測の事態に備えての訓練、そして、これまでに整備された災害警備等が外観的に徹底しないための習熟訓練を徹底し、どのような出動にも迅速果敢に臨み、目的とするところを完遂する気力と体力の充実に努めております。



山形原警察機動隊長
長瀬 恒夫

一、二〇〇〇年の回顧
二十一世紀を締めくくった昨年は、世紀の大サミットといわれた九州・沖縄サミット警備をはじめとして、数度に及んだ山形大学中核派系学生のデモに対する治安警備出動・水難救助・爆発物処理等に対応する機動隊の出動・その他暴力団・右翼事件の捜査応援等多岐にわたる、十月末現在で一四〇日間に及ぶ各種出動が示すとおり近年になく充実・多忙な一年であった。

二、新世紀における機動隊のあるべき姿を求めた
機動隊は、治安維持の最後の砦であるという位置付けは今も昔も変わりはない。

本県機動隊は、昭和三十六年四月に発足し丁度四十周年の節目を迎えているが、その歴史は昭和四十年代から続いた武装過激派集団の鎮圧等国内治安維持に存分の力を発揮した。今ある日本は、当時流血の現場を果敢に攻め抜いた先輩機動隊員のお陰であるといつても過言ではない。

された折、機動隊として県民から最も求められていないが不足しているものは何かというところを考えると、このままの機動隊でいいのであろうか。

結論は、突発重要事案等に対応する機動隊の充実に尽きると考える。
県の規模もあり、更には採用人員が少ないという困難な条件もあるが、建前を排し精強な機動隊を真に完成させるための元年であることを強く思う年頭である。



福島原警察機動隊長
久保木 義明

新年あけましておめでとう
新たな世紀を迎えた年に、機動隊長として初日に手を合わせることが出来た誇りと喜びを噛み締め、決意を新たにしたいところでありました。

昨年、着任早々有珠山噴火に伴う部隊派遣、九州・沖縄サミット警備に伴い連合機動隊長としての出動、県内において、全国育樹祭警備出動、殺人・強盗等の発生時における隊員の派遣など、正に機動隊の存在感をアピールした年でありました。

こうした中であって、本部長・各部長を囲み盛大に「新隊員歓迎会」を行うことが出来たことや「東北管内剣道大会」一連開催など、隊員の士気旺盛にして感動多き思い出深い年でもありました。

私事ではありますが、隊員から隊長まで全階級在籍させて戴きました。このことから機動隊運営は、時代のすう勢により、その在り方も柔軟且つ、あらゆる警察事案に対応する部隊の育成が求められているものと認識しております。

しかし、いつの時代にあつても機動隊の使命は不変であり、治安の根幹に重要な役割を担っている。今年から本実施の運びとなりました。一例を挙げると、集団機動力を有する多角的運用部隊(特殊小隊)を編成し、第一線の要請により、白バイ部隊による交通対策、パトカー部隊による交通・ひたたり対策、黒バイ部隊によるひたたり対策、覆面パトカーによる各種犯罪の予防検挙活動などに当たるもので、その運用と成果が期待されているところでありました。

当然のことながら、機動隊本来の性格を維持しながら、平素は国民の生活を守る市民警察活動を期待することにしております。各員の皆様に応えてまいります。各員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

警視庁



警視庁第一機動隊長
佐藤 恵一

警視庁第一機動隊長
機動隊の多角的運用元年
二十一世紀の輝かしい新春を寿ぎ謹んで「祝詞を申し上げます。各員の皆様方には、機会ある毎に温かいご支援を戴いておりますことに対しまして、心から厚く御礼を申し上げます。

昨年、全国警察の威信を賭けた警備警察史上空前の九州・沖縄サミット特別派遣警備をはじめ、災害難路など大規模警備が相次ぎ、極めて多忙な一年でありました。新世紀を迎えた今日、世相も大きく変遷し、犯罪の社会では、成人と少年の垣根が低くなり、自己中心的な犯罪者、不良外国人による凶悪な犯罪が多発する中で、国民の警察に対する期待は益々大きくなっております。

当庁では、こうした治安情勢の変化に対処するため、機動隊の多角的運用について一歩試行も含め検討を重ねてまいりましたが、今年から本実施の運びとなりました。一例を挙げると、集団機動力を有する多角的運用部隊(特殊小隊)を編成し、第一線の要請により、白バイ部隊による交通対策、パトカー部隊による交通・ひたたり対策、黒バイ部隊によるひたたり対策、覆面パトカーによる各種犯罪の予防検挙活動などに当たるもので、その運用と成果が期待されているところでありました。

勢の変化に対処するため、機動隊の多角的運用について一歩試行も含め検討を重ねてまいりましたが、今年から本実施の運びとなりました。一例を挙げると、集団機動力を有する多角的運用部隊(特殊小隊)を編成し、第一線の要請により、白バイ部隊による交通対策、パトカー部隊による交通・ひたたり対策、黒バイ部隊によるひたたり対策、覆面パトカーによる各種犯罪の予防検挙活動などに当たるもので、その運用と成果が期待されているところでありました。

当然のことながら、機動隊本来の性格を維持しながら、平素は国民の生活を守る市民警察活動を期待することにしております。各員の皆様に応えてまいります。各員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

警視庁



警視庁第二機動隊長
北嶋 民男

警視庁第二機動隊長
機動隊は創設以来、社会の変化に伴って生じる治安・難路・災害警備等に適時の確に対処し、警備目的を完遂し、多くの成果を挙げてまいりました。そしてここに二十一世紀を迎えるに当たり、新世紀を見据えた機動隊を創出するべく、組織・運用等の根本的見直しに鋭意取り組んでいるのであります。

機動隊の姿勢は、常に「基本が原理原則」であると思っております。この基本を忘れることなく、いつどこでいかなる事態に遭遇しようとも冷静と任務を全うできる、危機管理の万全と的確な指揮命令、そして高い練度を修得した隊員で構成された機動隊でなくてはなりません。

最近の機動隊の活動分野は、従来の警備主体の活動のみならず、ひたたり・重要侵入窃盗の防犯機率、重大交通事故の抑止、環境浄化活動そして地震・噴火等の災害活動等々国民に身近な安全・安心を確保する為の広範多岐な活動に及んでおります。

この時期にあつて、機動隊の組織を支える我々が一致団結し、益々「意気軒昂」として、大いに力量を発揮し、期待に応えるべく邁進努力して参りたいと思っております。

この時期にあつて、機動隊の組織を支える我々が一致団結し、益々「意気軒昂」として、大いに力量を発揮し、期待に応えるべく邁進努力して参りたいと思っております。



警視庁第三機動隊長
山根 節夫

新年あけましておめでとう
機動隊員等を励ます会の皆様には、平素私共のために数々のご激励を戴き、心から感謝申し上げます。

昨年、大方県での全国植樹祭警備、そして、最重要課題でありました九州・沖縄サミット警備をはじめとしまして、災害警備を含めた重要かつ困難な警備が連続するなど、正に世紀末現象といへば可なり多岐な一年でありましたが、お陰様でその任務を完遂することが出来ました。

さて、今年はいよいよ新世紀、政治・経済の構造が大きく変化する中、我が警視庁機動隊にとりましても、大きな改革の年を迎えたわけでありました。

警備のプロとして、日々の警備事象に的確に対応していくのは当然のことですが、その他にも時代の要請として、多発する強盗・国際組織犯罪、少年犯罪や交通問題への対応など、各種警察事象へ

の多角的な運用が求められています。その期待に応えるべく、改革初年の今年、様々な困難が伴うとは思いますが、都民・国民のためにという大きな目標に向かって、限られた人員で最大の効果を発揮できるように全力で取り組んで参りたいと考えております。

そのために、自身を含め、隊員の意識改革に努めるとともに、「力」のみに頼る組織ではなく、知力と柔軟性に富んだ「文武全才」の第三機動隊づくりを目指していく所存です。



警視庁第四機動隊長
倉 勝己

新年あけましておめでとう
励ます会の皆様には、平素から機動隊の活動に深いご理解とご支援を賜り心から御礼申し上げます。

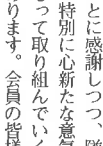
昨年は、九州・沖縄サミット警備をはじめとする各種の治安・難路・災害警備等重要な警備が相次ぎ、まさに警備の年でありました。これら一連の警備に全隊員が一丸となり、無事責務を果たすことが出来ました。

さて、二十一世紀を目前にして警察事象も現在の世相を反映して多種多様化しております。衆観を許さないものがあ

当隊は、昭和四十年代の武装闘争警備において「鬼の四機」という異名を頂いております。先輩が血と汗で築かれたこの心根を大切に、全隊員

が「一丸」となり「治」にいて乱を忘れずの心構えをいかなる事態に直面しても法むことのない精強な部隊づくりに努める決意であります。

また、「人と人の絆」を大切に人間味溢れる機動隊員を目指し、切磋琢磨していく所存であります。



警視庁第五機動隊長
奥野 省吾

新年あけましておめでとう
謹んで新年のお慶を申し上げます。二十一世紀の始まりという記念すべき節目の年に、機動隊員として勤務できることに感謝しつつ、隊員一同、特に心新たに意気込みをもって取り組んでいく所存であります。各員の皆様方にとつても本年が素晴らしい年となりますよう心よりお祈りいたします。

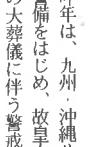
昨年は、九州・沖縄サミット警備を始め各種の重要警備が集中し、多忙な一年でありましたが、一連の警備を完遂することができ、また、その過程で、部隊内の絆が深まるなど大きな収穫が得られ、非常に充実した一年となりました。

本年は年明け早々より機動隊組織の見直しなされ、時代の変化に対応できる柔軟で強力な機動隊となるよう、組織基盤の強化、勤務制度の改革等が行われることとなっております。昨年来より培ってきた力を存分に発揮して、全隊員一丸となって、二十一世紀にふさわしい組織の構築に邁進する所存であります。また、「剛健・優美・協和」の隊訓の下、日々の鍛錬に励み、いかなる状況下でも的確に対応できる強靱な気力・体力と高度な知識・技能の習得に努め、互の五機一強の

五機一強の隊員として、その歴史と伝統をさらに実りあるものにしていきたいと考えております。どうか本年もご支援・ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

五機一強の隊員として、その歴史と伝統をさらに実りあるものにしていきたいと考えております。どうか本年もご支援・ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

新年あけましておめでとう
謹んで新年のお慶を申し上げます。新世紀のスタートという記念すべき節目の年に、機動隊員として勤務できることに感謝しつつ、各員の皆様方にとつても本年が素晴らしい年でありましたよう祈念いたします。



警視庁第六機動隊長
木村 公紀

新年あけましておめでとう
昨年、九州・沖縄サミット警備をはじめ、故皇太后陛下の大葬儀に伴う警備、連続した外国要人の来日に伴う警備、更に、伊豆諸島地震に伴う災害警備などは、近年にない厳しい多忙な日々が続いたのですが、その任務を全うした隊員の顔には、自信と頼もしいが一段と増してきた感があります。また、今世紀最後のオリンピック・シドニー大会のレスリング競技大会において、当隊の永田克彦選手が見事に銀メダルを獲得したことも加え、実りある充実した一年であったと思っております。

今、警視庁機動隊は、二十一世紀の治安情勢を見据え、「広域性・多角性・専門性」の三本柱を兼ね備えた危機管理の中核部隊となるべく、その第一歩を踏み出しました。各種の警備実施はもとより、日々生起する警察事象にも的確に対応できる部隊づくりに性根を込めて取り組んでいく決意です。

本年もどうぞよろしくお願いたします。



川島 久夫

警視庁第七機動隊長
「新世紀の機動隊」発足にあたって
新年あけましておめでとう
ごさいます。
励ます会の皆様には、平素から機動隊の活動に対して、深いご理解とご支援を頂いておりますことに対し、心から感謝を申し上げます。
いよいよ二〇〇一年、新たな二十一世紀に向け隊員一同、心新たに新年を迎えま

時代の遷遷に伴い、社会情勢も、都民の求める警察のあり方も刻々と変化し、これに迅速的確に適応をすべく警備警察のあり方も、その情勢に合った血の滲む努力がその都度なされ着実に進歩してまいりましたが、いかなる時代にも、機動隊の使命は不偏であり、如何なる情勢下にあつても治安に関わる警備現場において「治安の最後の砦」としてその真価を発揮し国民の期待に応えていく義務と責任が有ります。
本年は、昨年、機動隊の集団警備力を維持しつつ、「多角的運用」により、機動隊が警視庁全体の中で、あらゆる治安維持に如何に貢献することが出来るかを目的に「しなやかな組織」に再編され、その試みが一部の機動隊で検討されてきましたがいよいよそれが各隊に導入され、各隊が特徴を持った「新世紀の機動隊」として生まれ変わる、第一歩の記念すべき年であり

何れにしても、警察は、社会の危機的要素に対して、方向と方法を誤ることなく対処し、社会構造の変化、国民の意識の変化を的確に把握し、将来を予測し、正確に対応することが要請されていることを肝に銘じ、如何なる情勢、如何なる要望にも迅速的確に対応できる「正しく、強い新世紀の機動隊」を、如何なる警備にも強い「治安の最後の砦」で、裏は、各種の実務に強い機動隊を目指し、日々の警備と各種訓練に隊員一人丸となって全力を尽くす決意であります。

警視庁第八機動隊長
年頭所感
近藤 志朗
励ます会の皆様には、さわやかな新春をお迎えになられたことと心からお慶び申し上げます。平素は、温かいご支援を賜り厚くお礼申し上げます。
旧年中は、隊員とともに「最強の機動隊」を目指して積極的に各種業務を推進して参りましたが、新世紀を迎え、めまぐるしい社会変化とともに激しい治安情勢の中、益々とした迅速的確な対応が必要不可欠なものになると予想されます。いわば、ハイブリッド的な機動隊(いろいろなことが出来る機動隊)を求められていると言つても過言ではありません。それは、我々の持つ力をより広域的・多角的・専門的に發揮することとに他ならないと考えております。そこで、隊員一同、二十一世紀に相応しい新たな目標設定と積極的な研鑽の積み重ねにより、豊富な知識と高度な技術を習得し、屈強な気力・体力を兼ね備えた「新生機動隊」の確立に全力で取り組んでいく覚悟でございます。



近藤 志朗

「二十一世紀において諸先輩方が血と汗と涙で築き上げてきた歴史と伝統を心にしつかりと刻みつけ、「治安の最後の砦」としての活動を継承し、我々が新世紀の歴史を築いていくという心構えで任務を確実に果たしていきたいと考えております。
隊訓「融和・積極・練成」の下、隊員とともに日々研鑽、努力し、汗を流しながら、大いなる飛躍を目指し、皆様の「ご期待」に応えて参る所存でございます。
どうか本年も一層のご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。
警視庁第九機動隊長
年頭所感
高野 周記
新年あけましておめでとうございます。
昨年九月、九州・沖繩サミット会議に伴う警備を現地沖縄で、そして、帰京後引き続き行われました故皇太后陛下の大葬儀に伴う警備など、重要警備の任務を果たした自信と充実感が満ちた隊員を迎えられ、身の引き締まりを感じながら機動隊員の仲間入りをしました。
二十一世紀を迎え、社会全体が飛躍、発展を願うなかにあつて、地域社会の安全のかけり現象に対し、柔軟に対応できる機動隊の組織再編成・多角的運用は、本年一月からの試行、四月からの本実施と進むことにより、地域安全に密着した機動力豊かな部隊活動が發揮され、その成果が大いに期待されることとあります。
一方、多くの諸先輩が時をかけ、たいへん苦勞により築いてこられた機動隊の歴史は、その基礎である強固な隊員鍛錬の礎と心に刻み、今後



高野 周記

の如何なる警備事象にも的確に対処しうる力を備えた、ふところの深い機動隊であるため、部隊の精進は必然のものとなり、さらには、個々人の精進なくして部隊の精進はありえず、隊員の資質の向上は、隊及び隊員の最大の努力を持つて取り組んでいかねばならない課題でもあります。社会の変化に順応した高い執行力と精強機動隊としての鍛錬を求め続け、都民の信頼に応える第九機動隊として頑張つて参りますので、どうぞよろしくお祈り申し上げます。
警視庁特科車向隊長
年頭所感
今給黎 邦治
謹んで新年のお慶びを申し上げます。
昨年は、着隊早々、中目黒駅で発生した地下鉄日比谷線の脱線事故現場への警備のため大目黒への派遣、三宅島災害派遣警備、九州・沖繩サミット警備、そして夏から秋にかけて続きました外国首脳の来日に伴う警備等、大警備に加えまして、隊員もこれまで経験した事のない特異な事象もありましたが、いずれもその任を果たすことが出来ました。
これも偏に会員の皆様方の温かい励ましをいただいたおかげと深く感謝申し上げます。
二十一世紀を迎えて、社会情勢も大きく変わり、これに対応する警察、とりわけ機動隊も変革を求められ、当隊も「〇〇機動隊でなく、「特科車向隊」という隊名に、かわしい特色を出しながら、都民・国民の皆様のご期待に、いかに応えることが出来るか、そのために、隊の組織の再編成を含めまして専門的技術の向上を図るべく諸対策を推進



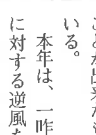
今給黎 邦治

中でございます。
また、警備警察に限らず、平時においては、交通・刑事・生安・地域警備等の仕事も、積極・果敢に対応できる力を隊員一人ひとりに身につけさせ、都民にとりよりの治安維持に万全を期す決意でございますので、今後ともご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。
対応するための「アトミック部隊」の新設、六月・七月九州・沖繩サミット開催に伴う長期特別派遣、十二月、世界酸性雨学会開会式への天皇・皇后両陛下ご臨幸と地方警備のほか、殺人事件および暴走族による集団騒動事件での凶器発見活動(河川・湖沼)、暴力団による対立抗争事件等による警戒警備、海、河川における行方不明者の発見活動等機動隊の出動が度重なり多忙な一年であった。しかし、いずれの現場活動も隊員一人丸となって迅速的確に対応し、県警察機動隊に対する県民の信頼感を高めることが出来たものと自負している。
本年は、一昨年来の警察に対する逆風を完全に払拭し、警察に対する国民の期待と信頼を取り戻すためにも、如何なる事象にも迅速的確に対応し得る強靱な機動隊の確立を目指したいと考えている。そのために、隊訓「誠和、剛」の実践と、「強く、正しく、スマートな隊風」の確立を図るとともに、各種機能別部隊に対する実戦的訓練強化による、知識・技能のレベルアップ等に取り組み、いづれいかなる事態においても、治安維持の最後の砦たる自覚と誇りを堅持しつつ、隊員一人ひとりが常に自己啓発と能力の向上に努め、強靱な組織としての国民の負託に応えてまいりたいと思ひます。
おわりに、隊員一同「励ます会」の一益々の発展と会員皆様方のご健勝・ご多幸を心折念申し上げま



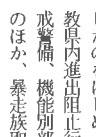
川島 秀夫

「励ます会」の皆様には、ご家族お揃いで輝かしい新年をお迎えになられましたことと、心からお慶び申し上げます。
謹んで新年のお慶びを申し上げます。
「励ます会」の皆様には、平素から機動隊の諸活動に深いご理解をいただき、心温まるご支援を賜つておりますこととに対し心から御礼申し上げます。
さて、記念すべき二〇〇一年、一月早々に一府一県に跨る爆発物事件の爆弾処理でスタートし、多難な年になるだろうとの予感がした。
昨年一年を振り返つてみると、四月一日、原子力災害に



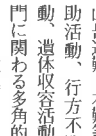
菊池 啓夫

対応するための「アトミック部隊」の新設、六月・七月九州・沖繩サミット開催に伴う長期特別派遣、十二月、世界酸性雨学会開会式への天皇・皇后両陛下ご臨幸と地方警備のほか、殺人事件および暴走族による集団騒動事件での凶器発見活動(河川・湖沼)、暴力団による対立抗争事件等による警戒警備、海、河川における行方不明者の発見活動等機動隊の出動が度重なり多忙な一年であった。しかし、いずれの現場活動も隊員一人丸となって迅速的確に対応し、県警察機動隊に対する県民の信頼感を高めることが出来たものと自負している。
本年は、一昨年来の警察に対する逆風を完全に払拭し、警察に対する国民の期待と信頼を取り戻すためにも、如何なる事象にも迅速的確に対応し得る強靱な機動隊の確立を目指したいと考えている。そのために、隊訓「誠和、剛」の実践と、「強く、正しく、スマートな隊風」の確立を図るとともに、各種機能別部隊に対する実戦的訓練強化による、知識・技能のレベルアップ等に取り組み、いづれいかなる事態においても、治安維持の最後の砦たる自覚と誇りを堅持しつつ、隊員一人ひとりが常に自己啓発と能力の向上に努め、強靱な組織としての国民の負託に応えてまいりたいと思ひます。
おわりに、隊員一同「励ます会」の一益々の発展と会員皆様方のご健勝・ご多幸を心折念申し上げます。
栃木県警察機動隊長
年頭所感
折念申し上げます。
新年あけましておめでとうござい



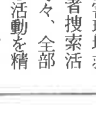
高橋 吉秋

会員の皆様方には、ご家族ともども輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。
昨年、初めての機動隊勤務のため、取組事象が全て新鮮でありました。着任以来、九州・沖繩サミット、特派を正面に見据え、駆け足も満足に出来ない身体に気合を入れ、新隊員と共に各種訓練に取り組み、酷暑の沖繩において、重要な位置を占めた平場滑道警備を無事に完遂することが出来ました。
県内では、天皇皇后両陛下、皇太子妃両殿下の那須御用邸、御料牧場の五度のご静養に伴う警備整備に従事したのをはじめ、オウム真理教県内進出阻止行動に伴う警戒警備、機能別部隊の出動等のほか、暴走族取締り、殺人事件捜査支援等幅広い分野でその任務を完遂することができました。
本年は、二十一世紀の幕開けの年であります。先行き不透明な時代においても、機動隊の使命は不変であり、いかなる情勢においても迅速的確に対応し、部内外から頼られる機動隊となるため、実戦的訓練を反復して集団警備力のアップと機能別部隊の練度を高め、即応性、専門性、機動性を兼ね備えた実力ある機動隊を目指して隊員と共に汗を流したい。
治安の最後の砦は機動隊にあることを自覚し、大きく飛躍したいと思ひます。
群馬県警察機動隊長
年頭所感
謹んで二十一世紀幕開けのお慶びを申し上げます。
会員の皆様には、平素からのご支援、ご協力を心から御礼申し上げます。
昨年、日本警察の威信を



田名部 透

かけた「九州・沖繩サミット警備」に特派部隊として従事させていただきました。沖繩県民の方々からいただいた心温まるご協力は、不慣れな土地で不安を抱えた私どもにとつて大きな心の支えとなり、お陰様で任務を全うすることができました。この貴重な体験と教訓に心から感謝を申し上げます。常に「世のため、人のため」を念頭に、今回のご恩に報いて参りたいと考えております。県内における活動面では、即応体制の確立を図り、例年にも増して、暴走族・夜遊族対策、交通街頭活動、凶悪犯人逮捕、殺人事件現場捜索等の捜査支援活動、山岳遭難、水難支援活動、山岳遭難、行方不明者捜索活動、遺体収容活動等々、全部門に関わる多角的な活動を精力的に推進したことから、極めて多忙な日々を経験させていただきました。また、こうした機動隊の特殊技能を活かした諸活動に対する部内や部外の方々からの「機動隊が良くやってくれた」との賛辞の声を励みとして、活気に満ちた充実した一年でもありました。
本年は、十一月に県内で予定されている「第十六回国民文化祭」に伴う警備整備の完遂はもとより、更なる多角的運用に向けた即応能力の向上に努め、会員の皆様を始め、県民の方々のご期待に十分応えて参りたいと決意を新たにしておりますので、ごさいます。
どうか、会員の皆様には、今後とも一層の心強いご支援、ご協力をよろしくお祈り申し上げます。
埼玉県警察機動隊長
年頭所感
新年あけましておめでとうござい



田名部 透

関東

ロシア・韓国・中国等公賓が次々と来日した



昨今の社会情勢の変化は、目まぐるしく、予想を遙かに越えており、全国各地で凶悪犯罪が後を断ちません。人口負担が全国一高い当県は、機動隊は、来日外国人対策、ひたたり、事件や死亡交通事故防止活動を通じて、「安全で安心なまちづくり」に寄与したいと思えます。

そのためには、隊員一人ひとりが、責任を自覚し、自ら何を成すべきかを考え、能動的に行動することが重要であります。

我々は、緊急出動要請を受け、部隊を派遣しておりますが、準備万端、満を持して出動するケースは、ほとんどありません。

劣悪な状況下にあつて、あらゆる事態に迅速・的確に対処するには、それを補填して余りある練度と気力が、常に要求されます。

そのため、訓練を反復し体で覚えることが不可欠であります。

隊の運営面では、現状維持ではなく、目標をやや高いところに定め、各種技術の向上、体力の増強、昇任試験と、一丸となって取り組もうと思つて。

機動隊が、隊員個々が、大いなる成長を遂げる、辛巳の年となることを願つて。

会員の皆様には、今後とも引き続きご理解をお願いするとともに、一層のご発展をご祈念いたします。



御藤 納 誠

新年あけましておめでとうございませう。

会員の皆様におかれましては、ご家族ともどもすがすがしい新年を迎えられたことと存じます。また、平素から機動隊の活動に深いご理解とご

支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、成田空港をめぐる情勢は、一昨年末に着工しました暫定滑走路工事に關し、これまで反対勢力によるさまざまな妨害行為もなく、二〇〇二年五月の完成、運用に向け順調に進められているところであります。

しかしながら、これら工事の進展に一層の危機感を募らせる極左暴力集団は、「話し合いを無視した暴挙である」として、昨年十月に「二年間決戦」を宣言するなど、対決姿勢をより鮮明にしております。また、実力、武装闘争を主張し、暫定滑走路路肩に方向した連続的なゲリラ攻撃を示唆していることから、引き続き空港関連施設等に対するゲリラ攻撃が懸念されるのであります。

こうした情勢の中、新たに二十一世紀の年頭にあって、あらためて極左暴力集団に対する対決心を持って、精強な警備部隊の育成に努めるとともに、全隊員が心を一つにして、愚忠・愚行を遂行し、我が空港警備隊の任務である「空港の安全確保」に邁進する決意を固めます。おわりに、皆様のご多幸とご発展を心からお祈り申し上げます。

千葉県警察第一機動隊長 年頭所感



高橋 富士夫

新年あけましておめでとうございませう。会員の皆様方には、輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の二月、二度目、三十年振りの機動隊勤務を命ぜられました。当時は七十年安保を控え、学園紛争、反戦運動が盛り上がり、新左翼の高揚期を迎えた時期でありました。その頃の機動隊の任務は、「成田警備」と街頭でのデモ

対策、あるいは大学・高校の封鎖解除などが中心でありました。特に「成田警備」では、第一次代執行、飯炊分、第二次代執行警備が行われ、罵声と怒号、火炎瓶と石が飛び交う、いわゆる「荒れた成田」の時代でありました。

今は情勢が大きく変わり、機動隊の多角的運用が言われるなど、隔世の感があります。が、危機管理部隊としての機動隊の基本的な任務というものは、今も当時もいささかも変わっていないと確信しております。過去の例をみてもわかるように情勢というものは、急に変化することがあるからであります。

機動隊に身を置くものとしては、常にそのことを念頭に置き、「平穏すれ」を戒め、何時、いかなる事態にも的確に対応できるように訓練に励んでいきたいと考えております。おわりに、皆様のご多幸と「発展を心からお祈り申し上げます。

千葉県警察第二機動隊長 年頭所感



河西 喜充

謹んで新年のお慶びを申し上げます。会員の皆様には、平素から心暖まるご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は、成田空港の暫定滑走路建設に伴う警備や九州・沖縄サミット警備など、大きな警備が相次ぎ、機動隊の真価が問われる一年でありました。当隊においても、昨年一月に機動隊長として着任以来「強靱な部隊の育成」と「やり甲斐のある職場づくり」を隊運営の指針とし、これらの警備に全力を尽くしてきたところであります。苦勞も少なからずありましたが、大

変充実感のある一年でありました。本年も成田空港の暫定滑走路工事を中心に、警備情勢は一段と厳しさを増し、また、めまぐるしく変化することも多くなると思われ、我々、隊員一同、心を一つにしてこの難局に立ち向かい、警備の完全を期す覚悟であります。

また、訓練で向き、実戦で笑う」を合言葉に「強靱な部隊づくり」に努め、治安維持の最後の砦としての役割を果たしたいと考えております。今後ともご支援の程宜しくお願ひ申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



麻生 洋

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。励ます会の皆様には、日頃から暖かいご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

昨年中は、八月、第二機動隊に着任以来、若い隊員共々精強な部隊づくりに励んでまいりました。また、十月の成田現地闘争を始め、暫定滑走路建設工事に伴う警備や成田空港関係者及び関係重要施設に対する恒常的な警戒などに全力を尽くしてまいりました。そうした中、運輸省幹部宅に対するゲリラ事件等を敢行するなど成田空港問題は、相変わらず予断を許さない状況が続いており、引続き警戒警備に万全を期していく所存であります。

また、我々機動隊は、成田問題のような事象のほか、社会における様々な危機的状況に即応できる、いわば「危機管理部隊」としての役割が本来あるべき姿であると考えております。その為にも、集団

警備力を養う訓練と同時に、多種多様な治安事象に的確に対応できるよう、層下の広域緊急援助隊、爆発物処理部隊、その他の特殊部隊の各種専門技能を更に錬磨し、真に実力を備え、国民の期待に添える部隊づくりをしていきたいと思っております。

本年も、成田を抱える千葉県の機動隊として「常在戦場」の心構えのもと、隊員一同訓練に訓練を重ね、精強な部隊づくりに邁進していき所存であります。引き続き「指導・鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

神奈川県警察第一機動隊長 年頭所感



中川 國光

記念すべき二十一世紀を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、九州・沖縄サミット警備という日本警察の鼎の軽重を問われた警備が、沖縄現地で行われ、成功裡に終えたところであります。

このため、県民のための機動隊として、警備訓練等で培われた集団警備力と高度な技術・技能というものを、警備現場だけではなく、集約警ら

等街頭活動の場においても、如何なく発揮しなければならぬのであります。しかしながら、機動隊は空発重大事案等危機管理の中核部隊として位置づけられており、このことは発隊以来、昔も変わらぬものでなく、今後も精強な部隊づくりにより励むこととはより、とりわけ当県においては、二〇〇二年ワールドカップ開催に伴うフーリガド対策等新たな治安攪乱要因に対処できる、部隊の練度向上と警備技術の習得が、より必要と感じているところであります。

本年も、警察を取り巻く治安情勢は厳しいものになるとは思いますが、我が第一機動隊の隊訓である

「容儀を正し 規律を守れ」「責任を自覚し 全力を尽くせ」のとおり、全隊員が与えられた任務を自覚して職務に邁進し、そして一朝事あれば県民の期待と信頼に応える機動隊づくりと信じて、新年の挨拶とさせていただきます。

神奈川県警察第二機動隊長 年頭所感



北 律夫

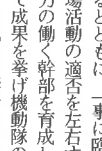
謹んで新年のお慶びを申し上げます。励ます会の皆様には、平素から深いご理解と温かいご支援を賜り心から厚く御礼を申し上げます。

昨年は、二〇〇〇年という節目の年を締めくくるに相応しい九州・沖縄サミット警備、ロシア大統領等各国首脳の前日警備など一連の重要警備が連続してまいりました。また、その一方で有珠山の噴火、伊豆・三宅島の群発地震、鳥取県西部地震など多くの災害が発生しました。これらの警備や災害については、全国警察の真摯な取り組みにより、その目的を達成することができ

たと思えます。さて、近年の警察を取り巻く情勢は、凶悪事件や少年犯罪の増加、サイバーテロ等新たな犯罪の発生、空発的に頻発する災害など大変厳しいものがあります。こうした中、機動隊の根柢的なものは何ら変化はないと思えますが、警察共有の財産として、より一層警察各部門の諸事情に対応していくことが必要であり、昨年来、各種検査対策等多角的な運用を図っているところであります。

今後とも、危機管理部隊の中核として、有事即応性、機動性等を迅速的確に発揮できるように、機能別部隊の高度化、隊員の実務能力の向上を図るとともに、「事に臨んで現場活動の適否を左右する想像力の動く幹部を育成し、仕事で成果を挙げ機動隊の活動を目に見る形で示していきたいと思えます。

新潟県警察機動隊長 年頭所感



田村 誠

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、全国警察を挙げて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」に全国機動隊の皆さんと特別派遣され、共に勤務できたことは今後の活動に向けて大きな自信となるものであります。

さて、昨年の治安情勢は、少年による凶悪犯罪、来日外国人等による組織犯罪、いわゆるハイテク犯罪等の多発、交通死亡事故の増加など極めて厳しいものがありました。本年も引続き予断を許さないものがあります。機動隊に課せられた任務は、申すまでもなく集団警備力による治安の確保であります。最近では集団警備力を必要とする出動は少なく山岳遭

難救助、水難行方不明者の捜索、各種事件捜査支援、交通事故防止等の出動が増加しているのが現状であります。このような現状をみると、我々も意識を変えて時代の流れに今までの以上に柔軟に対応していく必要があると思えます。主体性を維持しつつ他部門の要請に柔軟に対応していくことは、取りも直さず機動隊の存在感を内外に示すと共に隊員自らの実務能力の向上につながるものと考えます。

信頼回復の真只中、新世紀の初年復に機動隊に勤務できることを喜びとし、精一杯努力する所存である。

山梨県警察機動隊長 年頭所感



中島 亮二

今、組織の改革と運営の効率化が叫ばれ、機動隊のあり方もまた議論にさらされている。折しも二十一世紀の幕開けに新たな方向を模索することは我々に与えられた命題である。それは希望に燃えて現職を志した若い隊員のために、もである。さて、かく言う私もこうした時期に業務のスリム化を図り、訓練を重ねつつ、いかなる要請にも応え得る基本の隊運営に戻るべきか、あるいは各方面へ討って出る多角的な運用を選択すべきか明確な判断に迷うが、いずれにしても改革が求められ

ている今、新たな情勢を背景に活動形態も変えてゆく必要がある。そのため、次の二点を運営の理念と考え、年頭の所感としたい。

愛知県警察機動隊長
年頭所感



曾田 清

新年あけましておめでとう
ごさいます。
会員の皆様方におかれましては、「ご家族ともども清々しい新年を迎えられたこと心からお慶び申し上げます。
昨年(西暦二〇〇〇年)問題に始まり、「九州・沖縄サミット」警備、更には「九一・一一東海豪雨災害」への警備活動など多忙な一年でありましたが、それぞれ無事任務を完了することができました。
これも、「精強な部隊の確立」を目指し、日頃から地まぬ訓練を続けてきた賜物であつたと確信しています。
昨今の治安情勢は、ひたひたくりを始めとする路上犯罪が多発するなど、「休感治安」を著しく低下させています。当該隊では「安全・安心の愛知」の実現の一翼を担うべく、「プラスワン活動」として、路上犯罪等の犯罪多発地域へ、継続的に部隊を派遣し、所轄警察署と有機的連携を図りつつ犯罪の抑止・検挙活動にも取り組んでいます。
二十一世紀を迎えた本年も引き続き厳しい情勢が予想され、これまでのような治安警備のみならず、より多角的な活動が求められ、いくことは必ずであります。当該隊として、平素から実戦的な教養・訓練を積み重ね、有事の際に「機敏に動ける隊」の名の如く、あらゆる警察事象に即応できる部隊の育成に尽力していきたいと考えておりますので引き続きご支援を賜りますようお願いいたします。
終わりになりましたが、諸友の皆様方並びにご家族の一層のご健康、ご多幸を祈念申し上げます。



東海地方を襲った集中豪雨の災害警備にあたる

三重県警察機動隊長
年頭にあたり



増地 須佐男

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「機動隊員等」を励ますことへの皆様方への「お健やかに」の御言葉をいただき、誠にありがとうございます。昨年(西暦二〇〇〇年)は、日本警察の最重要課題でありました。九州・沖縄サミット警備に県連合機動隊の責任者として参加させていただきました。南国特有の暑さや肥虫類の出没など、警備環境の悪化の中で一人の落伍者も出さずに無事任務を完了して帰県出来ました。これは一重に感動した機動隊員はもちろんでありますが、後方治安のため県に残った全職員が一つの目的のため努力したお陰であると、感謝している次第であります。また、出動中に経験した事象は将来の財産として今後の仕事に生かされることと思っております。
さて、本年は二十一世紀の幕開けであります。昨年(西暦二〇〇〇年)は北海道有珠山や毛島の火山に発生した集中豪雨等全国各地で自然災害が発生しておられます。災害はいつ何処で発生するか予測もつかない場合が多く、一日発生すると県民に重大な影響が出てしまいます。このようなことから「県民の期待と信頼にこたえる機

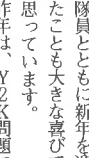
滋賀県警察機動隊長
年頭所感



山田 功

動隊」を目指し、平素からあらゆる事象に対応できる体制を確保する必要があります。その一つとして、アクアラング隊、レンジャー隊等機動別部隊の充実強化が急務であります。今年(西暦二〇〇一年)は、念願の潜水訓練の新設が予定されておられ、実戦的訓練等迅速的確に対応できる体制を確立していきたいと思っております。
最後に二十一世紀の幕開けに相応しい警備部隊の中核として、この機動隊に新たな一頁が残り得るよう奮起努力して「最後の皆」を合言葉にして機動隊のさらなる発展に尽力していきたいと考えております。
さて、本年は、体制や運用面等これまでも増して我々機動隊を取り巻く警備環境は大変厳しいものがあります。先人が「備えあれば憂いなし」と教えてくれたている通り、我々は、いかなる状況下にあつても、長期的展望にたつて治安を守る最後の砦として機動隊の存在意義を高めるための多角的運用と精強な機動隊の育成に向けて機動別部隊の強化に取り組まなければならぬと決意を新たにしております。
本年も皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

京都府警察機動隊長
年頭所感



中嶋 光明

新年あけましておめでとう
ごさいます。
記念すべき二十一世紀の幕開けを迎えられ新世紀に求められるしなかで精強な機動隊づくりに決意を新たにされたことと存じます。また、これからの二十一世紀を担う若い隊員とともに新年を迎えられたことも大きな喜びであると思っております。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、Y2K問題に伴う突発的な事象の警備活動に始まり、一月の総理来県に伴う警備活動、四月のG8環境大臣会合、七月の九州・沖縄サミット、十月の総理来県、十一月の日米共同訓練に伴う警戒警備等に動した他、年末

にかけては多発する交通事故に事象抑止活動の現場にも出動しましたが、何れも隊員の旺盛な士気と固い団結力、強い使命感により無事任務を達成することが出来ました。特に九州・沖縄サミット警備では、多くのことを学び、経験することが出来、若い隊員には大きな自信となったものと思っております。
さて、本年は、体制や運用面等これまでも増して我々機動隊を取り巻く警備環境は大変厳しいものがあります。先人が「備えあれば憂いなし」と教えてくれたている通り、我々は、いかなる状況下にあつても、長期的展望にたつて治安を守る最後の砦として機動隊の存在意義を高めるための多角的運用と精強な機動隊の育成に向けて機動別部隊の強化に取り組まなければならぬと決意を新たにしております。
本年も皆様のご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

一世紀の幕開けであります。将来がバラ色に輝き何かこう胸がわくわくする時代を想像したくなります。しかしながら現実には決してそうではなく、昨年も増して国内外の治安情勢は、多難な年となることが予想されます。この時代を機動隊の一員として勤務できる自らの使命に誇りを感じると同時に、隊訓「限りなき前進と長き伝統を培うため」に
○我ら高き知性を養おう
○我ら使命に情熱を燃やそう
○我ら堅き団結を誇ろう
の旗印の下、「二十一世紀、安全と安心できる京都をめざし」「治安の最後の砦としていかなる事態にも迅速的確に対応できるよう、今後も集団警備力の強化を図りながら、機動別部隊の更なる練度の向上、各種装備器材の充実と活用」に努めたいと思っております。これが我々機動隊員に課せられた仕事の原点であり、究極的には「世のため人のため」になることを確信しております。

新年あけましておめでとう
ごさいます。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、早々に、機動隊としては実に十一年振りとなる「新東京国際空港開港」警備をはじめ、最重要課題である「九州・沖縄サミット」警備の二度にわたる特別派遣のほか、十月には地元で開催された「第一千回全国豊かな海づくり大会」警備活動など多忙な一年でありました。隊員一人ひとりの旺盛なチャレンジ精神と真摯な努力により、各種警備活動や警備訓練では所期の目的を達成できたものと思っております。
さて、本年はいよいよ二十

隊が出動した後の厳しい勤務に臨んで、これを完遂し、サミット警備を縁の下から支えることが出来たと自負しております。本年は、二十一世紀初めの年となり、超高度情報化社会の到来を迎え、我々を取り巻く警察事象もより複雑、より厳しなものとなつていくと予想されます。
我々、機動隊員もこのような情勢に的確に対応していくためには、部隊活動はもとより、これからは、個人の能力も強く要求される考えです。つまり、集団警備力により、治安の維持に当たる「精強な部隊員」であることも、あらゆる警察事象に的確に対応できる「オールマイティな警察官」でなければなりません。このように二十一世紀を迎え、機動隊も大きな変革に臨もうとしておりますが、我々も意気込みを新たに邁進していく所存でありますので、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「励ますこと」会員の皆様方には、平素から格別のご支援、協力を賜り心から感謝申し上げます。
二十一世紀の始まりの年には、平素からのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も皆様方のご期待に応えるべく、全力で職務に邁進する決意であります。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、全国警察が一丸となつて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」も大成功を取め、酷暑をもものとせず警備に当たった全警察官の労苦が報われた。我が第一機動隊にあつては、一部隊員を除いて、後方治安の任務を帯び、部隊が出動した後の大阪での勤務となりましたが、サミット警備に出動した者に負けない心構えで、部

隊が活躍した後の厳しい勤務に臨んで、これを完遂し、サミット警備を縁の下から支えることが出来たと自負しております。本年は、二十一世紀初めの年となり、超高度情報化社会の到来を迎え、我々を取り巻く警察事象もより複雑、より厳しなものとなつていくと予想されます。
我々、機動隊員もこのような情勢に的確に対応していくためには、部隊活動はもとより、これからは、個人の能力も強く要求される考えです。つまり、集団警備力により、治安の維持に当たる「精強な部隊員」であることも、あらゆる警察事象に的確に対応できる「オールマイティな警察官」でなければなりません。このように二十一世紀を迎え、機動隊も大きな変革に臨もうとしておりますが、我々も意気込みを新たに邁進していく所存でありますので、ご支援賜りますよう、お願い申し上げます。

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「励ますこと」会員の皆様方には、平素から格別のご支援、協力を賜り心から感謝申し上げます。
二十一世紀の始まりの年には、平素からのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も皆様方のご期待に応えるべく、全力で職務に邁進する決意であります。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、全国警察が一丸となつて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」も大成功を取め、酷暑をもものとせず警備に当たった全警察官の労苦が報われた。我が第一機動隊にあつては、一部隊員を除いて、後方治安の任務を帯び、部隊が出動した後の大阪での勤務となりましたが、サミット警備に出動した者に負けない心構えで、部

大阪府警察第一機動隊長
年頭所感
前川 清一

大阪府警察第二機動隊長
年頭所感
梅北 勝利

大阪府警察第三機動隊長
年頭所感
小出 則之

兵庫警察機動隊長
「新世紀」を迎えて
花岡 忍

兵庫警察機動隊長
「新世紀」を迎えて
花岡 忍

従来は警備事象のみならず、暴走族の取締り、集団パトロールなど、より国民に身近な存在としてその期待に応えていくことが求められてきていたところでありました。このような流れに対しては、従来の「機動隊」の枠を越えた幅広い知識と能力を備えた隊員の育成にも取り組まねばなりません。
しかしながら一方で、災害など突発的な事象発生時に、危機管理の中核として活動することが期待されている機動隊本来の姿はいつまでも変わることはないものであり、その国民の期待と信頼こそ機動隊員としての誇りであり、我々を支えてくれる力の源泉です。
これらを踏まえ、これからもいかなる突発事象に対応できる組織力と専門性をより一層高め、いくとも、あわせて、時代の流れを先取りし、一人ひとりの隊員が幅広い行動力を身につけた精強な部隊づくりに向けて、最善の努力をしていく決意であります。

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「励ますこと」会員の皆様方には、平素から格別のご支援、協力を賜り心から感謝申し上げます。
二十一世紀の始まりの年には、平素からのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も皆様方のご期待に応えるべく、全力で職務に邁進する決意であります。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、全国警察が一丸となつて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」も大成功を取め、酷暑をもものとせず警備に当たった全警察官の労苦が報われた。我が第一機動隊にあつては、一部隊員を除いて、後方治安の任務を帯び、部隊が出動した後の大阪での勤務となりましたが、サミット警備に出動した者に負けない心構えで、部

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「励ますこと」会員の皆様方には、平素から格別のご支援、協力を賜り心から感謝申し上げます。
二十一世紀の始まりの年には、平素からのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も皆様方のご期待に応えるべく、全力で職務に邁進する決意であります。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、全国警察が一丸となつて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」も大成功を取め、酷暑をもものとせず警備に当たった全警察官の労苦が報われた。我が第一機動隊にあつては、一部隊員を除いて、後方治安の任務を帯び、部隊が出動した後の大阪での勤務となりましたが、サミット警備に出動した者に負けない心構えで、部

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「励ますこと」会員の皆様方には、平素から格別のご支援、協力を賜り心から感謝申し上げます。
二十一世紀の始まりの年には、平素からのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も皆様方のご期待に応えるべく、全力で職務に邁進する決意であります。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、全国警察が一丸となつて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」も大成功を取め、酷暑をもものとせず警備に当たった全警察官の労苦が報われた。我が第一機動隊にあつては、一部隊員を除いて、後方治安の任務を帯び、部隊が出動した後の大阪での勤務となりましたが、サミット警備に出動した者に負けない心構えで、部

新年あけましておめでとう
ごさいます。
「励ますこと」会員の皆様方には、平素から格別のご支援、協力を賜り心から感謝申し上げます。
二十一世紀の始まりの年には、平素からのご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
本年も皆様方のご期待に応えるべく、全力で職務に邁進する決意であります。
昨年(西暦二〇〇〇年)は、全国警察が一丸となつて取り組んだ「九州・沖縄サミット警備」も大成功を取め、酷暑をもものとせず警備に当たった全警察官の労苦が報われた。我が第一機動隊にあつては、一部隊員を除いて、後方治安の任務を帯び、部隊が出動した後の大阪での勤務となりましたが、サミット警備に出動した者に負けない心構えで、部

様々な困難が予想されたため、早い段階から各種訓練と対策に取り組んでこの警備に臨みました。

前段警戒を含め、二度にわたり沖繩出動の機会を得たこと、本番では、主会場近くの配置であったこと、他府県警の警備手法を見ることなどが多かったこと、得るところが多い出動であったと思っております。

さて今年は、新しい世紀の始まり、節目の年でありました。

時代変革、意識多様化の中で、一層強靱な部隊作りを努めたいと考えております。

数年前までは大変な激動期で、機動隊は多忙を極めたものでしたが、近年、社会情勢も変化して、機動隊の活動内容にも様変わりが見られるところであります。しかし、何と言っても機動隊は「集団警備力」であります。

まして最近では、予想しがたいような事案の発生も多々見られます。

したがって、常に厳しい訓練を重ね、体力、気力の充実と部隊練度の向上を図り、あらゆる事象に対応できる力を養成しておかなければならないと思っております。

人事異動等により、年間を通じて多くの隊員が入れ替わらる中で、常に高い練度を維持することは仲々容易なことではありませんが、努めて訓練時間を確保し、訓練を継続して強靱な部隊作りを努め、与えられた機動隊としての責務を、最高の状態で発揮したいと決意を新たにしております。

奈良県警察機動隊長 年頭所感



西村 公平

新年あけましておめでとうございます。

二十世紀の半ばに生まれ、三分の二世紀余り警察で勤務、その間、機動隊に三回、また管区機動隊初代隊長として勤務させていただきました。

隊員「昭和四〇年」の頃は、し尿処理場の建設反対など住民運動に伴う出動が多かった。管区機動隊の時、四十五年問題でほとんど毎日デモ警備、奈良教育大学の封鎖解除等がありました。副隊長「平成二年」の時は、秋篠宮ご成婚奉告の儀警備警備等に伴う重防警備の中、革労協等の皇太子反対集会、デモや中核派の近鉄電車に対する時限発火装置等による放火等が発生しました。昨年、機動隊長を命ぜられ、九州、沖縄サミット警備の特別派遣を除けば、夏祭りの期待旗対策、山岳遭難、各種捜査活動の支援等、機動隊の多角運用時代になっており、時代の流れを感じております。

二十世紀後半は、不透明、不確実、国際化等激動の時代でしたが、随所で機動隊・管区機動隊の活躍があり、多くのことが無事に成就してきました。二十世紀には、これまででもあった「爆発物対策」「バスジャックや立てこもり事件」「大災害警備」等、歴史は繰り返される事案をはじめ、遺伝子組み替えによるクローン動物等新生動物対策、環境ホルモンやオゾン層の影響による新伝染病、ゲーム感覚で横行される各種ハイテク犯罪など形態のわからない事案の発生する世紀になるかも知れません。新しい世紀に、複雑多様化する社会の要請に応えるため、これまでの訓練



中村 佳澄

新年あけましておめでとうございませう。

昨年は、公私とも初めてづくしの年でした。

勤続三十年、警備部だけは縁がなかったのに晴々の霹靂、機動隊長を命ぜられました。

初任科の授業で、学校長が「機動隊は警察の旗本である」と話されたことが思い出され、感動し、心がときめきました。

初陣となったのが九州、沖縄サミット警備。

自前による警備計画の策定や第一機動隊との連合による出動等、機動隊史上初めてつくした警備でありました。

機動隊に設置した「サミット対策室」では、沖縄サミット警備のスローガンになぞらえて「道なき未知を我がらが開く」との言葉を合言葉として臨みました。

不安一杯の初陣でありましたが、一致団結、知恵を出し合って自信もてる警備計画を作り上げ、現場に臨んでは、士気旺盛で規律ある活動を展開し、任務を全うすることができました。

凱旋の美酒の味は格別でありました。

さて、今年は「二十一世紀の初年、大きな節目の年でありませう。

折しも、警察改革要綱が制定され、「改組初年」となる

に加えて、機動隊でなければできない技術の導入をめざした本格的機能別訓練を行い部隊の充実強化を図ってきたい。また、機動隊活動が、県民に「安全と安心を与える」ため「強さと優しさ」をもつて接していきたいと思っております。

和歌山県警察機動隊長 年頭所感

中国

鳥取県警察機動隊長 年頭にあたり



北中 義春

心すべき一点、「広げすぎた屏風は倒れる。」のたとえが、機動隊の本分である「集団警備力」に磨きをかけることを中心に据え、より精強な部隊づくりに努め、警察の旗本として自負できる活動を展開する覚悟であります。

「二十一世紀の新年あけましておめでとうございませう。」

昨年は「九州、沖縄サミット」警備、私達がかつて経験したことのない極めて重大かつ困難な任務でしたが全国警察の総力を結集し見事その目的を達成することができました。酷暑の中、長期の一月でしたが、沖縄県警察、地元の皆様のお力添え、手作りの沖縄料理のモチもなす等々、隅々まで行き届いた心遣いはいつまでも忘れることが出来ません。ありがとうございました。

さて、近年は、警備面においても予想だにしない突発重大事案や大規模災害等の発生が懸念されますが、いづれの事案とも機動隊の集団警備力、専門知識、技能、装備資器材等がますます重要性を増してきます。

「天災は、忘れられた頃にやってくる。」

平成十一年十月六日十三時三十分、震度六、M7.3（鳥取県西部地震）。あの阪神大震災に匹敵する大地震に中国管区広域警備の訓練直後に遭遇しようとは、まさしく天災は「何時、何処で、どの程度の規模で」発生するかわからないと言われざるを得ない言葉の重みを感じ知らされました。昭和十八年の鳥取地震は死者千人以上、阪神大震災では六千人以上の被害であった。今回、その規模を上回ったにもかかわらず死者、火災ともゼロというのはまさに奇跡的であらう。震源地が地盤の堅い山間部、発生時間が昼食後、暖房を使っていない季節、積雪に耐える家屋であったのが幸いしたのではないかと、とは言えない大きな被災には変わりありません。

ついでこの間、噴火や地震の恐怖におびえながら避難生活を余儀なくされている「三島局」の人達の心情が痛いほどよく分かりました。警戒警備の期間中、断続的に続々余震におびえながら、その怖さを身にしみて味わいました。

今回の災害警備には、中国、近畿管区広域警備、中国各県機動隊、中国各県女性警察官（コスモス隊）の精鋭部隊の派遣を頂きました。いつものことながら各部隊とも患難のなか不眠不休に耐え、広範囲な任務ながら指揮官の的確な指揮の下に積極的かつ緻密な運用が行われ、各県警察の垣根を越えた活動に深く感謝を覚えました。

今後とも機動隊の多角的運用はますます増加すると思っておりますが、このことは強固な団結力、一糸乱れぬ部隊活動など、集団警備力の中核である機動隊に期待するところが大きいからであります。

本年も県民の期待と信頼に

鳥取県警察機動隊長 年頭所感



青笹 衛

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は六月までサミット警備の準備が続き、約一か月間、宮崎、沖縄と本番の警備に従事しました。第一機動隊員と県機動隊員の混成部隊であり何かと不安はありましたが、猛暑の中無事任務を果たし、全員健康で帰郷することができました。サミット開催県はもとより、ご指導、ご支援を頂いた関係者の方々に、心から御礼を申し上げます。

さて、「災害は忘れられた頃にやってくる」とよく言いますが、サミット警備も終わりが後片付けも済ませ、柔道道の全国大会に向け特別訓練に励んでいるさなか、折しも当日は「管内広域緊急援助隊合同訓練日」でありました。十月六日午後、時半頃、激しい横揺れに椅子ごと体が移動し、立つこともできず、忘れた頃にやってくる「鳥取県西部地震」の発生でした。震源地は鳥取県西部、鳥根県と背中合わせであり、鳥根県付近では相当の被害が予想され、家の定家屋の倒壊や屋根瓦の落下などが多数発生しましたが、死に至る被害が無かつたことが不幸中の幸いです。移動中の広域緊急援助隊は、そのまま被災地入りしたことは言ってもありませんが、残った隊員も全員被災地に入りました。

「有事即応」、「頼りになる機動隊」、常日頃何となく使ってしまう言葉ですが、現実を目の前にして本当の意味をしみじみと感じております。



柏原 光春

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

昨年は、着任以来、元気深刺とした若い隊員と共に充実した日々を送ることができました。本年も新たな期待を胸に晴々とした気持ちで新年を迎えております。

昨年前半は、「九州、沖縄サミット警備の完遂」を最大目標に掲げ、派遣先の地、風土、気候をはじめ、創意工夫を凝らした訓練に取り組む、また現地の警備では、応援気分を払拭し、自県の警備実施であるとの認識のもとに、任務を遂行しました。また、後半は本県において、天皇皇后両陛下の地方事情ご視察に伴う大規模な警備警備が実施されましたが、警視庁機動隊をはじめ数多くの機動隊員の皆様のご支援を頂き、無事任務を全うすることができました。本紙面をお借りして厚くお礼申し上げます。

この他、水難事故者の捜索や証拠品捜索等のスクーパー出動、暴走族取り締りに伴う警戒、暴走族抗争に伴う活動の強化を目的とした一線警察署への派遣等、各部門から数多くの出動要請を受けましたが、各隊員の積極的かつ真摯な取り組みにより、任務を全うすることができました。

鳥取県警察機動隊長 年頭所感



中岡 格次

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

会員の皆様には、平素から心暖まるご支援とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、五月の西鉄バス被害の広域バスジャック事件に伴う出動、七月の九州、沖縄サミット警備出動、十月の鳥取県西部地震への災害出動、十一月の「第二五〇〇」に伴う皇太子同妃両陛下下り警備出動及び幾多に及ぶ一線署への支援出動等、各種出動において隊員が一糸乱れず、かつ、膨大な装備資器材を使いこなし、任務を遂行して参りました。その諸活動に当たりました隊員のご支援が隊員の士気を鼓舞することとなり、何よりの後ろ盾になっていることを痛感したところであります。

今後、警察を取り巻く状



新年あけましておめでとうございませう。

二十世紀の半ばに生まれ、三分の二世紀余り警察で勤務、その間、機動隊に三回、また管区機動隊初代隊長として勤務させていただきました。

隊員「昭和四〇年」の頃は、し尿処理場の建設反対など住民運動に伴う出動が多かった。管区機動隊の時、四十五年問題でほとんど毎日デモ警備、奈良教育大学の封鎖解除等がありました。副隊長「平成二年」の時は、秋篠宮ご成婚奉告の儀警備警備等に伴う重防警備の中、革労協等の皇太子反対集会、デモや中核派の近鉄電車に対する時限発火装置等による放火等が発生しました。昨年、機動隊長を命ぜられ、九州、沖縄サミット警備の特別派遣を除けば、夏祭りの期待旗対策、山岳遭難、各種捜査活動の支援等、機動隊の多角運用時代になっており、時代の流れを感じております。

二十世紀後半は、不透明、不確実、国際化等激動の時代でしたが、随所で機動隊・管区機動隊の活躍があり、多くのことが無事に成就してきました。二十世紀には、これまででもあった「爆発物対策」「バスジャックや立てこもり事件」「大災害警備」等、歴史は繰り返される事案をはじめ、遺伝子組み替えによるクローン動物等新生動物対策、環境ホルモンやオゾン層の影響による新伝染病、ゲーム感覚で横行される各種ハイテク犯罪など形態のわからない事案の発生する世紀になるかも知れません。新しい世紀に、複雑多様化する社会の要請に応えるため、これまでの訓練

況は、国際的にも国内的にも不安、混沌の要素が多く、困難が予想されるところですが、二十一世紀に向けて「鎌倉・明和・奉仕」をモットーに県民のための機動隊を実現するために日々の訓練に励み、実戦で成果を上げるよう精進していく所存であります。

山口県警察機動隊長
年頭所感



田上 秀雄

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
「機動隊員等を励ます会」の会員皆様方におかれましては、平素から心温まるご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

二十一世紀という新たな世紀の幕開けの記念すべきこの年に、機動隊長として勤務でございますことを心から喜んでいます。

昨年は、例年にはない多くの警備事象があり、中でも全教大警備に伴う右翼対策、暴力団抗争に伴う警戒警備、「バスジャック事件」に伴う出動、「九州・沖縄サミット」警備に伴う特別派遣、「鳥取西部地震」に伴う災害派遣警備、「下関原発公開ヒヤリング」警備等と多岐に亘る警備活動に従事し、全隊員一丸となってその任務を遂行しました。

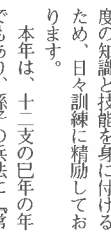
特に、昨年の警備出動で印象深かったことは、特別派遣部隊として「九州・沖縄サミット」警備に従事できたことでした。
本県機動隊は、宮崎外相会合警備と沖縄サミット警備の両警備に従事し、厳しい警備情勢や酷暑の気象条件のもと、「宮崎県民、沖縄県民の心を」と、「宮崎県民、沖縄県民の心を」とを合言葉に、日夜を分たず、ただひたすら与えられた任務

を黙々と遂行している機動隊員の姿が今もこの脳裏から離れません。日本警察の真備を問われる二十世紀最後のこの大警備に山口連合機動隊の大隊長として指揮をとる機会を与えられたことは、生涯忘れられない貴重な体験でした。

最近の警備事象は、社会情勢の変化によりデモ警備等の治安出動が大幅に減少した反面、機動別部隊としての部隊出動が多くなりつつあります。このため、本県機動隊は、集団警備力の中核部隊としての機能だけでなく、大規模災害やレスキュー等の救出救助事業、対銃器・爆発物・ハイジャック・バスジャック等特種事件、有毒ガスなどの突発重大事象等に的確に対応できる機動別部隊としての高度の知識と技能を身に付けるため、日々訓練に精励しております。

本年は、十二支の巳年の年でもあり、孫子の兵法に「常山蛇のごとし」という教義があるように、いかなる警備事象にも、迅速・的確に対応する、しなやかで精強な機動隊とすべく、二十一世紀という新たな時代に相応しい機動隊づくりを若き隊員とともに邁進する決意です。

四国
徳島県警察機動隊長
年頭所感



岡野 喜八郎

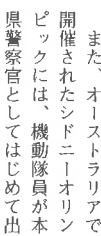
謹んで新年のお慶びを申し上げます。
「励ます会」の皆様には平素から心温まるご支援、ご協力を頂き心から感謝申し上げます。

昨年、例年とは異なる状況の変化に対応するため、機動隊の運用に当たっては、多機能化と多角的運用に留意して、幅広い活動に関する専門的知識、技術の研究と訓練を重ね、力強く、執行力のある隊員を育成し、県民に安全と安心感を与える機動隊づくりに努めたいと考えております。

また、オーストラリアで開催されたシドニーオリンピックには、機動隊員が本県警察官としてはじめて出場するなど、県警察の職員に明るい話題を提供することが出来た年でもありました。

さて、現在は、幕末維新大戦前後に続く三の変革期ともいわれ、今までに経験したことがない事象の発生が予想される等、情勢は大変厳しいものがあります。とりわけ、警察の危機管理の中核部隊としての機動隊に対する期待は計り知れないものがあり、機動隊も時代の要請に応じた新しい姿が求められています。

愛媛県警察機動隊長
年頭所感



客 孝由

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、現在は、幕末維新大戦前後に続く三の変革期ともいわれ、今までに経験したことがない事象の発生が予想される等、情勢は大変厳しいものがあります。とりわけ、警察の危機管理の中核部隊としての機動隊に対する期待は計り知れないものがあり、機動隊も時代の要請に応じた新しい姿が求められています。

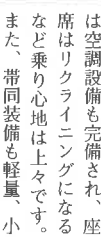
さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

高知県警察機動隊長
年頭所感



川村 紀雄

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

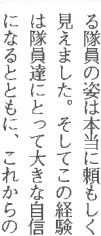
さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

福岡県警察第一機動隊長
年頭所感



村上 正一

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

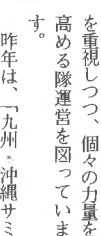
さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

福岡県警察第二機動隊長
年頭所感



中島 春美

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

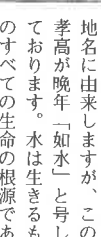
さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

福岡県警察第一機動隊長
年頭所感



村上 正一

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

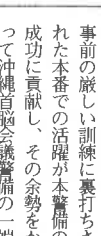
さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

福岡県警察第二機動隊長
年頭所感



中島 春美

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。

さて、本年は「和・明・強」の隊訓のもと「昨日より今日、今日より明日の前進の精神」で、期待される二十一世紀の機動隊を目指し、全力を尽くしたいと思います。



活発な反サミット闘争も完全に阻止

三十年目の追悼

暴動で殉職した機動隊員を私たちは忘れまい

去る十一月十五日、東京・渋谷の繁華街の喧騒を逃れた住宅街、神山町で、一故、新潟県警中村巡査の殉職忌慰碑が建立され、除幕式が挙行された。



故中村巡査の実兄 梅澤 省三さん
中村 秀雄さん

碑建立に至る経緯は、次のようなものである。昭和四十六年十一月十四日の沖繩返還阻止闘争(派員暴動事件)は都心を舞台にした大規模な騒ぎとなり、世に知られているが、当日、新潟県警に所属していた故中村巡査(当時二十一歳)は、関東管区機動隊員として出動



を営む梅澤省三さん(八十二歳)は、その日、店からわずか三メートルほど先で上半身火だるまになった中村巡査の姿を見て、バケツで水をかけて必死の救助に努めたがむなし結果だったとのことである。

歳月の経過とともに事件の記憶が薄れて行く中で、新潟県警の同僚や後輩たちは、研修や出張で上京するたびに、神山町を訪れて供養してきた



黒御影石の簡素な忌慰碑には、新潟県警察機動隊に投稿された、故人をいたむ「星一つ 落ちて都の 寒椿」の句が刻まれている。

機動隊メッセージリレー

宮城県警サッカークラブ

奮闘中!

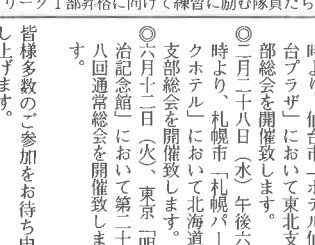
仙台市実業団サッカーリーグに加盟し、現在三部(十二チーム)において奮闘中の宮城県警サッカークラブについて紹介します。

当サッカークラブは、昭和五十二年に発足し、今年で二十三周年を迎え、部員は五十名で、機動隊員を主体とし、仙台市内五署をはじめ十三の警察委員から構成されています。

これまでリーグ一部に加盟していた華やかな時代もありましたが、最近では辛酸を舐める苦しい時代が続き、一昨年はリー

グ四部落ちというリーグのどん底を経験したことによりチーム内に危機感が生まれ、県警の顔として恥をかきたくない試合をしよという決意のもと、強い団結力で昨年は四部で優勝し、今年から一部に昇格しました。

リーグ戦は、四月から十月までの間、土・日・祝日に各チームとも十一試合組まれており、それ以外に他試合の審判もこなすというハードなものであります。



リーグ一部昇格に向けて練習に励む隊員たち

お知らせ

◎一月二十九日(月)午後六時より、仙台市「ホテル仙台プラザ」において東北支部総会を開催致します。

◎二月二十八日(水)午後六時より、札幌市「札幌パークホテル」において北海道支部総会を開催致します。

◎六月十二日(火) 東京「明治記念館」において第二十八回運営総会を開催致します。

皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

読者の広場

携帯電話への負け惜しみ

今井 幹文
(理事・北陸支部長)



近年携帯電話の進歩が著しい。小さく軽くなった携帯電話に、iモードなるメニューが加わり、画像送信等の最新機能が続々と詰め込まれてきている。最長携帯電話のボタンを親指で押すか否かで民族性の違いもありますが、国民的な違いは、もはや携帯電話は日本人の必須アイテムになった感もある。私も早い時期から利用しているが、最初は四六時中追いかけて、遠距離出張以外落ち着かず、遠距離出張以外それが今ではメール利用もあって送受信ともに利用。とどのつまりはいつも携帯を手放さず、といった状況となつてきた。おかげで様々な機能に慣れたけど、どうしてこんな小さなボタンを押し続けて文章を作るといふ作業は、親指であるうが人差し指であろうが、いろいろな指がたい。ところが、如何にも肩がこわばり、頭と手がついてゆかぬ故の負け惜しみではないけれど、一言いわせて貰いたい。手紙がファックスそしてインターネットなどのメールに徐々に置き換わり、今では電話までもが携帯メールに置き換わり

本年もよろしく お願い申し上げます	大内 俊 司	佐々木喜朗	鈴木 実	青山特殊鋼(株)	(株)エース電研	岡 部	関東銑鐵(株)	草野産業(株)	芝本産業(株)	スカイコート(株)	平和農産工業(株)	関西製鋼(株)	共永興業(株)	高島秀一郎	(株)クボタ	橋本尚吾	(株)カノークス
	新日本製鐵(株)名古屋支店	(株)アキノ・タジマ	東海レベラー鋼業(株)	豊田通商(株)	松田鉄鋼(株)	宮崎精鋼(株)	山陽鋼業(株)	内外運輸(株)	鷹鷹シャロウング工業(株)	大川トランスティル(株)	金森藤平商事(株)	藤田金屬(株)	三星金屬工業(株)	自見産業(株)	豊鋼材工業(株)		東北支部

(株)機動隊員等を励ます会

今月の言葉

昨秋、警視庁の方からある機動隊員の鎮魂碑が東京渋谷に完成し、除幕式を執り行うとの案内を頂きました。それは二十九年沖縄返還阻止闘争の警備中、火炎瓶により痛ましくも殉職された若き機動隊員の碑との事でありました。事態に直面し、火だるまになって倒れている隊員の火を消し、救急車を呼んだ精米店のご主人は、この隊員の事がいつまでも心に残っていたそうです。ご主人は、隊員の三十回忌が近づくと鎮魂碑建立の思いが強くなり、その実現に

鎮魂碑建立の除幕式に出席して

当日は、亡くなられた隊員のお兄様や当時の渋谷警察署長をはじめ、多くの関係者が集まりました。また、臨席しておられたご近所の方が、何台もの

の人々の心に残っているのだと感じ入った次第でありました。時の移ろいとともに、この様な街頭闘争は過去のものと思っていた矢先、長らく国外に逃

いる忌々しい事件を思い起こすと同時に、武力闘争による革命を目指す地下組織が、この日本で依然として生き残っていることに、あらためて恐怖を感



(理事・大阪支部長 木村 純)

向け地主や近隣店舗の方々に建立場所の協力を仰ぎ、さらには渋谷警察署員のカンパを得て、十一月十五日の命日に除幕式を迎えるに至ったのであります。

テレビカメラや報道陣を見て何事かと質問する通りがかりの人に、事件当時の様子を詳しく語っていたのを聞き、殉職された隊員の事はいつまでも地元

亡していた日本赤軍最高幹部の重信房子容疑者が潜伏中、大阪府警の手で逮捕されたと言う衝撃のニュースが伝わって参りました。記憶の片隅に残って

じざるをえませんでした。殺伐たるニュースが相次ぎ、安全神話が崩れたと言われるものの、まだまだ平和な国と思っていた私にとりまして、あらためて集団警備の重要性を認識させられたエポックとなりました。新世紀を迎え微力ではありますが、今まで以上に機動隊員の皆を励まして参る決意を、固めた次第であります。

今年も平和であるように・・・ 新世紀 初もうで警備



二〇〇一年いよいよ二十一世紀に突入し、正月三日の神社・仏閣への初もうで客は昨年より六十四万人多い八八七五万人で、一九七四年の調査開始以来、最多だったことが警察庁のまとめでわかった。

さらに、行楽地への人も、五十四万人増の五八五万人であり、中でもやはり新世紀を迎えるカウントダウンイベントには、多くの人々が集まり賑わいをみせた。

そのような混雑を予測して、警視庁では年末年始にかけて初もうで客で賑わう中、七五〇〇人の警察官が都内二九九箇所



初もうで警備にはげむ警察官

で警備に当たり、そのうち機動隊は明治神宮等五箇所において雑踏警備に当たった。

厳しい寒さの中、連日連夜、機動隊員等の懸命の努力により警備を完遂させ、二十一世紀を無事に迎えられたことを感謝したい。

初もうでの人出(単位:万人)

1位	明治神宮 (東京)	326
2位	成田山新勝寺 (千葉)	289
3位	川崎大師 (神奈川)	285
4位	伏見稲荷神社 (京都)	255
5位	住吉大社 (大阪)	243
6位	熱田神宮 (愛知)	217
7位	鶴岡八幡宮 (神奈川)	198
8位	太宰府天満宮 (福岡)	196
9位	大宮氷川神社 (埼玉)	183
10位	浅草寺 (東京)	171

全国の徹底した警備体制で見事に検挙! 初日の出暴走取締り

年末年始における暴走族の富士山に向けての暴走行為、通称「初日の出暴走」は、近年、凶悪化の一途を辿り、爆音を響かせて暴走を行うばかりでなく、強盗・傷害・車両放火事件等を敢行する等治安上看過できない状況となっている。

このため、全国の警察は十二月三十一日から四日間強力な取締りを実施した結果、昨年比べて暴走族の参加人員、参加車両等を減少させ、道交法違反・道路運送車両法違反等で約一五〇〇名を検挙するとともに、うち九十二名を逮捕した。

特に注目されていた山梨県警では十二月三十日から一月四日まで、関東管内七県、延べ七十七名の管区機動隊の特別派遣派遣を得て、一部単発的な小規模集団の走行もみられたが、大規模体制により、暴音・暴走行為の取締りを行った。

徹底した取締りを実施した結果、三十日午後五時から四日午前八時までに三九七台を検問、道路交通法違反等で三十九名を検挙、器物損壊で一名を逮捕した。



真夜中も検問に当たる隊員たち (写真提供: 山梨県警)



〈今月のテーマ〉 巳年隊員の 今年の抱負

21世紀最初の年男・
年女。隊員たちの今年
の意気込みは？



警視庁第一機動隊
白井 俊二

新しい時代、二十一世紀を迎えるにあたり、私の掲げる目標は、男の一生の夢でもある「マイホームを構える」事である。

私の現在の住まいは、東京都中央区にある築三十年近くになる家族寮である。

ここは大変足まわりが良く、先日開通した都営大江戸線の駅まで徒歩で約三分という至近距離にあり、どこへ出掛けるにも大変便利である。都営線のキャッチコピーではないが『ドラえもんのどこでもドア』的な感覚である。

この環境は大変捨て難いのであるが、この住宅は新婚用であり、四人家族で暮らすにはやや狭くなってきている事、建物もリフォームに次ぐリフォームで少々痛みが目立ってきている事等から、そろそろ住み替えの時期が来た様に思うのである。

そこで、新しく広い家族寮に引越すのも一つの手段ではあるが、私も妻も共に埼玉県の出身で通勤圏内に実家がある事や子供の将来を考えると、やはり親元へ引越す事の方がベストの選択だと考える。

私の実家は将来は兄が継ぐ予定であり、私は自分でマイホームを構えるつもりである。

そして新しい時代の節目となる今年、私は人生の節目となるべく新居を購入しようと思う。



警視庁第二機動隊
真木 勇次

私は年男ということで、今年の抱負を述べたい。先ず第一には、大学卒業である。

夜間大学に通うようになってから早四年、卒業を間近に控えて感無量である。

辛いこともあったが、いざ卒業となると今までの学生生活の思い出が、走馬灯のように廻る。

しかしその前には、卒業試験という大きな壁があるので、それを乗り越えなければならぬ。

第二には職場で一人前になることである。

私は一年前に会計係を命ぜられたが、今となっても職場の足手まといでしかない。

その一方で覚えるべきことややらなければならないことが、故郷山形の雪のように積っていく。皆に迷惑をかけるように、一日でも早く頼もしい戦力になりたい。

第三に昇任である。本来、警察社会では最重要の目標であるが、私はあえて三番目にした。私見では、上位の階級は知識と自信の象徴である。知識と自信がある程度身につくまでは、昇任は時期尚早か？とも思っている。

しかし昇任してから実力を付けていく人も多い。前記二つの目標の達成と欲張りではあるが、昇任試験合格を目指す。

しかし、あまり無謀な目標設定をせずに、一つひとつをクリアしていこうと考えている。

最後に、厄年を迎えた今、私は自らの安全と健康管理についても、特段の留意を払わなければならない。

しかし「断じて行えば鬼神もこれを避く」ともいう。私は災厄も逃げ去る勢いで目標達成に取り組みたい。



警視庁第三機動隊
西谷 信之輔

新世紀を迎えた本年は、私が二十四歳になる年です。そう、私は巳年生まれの年男なのです。「いつの間にかこんな年になったんだなあ」と、最近になって気が付きました。これを機会に今までの経験や失敗などを反省教訓にして、私にとって新たな気持ちでさらに飛躍するチャンスにするため、目標をしっかりと立て、有意義に一步、一歩確実に歩んでいこうと思います。

今年の私の目標は、「何事にも自信と自覚をもって行動する。」ということですが、まず「自信」についてですが、職場では時が経つにつれて、確実に後輩ができてきます。先輩は、後輩に様々なことを、その都度適切に教えていかなければなりません。人に物事を教えるという事は、自分にある程度の自信と知識がないと出来るものではありません。私も、昨年春に着隊したのですが、その半年後の秋には新隊員が着隊し、私も先輩になりました。ある警備現場で、自信のなさから後輩に、中途半端な指導を行ったことから大事故につながりかねない失敗をしました。その時のやるせない、情けない気持ちは、二度と味わいたくありませんし、後輩に失敗させるわけにもいきません。あらゆることに積極的にチャレンジし、自信を持って教えられる実力を身につけていこうと思います。

二番目の「自覚」についてですが、我々は、常に警察職員としての自覚を持ち「警察職務倫理の基本」を実践すべきですが一連の不祥事により、都民の理解と協力が得られないばかりか信頼をも失ってしまったこと、さらには組織全体や先輩、上司にまで多くの迷惑をかけることになってしまったことを目の当たりにしました。我々警察官は「警察官である前に社会人としての自覚を持った行動をとり、また、ひとたび事に当たるときには、

誠心誠意、真剣に取り組みなければならない」とつくづく感じました。

私は、新世紀最初の年男として、この二点を目標として掲げ、惜しみない努力をしていこうと決意しました。



警視庁第四機動隊
西川 和美

記念すべき二十一世紀の幕開けを年女で迎えることができ、本年は、いろいろな事に挑戦する意欲が湧いてきました。

幼い頃からの憧れだった警察官になり、はじめは理想と現実の相違に戸惑いながら、暗中模索していましたが、やっと自分の目指すものがはつきり見えてきました。私が機動隊を希望した理由は、警備について熟知したいと思ったからです。巳年が飛躍の年になるように、年女の意気込みを述べたいと思います。

第一に、昨年、剣道の本部特練という貴重な経験をさせていただき学んだことを活かしていきます。なかでも「目的意識を持つこと」は自分を成長させる近道だと実感しました。これから剣道から多くの事を学ぶため、道場へ足を運び、自己の精神と体力の練磨に努めていきます。

第二に、限られた在隊期間中に、「各種資格の取得」に力を入れていきます。自分で限界を作るのではなく、限界を感じさせない勢いを持って取り組んでいきます。

第三に、「継続は力なり」を実行します。これは、自分に負けない事だと思ふので、甘えを捨て、途中で諦めることはせずに全力で取り組んでいきます。

以上、私の抱負を述べましたが、今年だからできる事が必ずあるはずですから、それを見逃さず、意欲の沸点が高潮のまま継続させていきたいです。

よく巳年の女は「しつこい」と言われますが、「質濃く」と何事も正確に粘り強く取り組んでいく所存です。



警視庁第五機動隊
熊倉 健司

私は今年で二十四歳の年男です。まづ今年の抱負を語る前に昨年の反省点を挙げたいと思います。

昨年の反省は何といつても昇任試験に臨む勉強不足でした。初挑戦の昇任試験の結果は散々たるもので、一次試験も通過できず、自己採点の点数もここで公表するのも恥ずかしいものでした。この点を踏まえて、今年の抱負は「昇任試験絶対合格」これ以外にはありません。

顧みれば昨年のはじめ、五月に実施される昇任試験に向けて勉強を始めたところ、「まだ何か月もある」と考えているうちに「もう何か月しかない」と気持ちが変わっていき、段々とあきらめの気持ちが強くなっていったのです。結局、中途半端な気持ちで臨んだ試験に結果がついてくるはずもなく、優秀な先輩たちが、昇任配置となり笑顔で退隊していく姿に悔しい思いをしたものです。

昨年の反省を踏まえ、今年は年頭から昇任試験に向けて計画的に毎日コツコツと勉強を継続していく覚悟です。中途半端な気持ちではなく、最後の一日まで全力で昇任試験に臨み、二十一世紀の初めの年を最高の年にしたいと思います。そして、試験が無事終了したならば、生涯の伴侶となる女性を見つけたしたいと思います。



警視庁第六機動隊
鈴木 克彰

第六機動隊に昨年の十月に警察学校から卒業配置となり、毎日緊張で身が引き締まる思いです。二〇〇一年という記念すべき新世紀の初めを機動隊員として迎えることができ、本当に光栄に思っています。

私は現在、第六機動隊で勤務しながら伝統ある警視庁レスリングクラブ員に所属しています。

私にとって二〇〇一年の目標は、昨年のシドニーオリンピックで銀メダルに輝いた永田先輩のように、世界に大きく飛躍する人間になることです。永田先輩は、毎日の地道な訓練と努力の積み重ねで警視庁機動隊員の底力を世界に示してくれました。私もこれに追いつけ、追い越せる精神で訓練を重ねています。やがては世界へ大きく羽ばたき、警視庁機動隊員の名をもっともつと世界中に広めたいと思っています。これを、単なる目標で終わらせないよう、必ず実現させるという心意気で毎日を励んでいく覚悟です。



警視庁第七機動隊 佐々木 秀彰

私は今年二十四歳、年男になりました。機動隊勤務も着隊から一年半となり、仕事においても寮生活においても大変充実した日々を送っています。そして二十一世紀最初の年男になった今年、更に充実した機動隊生活を送るため次の目標に向けて頑張っていきたいと思っています。

第一の目標として「各種資格の取得」です。私は現在、水難救助隊員として活動しており、水難救助技能初級・水上安全法初級の資格を取得しております。今年、更に潜水士資格と水難救助技能検定中級位を取得し、中隊の中で活躍できるよう努力をしていこうと思います。また水難以外では、前任署で取得した警備無線初級の資格を無駄にせず、是非とも今年中に中級位を取得できるように自己の技能を高めていきたいと思っています。そして一つひとつ確実に資格を取得し、大きな目標であるスパーポリスオフィサーに認定されるようになりたいと思っています。

第一の目標として、これは私的なことですが、「趣味である読書の幅を広げる」ということです。私は読書を趣味としていますが、短編小説を主に読んでおり、その読み方には少し偏りがあると感じていました。今年は、年男を期に読書の幅を広げ、貪欲にいろいろな知識を身につけていきたいと思っています。

以上二つの目標を必ず実行し、今年の終わりに、周りの人誰からも、いちだんと飛躍したといわれる自分が見られるよう努力を重ねていきたいと思っています。



警視庁第八機動隊 庄司 厚史

私は、憧れの仕事として警視庁警察官を拝命したのですが、既有署へ卒業配置となった時には、既に自身への挑戦と警察官として更に飛躍できるようにと希望した結果、昨年十月、第八機動隊へ配置換えとなったのです。

機動隊の存在は、過去の学園紛争や極左暴力集団の数々のテロ・ゲリラ等の暴挙に対し社会や国民の平穏な治安維持のために設けられた部隊だと理解していました。しかし、二十一世紀を迎えるに当たり、新たな時代の要請に応える部内組織体制を確立するために、機動隊の組織改革を推進して、機動隊も多角的、専門的に変わろうとしている今、様々な事案に柔軟に対処できる能力を今以上に私自身が身に付けていかなければならないと感じています。

そして機動隊というところは自分の可能性を試すことのできる絶好の場であり、様々な資格や講習等を自分の努力次第で獲得できるということを知り、機動隊にいる間にやりたい事は出来る限り全部やってみたいと思います。そのためには、土台作りとして新隊員の立場で仕事を確実に覚えていくこと、

また先輩の仕事を見てできる限り自分のものにしていくということが今の私の目標です。

今年、年男でもあり、新隊員として常に目標を持ち、何事にも負けない体力、気力を養い立派な機動隊員となれる様努力を続けていく覚悟です。



警視庁第九機動隊 小村 十喜子

この十二年間を振り返って自分自身何が変わったか考えてみた。

昇任した・憧れの機動隊員になった結婚し母になった・若かった...

過ぎてみるとあっという間だが、改めて考えると様々な事があった。二十一世紀の最初の年を年女で迎えられることは、何かいい事がありそうな、夢がかないような、そんな期待で一杯である。

この新たな「始めの一步」を有意義にする為、昇任試験を始め、仕事に對し問題意識を持ち、疑問に思った事は納得いくまで調べ、その都度身につけていきたい。

そして「まだまだ、若い人には負けれない」という気持ちを常に持ち続け、たくさんの事を経験し、頭でっかちではなく、深みのある、味のある、常に輝いた女性隊員でありたい。

一方、私生活では「育児は育自」という言葉のとおり、子供に色々な事を教わりながら子供と共に私も成長していきたい。

ありきたりだが、子供と一緒にいる時、笑顔を見ている時が今の私の一番の幸せであり、それがあからこそ、仕事と家庭とのメリハリのある生活を送れる、元氣とやる気の源であると感じている。

そんな幸せを、私に与えてくれた夫と両親に感謝しながら、一年一年を積み重ね、十二年後の私、何が変わっているか、ちょっと楽しみである。



警視庁特科車両隊 吉田 十三

激動の二十世紀が幕を閉じ、新世紀である二十一世紀が、私の年である「蛇年」から始まる。

私は、そこに何か運命的なものを感じ、二十一世紀に生きた証を一つでも残せるように努力したいと考えている。

この記念すべき年、私の最大の目標は、「子育て」である。現在私には、七歳と四歳の男の子がいるが、新聞・テレビ等で世間を騒がせている凶悪犯罪の低年齢化による少年少女の非行問題、学校崩壊、いじめ問題等を目にするたびに親として我が子の将来を案じ心が痛む思いがする。

私が、父親として息子たちに何ができるであろうかと、ふと考えている。『子は親の背中を見て育つ』と昔から言われているように子供が父親の後ろ姿を見て誇りに思えるような父親であることがなにより大切であると考えている。

私の父親は、岩手県の田舎で農業に携わっており、毎日が忙しくて私が子供の頃に父親に遊んでもらった記憶は全くないが、父親の作った野菜は、日本一だという父親の仕事に対する情熱が父親の背中を見て育った私には染み込んでいる。

今でも私が、田舎に帰省し、父親と酒を酌み交わすと、「無農薬野菜を作った評判になっている」と等と自分の仕事に誇りを持ち、野菜作りに関しては誰にも負けないという強い自信と誇りを父親から感じる。そして、今でも私がそうした父親を尊敬しているのは、間違った事が大嫌いな厳しい父親の後姿を見て育ったからに他ならないの思がある。

私は、父親に少しでも近づこうと、警察官の仕事に誇りと使命感を持ち日々の仕事に精進する自分の背中を我が息子たちに示していきたい。

努力と実績 信頼の機動隊

東 鋼 業 (株)

(株) エース 電 研

大 野 興 業 (株)

(学) 嘉 悦 学 園

杉 尾 栄 俊

橋 山 和 生

合 同 製 鐵 (株)

浅 田 隆 司

西 戸 栄 一

竹 之 上 誠 剛

中 京 製 線 (株)

東 海 鋼 材 工 業 (株)

太 陽 シ ャ ー リ ン グ (株)

堀 口 海 運 (株)

早 達 運 送 (株)

新 潟 鋼 機 (株)

不 動 鋼 板 工 業 (株)

読者の広場

中国



橋山 和生
(理事・大阪支部)

今から十五年以上も前、大連から内陸へ二百五十キロ入った大石橋という町に数多く足を運んだ。

技術指導をしての工場建設と全製品の輸入という業務に携わる中で、中国との取引の醍醐味・難しさなど色々な事を教わった。

当時は始どの人が人民服で、我々が深夜駅に到着すると工場の人達が列車の中まで入ってきて荷物を運んでくれた。

真っ黒な駅の構内で吐く息の白さがライトに照らし出されて一幅の絵の様であった。親しくなった工場長の夏氏。若い新進気鋭の共産党員であった彼によると

「今までの自分の生活は国によって決められた学校で学び、与えられた家に住み職についた。これからは働いて年功が上がってゆくとより良い住居・生活が保証され、息子達にも良い影響が出る」との事であった。

その夏氏から先日来日しているとの連絡が思いがけずあった。

久しぶりに会ってみると、昔の一途き明るさ加わり素晴らしい円熟期の男になっている。

夏氏いわく。

「橋山さん、中国は変わりましたよ。あの頃は与えられた家屋の仮住まいでした。今は自分がそれを所有し転売も出来るのです。今、我々の仲間の間で専ら関心事は家の内装のこと。誰もが成功を誇示するため輸入材を使った豪華な家に住み、税金の関係で日本の三倍も値がするベンツを購入しようとしています。また、十年間はかかると言われたクレジ

ットカードシステムもアツという間に普及し、今では都会で多額のキャッシュを持ち歩く人は不思議な目で見られるまでになりました。」

二十数年前、深圳という人口僅か三万人の町を広州への人口として国は経済特区に指定しました。それによりこの町は人口三百万を超える一大経済圏に発展。それが引き金となって、当時の指導者層の想像をはるかに超えるスピードで、中国全土に「深圳化」の波が押し寄せました。

そして一九九七年七月一日の香港返還。先行きを心配する人々の前で李鵬首相は話しました。「安心して下さい。香港は何も変わりません。逆にこれからは全ての中国が香港化します。」

「今まさに中国はその方向を目指しています。中国は変わりましたよ。」昔の人民服の中国しか知らない小生にとつては、はるか想像の中の世界だが信じる事が出来る。

何時の時代もそれまでの常識システムを軽々とくつがえしてゆく人間の意志の力壮大さ、そしてそれにより変貌した中国の底力。それらを我々が本当に実感するのは正にこれからだと思ふ。

一病息災の人生に思うこと



林 福一
(理事・東北支部)

二十一世紀の輝かしい新年を迎えることができる自分は、幽明晝を異にする彼岸から再生し十周年という記念すべき年でもある。思い起こせば還暦を過ぎた途端、食道全摘出を行い満身創痍の上摂行部も充分でなく且つ最長五年の託宣を戴いたが、改めて自分の生涯について限られた時間をどう生きていくか真剣に考えなければならなくなり、四苦へ生病死老死も出りなりに三つ迄経験したつもりで、あと二つを意心に立返ってその日の来るのを楽しみに待ちながら、毎日丹精に努めようと心に決めたのである。

そこで慎めと云われた飲酒喫煙は、術中休んだだけで止められない仮続けているもの、数量から好きになろうと意識転換をしたら本当の意味で旨いなあ、吸って飲んで楽しい価値観を持つようになった。特に酒類については、お蔭で原材料から醸造味覚位識別できるようになり、今尚精進しているが、結構世の中に通用することだと思つている。

そこで好きなことは止められないので、先づ至極当り前のことながら心体の保健に努めることにした。第一に歩くことに加え、ストレッチ・ラジオ体操を付け加え、約九年間の平均で年間二六〇日の早朝実施ができるようになり、時間数も六十分一〇〇分である。四季の変化は歩数など探求し、かなりの体験を得ている。今は歩かないと体調に支障を来す迄になつている。次はよく咀嚼することである。食事は定時定量定数定嚼し、当然排泄も同様となる。余分の飲食は余分の排泄になるので慎む努力をしている。歯磨きは食後特就寝前には絶対欠かさない。三番目は早朝二時に目覚め、ラジオの放送を聞くが熟睡四〜五時間ノンレム睡眠傾向にあり、考えてみるに本質的価値観を今に至るまで認識できるようになったことは、とりもなおさず大病を患らつたことに起因している。

人歳月を待ちながら日々を満足感達成感を得るためにも、楽しく面白くクリアしながらすべての事に立向つていきたいと思つている。

お知らせ

- ◎一月二十九日(月)午後六時より「ホテル仙台プラザ」において東北支部総会を開催いたします。
- ◎二月一日(木)午後六時三十分より「メルパルク名古屋」において名古屋支部総会を開催いたします。
- ◎二月二十二日(木)午後六時より「博多サンヒルズホテル」において九州支部総会を開催いたします。
- ◎二月二十八日(水)午後六時より「札幌パークホテル」において北海道支部総会を開催いたします。
- ◎六月十二日(火)「明治記念館」において第二十八回通常総会を開催いたします。皆様多数のご参加をお待ち申し上げます。

機動隊メッセーヅリレ

京都三大祭に伴う出勤苦勞話

京都府警察機動隊

京都の三大祭といえは、新緑燃える五月の「葵祭」を皮切りに、夏到来を告げる七月の「祇園祭」、秋の紅葉に負けないほどあでやかに、十月に行われる「時代祭」の三つの祭りの総称を言います。それぞれ祭りの長い歴史と伝統を有し、毎年のように古く京都を雅の世界へと誘い、見る者を魅了しています。

我々機動隊員も、これら祭りの警備に従事しますが、とりわけ祇園祭は七月中旬の京都盆地特有の蒸し暑さの中で行われることと、例年期間中に延べ百万人を超える大観衆が繰り出すため、最も神経を使う警備の一つでもあります。何十件にも及ぶ地理案内はもちろんなこと、迷子子の保護、遺失拾得や路上急病人の取り扱いなど、文字通り休憩を取る暇もありません。また、

機動隊、警備の現場から

宮崎県警察機動隊

百点が零点か、今回日本で初めての地方分離開催となったサミットの外相会合が開催される本県にとって、今回の警備は、本県警察の名誉と威信を懸けた最重要課題であった。その警備を完璧に遂行できたことは、まさに本県警察にとって百点満点であったと言える。

宮崎外相会合が決定して以来、「一点のミスをも許さない警備」を合い言葉に各種の諸対策を推進し、本県警察及び各員警察特捜部隊の警察官一人ひとりの旺盛な責任感と自覚がこの成果に繋がったものと確信する。

本県機動隊は、前段警戒にあつては突発対策部隊、本番においては行先地警戒隊として宮崎市内のホテルでその任務を無事終了することができた。

今回の警備には、本県では初めて「自主管理方式」が採用され「自分の守備範囲は自分で必ず守る」という自己責任による警備が実施された。ここで重要なことは、各部隊との緊密な連携による境界付近における間隙防

近年では暴走族等集結対策のため夜明けまでも完全治安三号で部隊活動に従事することも珍しくはありません。我々にとって三大祭は、非常に忙しい警備であり、「雅」とは無縁の世界ではありませんが反面、裏方として参加するだけでも、「祭り」に対するプライドを満足させてくれます。



大観衆が見守る中行される夏の祇園祭

最後に富山県機動隊に質問します。今年貴県で行なわれた国体警備に関する苦勞話があれば教えてください。

止のための警備強化であった。行先地のホテルを守ることは当然の任務であったが、交通規制部隊、警護部隊等の連携はもとより、外務省、県関係者等との連携など自己責任の難しさを痛感した警備であった。



ホテル周辺を隅々まで警戒

今回の警備に当たり隊長から「事未だならず、小心翼々」「事まさにならんとす、大胆不敵」「事既になる、油断大敵」と指示を受け、警備に従事したが、まさに今回の警備の心構えとして最適な言葉であったと思う。今回、長期間の警備に従事していただいた各県特派部隊の皆様のご苦勞に対しまして心からお礼を申し上げます。